

地には栽培せられず柿も亦多量の蜜を産し殊に君遷子は甚だ良し栗等の蜜は暗色にして少しく苦味を有し上品ならず然れども能く熟するときには蜂の夏期食料として有用なるべし胡枝子は秋に於ける甚だ有利なる植物の一とすべく蕎麥は其蜜暗色にして品質良しからざるも多量の蜜を産し甚だ重要視すべきものなりとす

有要植物の栽培

蜂に蜜の原料を與ふる爲め單に其目的のみに限れる植物を栽培するは今日の所未だ利益ありと稱する能はずとすも養蜂場の近傍に耕耘せざる廢地あらば其地方に自生せると他より移植するを問はず養蜂上有利なる植物の其土地に適應せるものを撰み且つ一回之を播植するときは漸く蔓延して以後耕種を要せざるものを撰みて之を播植するは甚だ利益あるものとす又其近傍に耕種すべき植物も成る可く養蜂上に有利なるものを撰みて栽培するは大に收蜜の量を多からしむるものなり

養蜂の爲めに栽培せんとする植物は夏季野に花の欠乏せる時開花すべきものを

撰ときは此期節に於て爲めに貯蜜を收得する能はずとなるも次期に於て蜂は活潑に労働して大に養蜂上の利益を増進し得べし各色のクロバト或はウマゴヤシ若しくはシナガワハギ等は牧草の目的を以て栽培せば利益あり夏蕎麥の如きも其だ可なり是れ穀粒を收獲し得らるゝのみならず播種に依りて其開花期を遅速せしむるの便利あり凡て此る植物は順次に栽培して順次に花を開かしめ以て他花の欠乏せる期間を繼續せしむるを得べし日向葵の如きも其種子に依りて收利を見るべき見込あらば之を栽培するも可なり其他地方に依り利益を得べくして養蜂上にも有利なるものを撰みて栽培すべし

有要植物の種類

蜜蜂の蜜及花粉を採取すべき植物の種類と其花の開期とを知るは養蜂上甚だ必要なる事なり左に我邦に於ける其主要なるものを舉示すべし尤も或る地方にありては大に重要視せらるゝも他の地方にては決して重要視する能はざるものあり又或る地方にては盛んに繁茂するも他の地方にては絶へて見ざるものあり尙之を培養するも土地氣候に依りて生育せざるものなり尙又左表に洩れたるもの

ど雖も地方に依りては甚だ重要視すべきものあるべし且つ其花の開期等は地方に依り甚だしく差異あるものなれば讀者宜しく其地方に就て實地に研究せらるべきなり

- 梅、川柳 二、三月
- 杉、赤楊、はなすわう、杏、蒲公英 三 月
- 蕨、蕪菜、櫻、みつまた、もつこうばら 三、四月
- 菜類、蘿蔔類、蕪菁類 三―五月
- 李、牡丹杏、桃、楊梅、郁李、白楊、ゆきやなぎ 四 月
- 紫雲英、梨、林檎、楓、棠梨、紅棠梨、すぐり、ふさすぐり、木瓜、野木瓜、アカシヤ 四、五月
- 野薔薇、躑躅、クロバ―各種 四―六月
- 豆類 四―九月
- 覆盆子、柑橘類、くわりん、葡萄、木半夏、藤、櫻、檜、樟、桐、やぶつばき、風車、金雀花、野決明、ひめはぎ、罌子粟 五 月

- 柿、君遷子、懸鉤子、草莓、うつぎ、しきみ、錦葵、蜀葵、くさふじ、すゞめのもんどう、からすのえんどう、かすまぐさ、やはすえんどう、はまえんどう 五、六月
- うまごやし、しながわはぎ 五―七月
- 梨、胡桃、栗、七葉樹、椎、南天、さんごじゆ、はこねうつぎ、いわふぢ、やなぎらん、てつせん 六 月
- 瓜類、橙、薄荷、きぼうし、矢車草 六、七月
- 茄子、木樨、薊 六―九月
- 蕎麥 六―十月
- 無患樹、棟、冬青、水蠟樹、枳椇、山梔子、胡麻、なつふぢ 七 月
- 漆、はくうんぼく、なつはぎ、旋花 七、八月
- 槐、ハシのき、黄蜀葵 八 月
- 百日紅、向日葵、草棉、葛 八、九月
- しをん、はごろも草 九 月

胡枝子、みろはぎ、こまつなぎ

野菊

茶、山茶花

枇杷

九、十月
九、十一月
十、十一月
十一月

第二十三章 種蜂

養蜂を始めんには必ず種蜂を要す地方に依りては或は蜂群の來りて樹木等に蓋圍するものあり之を捕へて巢箱に入れ飼養するも可なりとするも是れ期すべからざるなり又天然に巢を營みし蜜蜂の多き地方にては大樹の下等に酒樽の如きものを置ぐときは蜂の自然に之に入りて巢を營むものあり之を持ち歸りて飼養するも可なり又大樹の朽洞等に巢を營みしものを捕へ來るも可なりと雖も是れ或る一二地方に限るものなり左れば茲に種蜂を得んとするには從來飼養しある人に就て其一二個を購入すべきなり

種蜂購入法

種蜂を購入するには早春を最も良しとす是れ蜂の活氣を呈する時期にして盛んに勞働し速かに繁殖し且つ直ちに分封を爲すものなればなり殊に春期は蜂に多少の損傷を生ずるあるも之を回復する甚だ容易にて従て失敗すると少く而して夏期を経過する迄には多少の經驗を得尙冬期を越すの準備を爲す時に至らば更に多くの經驗を得べきなり然れども春期に於ては飼養主は容易に蜂群を賣るを肯んせざるものなれば止むを得ず分封後に於て購入すべし早春に次で種蜂を購入するに良しきは分封後にして價の廉なるのみならず分封せし蜂は新巢を營む爲め其氣力盛んにして劇しく勞働し繁殖良しきものなり從來我邦に於て種蜂を賣買するは主に分封後とせり

天然の巢箱にて飼養しある蜂群を購入するときは之を改良巢箱に移すを要す然らざれば翌年の分封まで天然の巢箱のまま飼養し置かざる可からず是れ甚だ不便にして蜂に變あるとき手入すること能はざれば甚だ危険なり天然の巢箱より改良巢箱に移すは初めて蜂を飼養する人の多くの困難を感ずる所なれば成る可くは改良巢箱にて飼養しあるものを購入するを良しとす數年改良巢箱にて飼養

しあるものは常に人手を入るゝに馴れ居るを以て蜂は溫柔なる性質を有し初て飼養する人も容易に管理するを得べし

分封を購入し直ちに之を運搬して持ち歸るは甚だ不可なり而かするときには蜂は未だ巢脾を造營せざる前に巢箱を動搖せられ不安の念を抱き逃去するとあるべし然るに十數日間を経過して已に巢脾を造營し之に産卵するに及びては之が爲め逃去すると少しと殊に第二分封以下の蜂群は蜂王交尾を遂げしものに非らざれば直ちに之を運搬し遠きに致すときは交尾を遂ぐる能はずして終に全群廢滅に歸するものなれば必ず十數日間を経過し王の交尾を遂げし後之を搬入べし王の交尾せしや否やは巢箱を開きて巢脾を検し其中に已に産卵あるものは即ち交尾せしものとして誤り少し其卵の孵化して蛆となり已に蓋せられたるを見て運搬するは尙安全なり

種蜂購入に就ての注意

種蜂を購入するには蜂群の最も強盛なるものを撰びを勉むべし蜂群の強弱を知るには改良巢箱ならば蓋を開き其群の大小を見且つ貯蜜の如何蜂兒成育の模様

等を見れば甚だ可なりとするも多くの巢箱を開きて内部を檢し比較購入するとは決して飼養主の許さざる所なり又天然的巢箱にては其内部を檢すること能はざるもの多し内部を檢せずして蜂の強弱を知るは蜂の勞働するときには其外出する多寡に依りて察するを得べし然れども蜂の時騒ぎを爲すときは蜂の出遊するもの多く爲めに欺かるゝことありと雖も是れ十數分時に止まるものなり且つ其出遊する蜂は頭を巢門の方に向け漸く飛び上るものなれば勞働する蜂とは之を見別くる難からず又巢箱内に食餌を興へ置くときは蜂の出遊するもの多く又盜蜂の侵入を察りたるものは出入頻りにして如何にも強盛なる蜂群の如く見ゆるものなれば此等の爲めに欺かれて弱小なるものを却て強盛なるものと見誤るとあり巢門を出入せる蜂を熟視するに其出づるものは腹部縮小にして一直線に飛行し其入るものは腹部膨大にして又脚に花粉を附くるもの多きは是れ勞働の爲めに入出する蜂にして其數の多きは強盛なる蜂群として決して誤ることなし又巢箱の外を軽く叩きて蜂の「シイウン」「シイウン」の云々音の大小鋭鈍を以て蜂群の大小強弱を知るべきなり殊に冬期に於て蜂の外出するものなく且つ巢

箱を開きて内部を檢する能はざる時に於ては此法に依りて察するは甚だ必要なる事なり尙冬期管理の項を見るべし
 必ず蜂王を有するものトテ虫の害を蒙る少きもの近き以前に於て下痢病に罹りしことなきもの等は種蜂を購入するに殊に注意すべき要件なり此等は各其章下に於て説明すべし巢脾の成る可く正しきもの貯蜜の多きもの等も種蜂を購入するに於て注意するの價値あり改良巣箱に於ては巢脾の正しきものは之を取扱ふに甚だ便利にして天然の巣箱にありては之を改良巣箱に移すに當り廢棄すべき巢脾少く且つ之を移すに甚だ容易なり貯蜜の多きものは少きものに比すれば蜂の強盛を増進するに於て甚だ有力なり
 蜂王は蜂群の盛衰に關するものなれば成る可く若き蜂王を撰むべし一年二年の蜂王は産卵力盛んにして従て蜂群の繁榮するものなるも三年四年の老王は産卵力少きのみならず餘命長からざるなり完全なる養蜂場にては蜂王の生年月を記し置くものなれば之を撰むに難からざるも不完全なる養蜂場若しくは山家にて天然的に箱個を飼養するもの等にありては蜂王の老若を知るに由なきを以て第

一分封の蜂群より寧ろ第二分封を撰むを安全とす第一分封は老王にして第二分封以下は新蜂王なればなり尤も其元巢が昨年第二分封以下の蜂群なることを確知すべきものにありては第一分封にても可なり又成る可く分封の時期早きものを撰むべし分封の早きものは夏季の花少き時期に至る迄には十分の貯蜜を爲し得べき時日あるを以て安全に夏季を経過し更に冬季を越すに安全なるべし又第三第四分封の如き後出のものは割合に弱小なる蜂群多しと知るべし

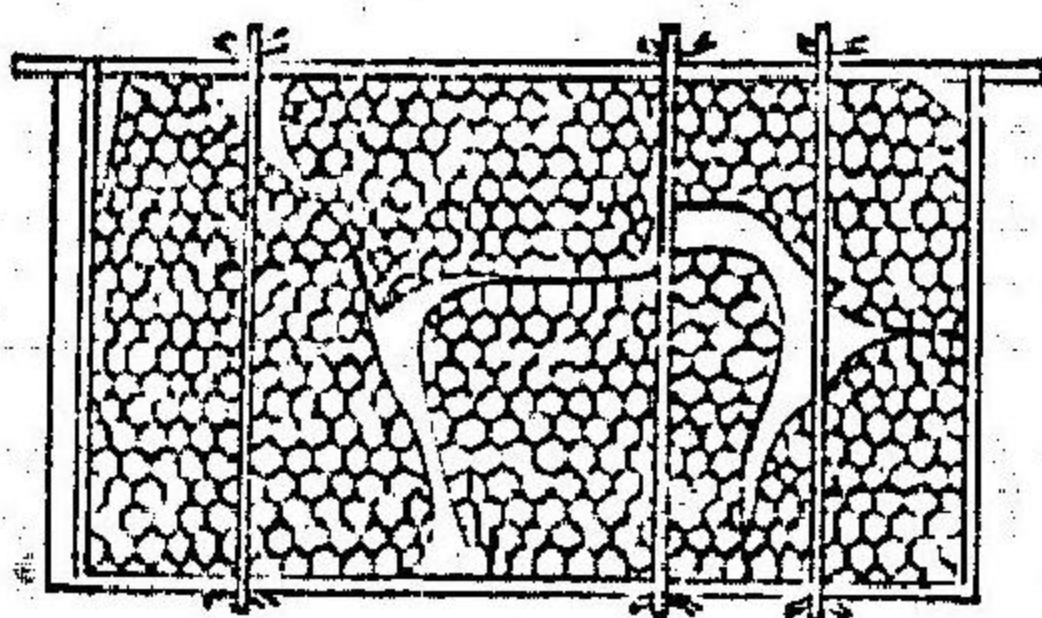
天然の巣箱より改良巣箱に移す法

天然の巣箱にて飼養しある蜂群を種蜂として購入したるとき或は從來之を所持し居るときは之を改良巣箱に移すべし之を行ふは何時にても成し得べしとするも冬期は蜂盤居の時期にて寒氣に感せしむるを以て良しからず早春蜂の已に労働を始め巢脾中尙未だ貯蜜少く蜂兒の生育未だ多からざる時に於てするを最も良しとし且つ天氣温暖なる日を選びて行ふべし初秋も之を行ふに良しとす貯蜜多く蜂兒多きときは手數多く手術困難なり

先づ之を行ふに要する器具即ち蜂箒蜜刀掏板覆面帽若しくは巢脾を押ゆる割竹

及び細き鐵線等を用意し天然の巢箱を取り之を舊位置より少し隔りたる所に移し舊位地へ改良巢箱を据付け天然の巢箱を轉倒し其一面の板を去り暫時輕く之を叩くときは蜂は上方に上り巢脾には蜂數少きに至るべし而して巢脾二三枚を切り取り蜂を追ひ掃ひ之を框に嵌め第四十四圖の如く両面より細き割竹を當て両端を鐵線にて結び巢脾の落ちざる様にして改良巢箱に入れ蜂群を擲板にて擲ひ之を移すべし而して順次巢脾を切り取り框に嵌め改良巢箱に移し蜂を驅入すべし巢脾の大にして框に入れ能はざるものは之を適宜に切り又巢脾の小なるものは一枚の框へ數枚の巢脾を適宜配列して入るゝも差支なしとす不正なる巢脾にして平かに框に嵌め能はざるものあらば之を廢すべく又雄蜂の巢房若しくは微菌等を生じたるものあらば之を廢すべし巢脾を附したる框を改良巢箱に入るゝには成る可く蜂兒の多く存在するものを中央に入れ漸次少きものを兩側に入るべく又巢脾の大なるものを中央に入れ漸次小なるものを兩側に入るゝ様心掛くべし四五日の

第四十四圖



後巢箱内を檢し巢框へ十分巢脾を附着したるを見れば割竹を取り去り尙巢脾の不正なるあらば矯正すべし右方法は其一例に過ぎざれば適宜臨機の所置を行ふべく又他に蜂群の多くを有するものは盜蜂の來りて其煩に堪へざれば夜間之を行ふを良しとす

第二十四章 蜜蜂飼養法

蜜蜂を飼養するは蜂をして巢箱に巢脾を造營せしめ蜂を放つて花蜜を採取せしむるものにして或る場合を除くの外餌料を與ふるに非らず詳細に之を言はゞ蜂を飼養するに非らず蜂をして無報酬の勞働に従事せしむるものなり往古は蜜蜂の自然に樹木の朽洞又は巖窟の間に巢を營みしものを捕へて其蜜を採取するに止まりしも漸く箱内に巢を造營せしめ以て人家に飼養し種々の工夫を凝し蜂をして益々勞働せしめ蜜を多收するを勉むるに至りたり蜜蜂飼養の要旨は蜂をして成る可く多くの勞働を爲さしむる様注意するにあり

巢箱の位置及方向

巢箱を並列するには各箱の距離成る可く遠きを良しとす屋外飼養にして土地の許すあらば必ず二間以上の距離を有すべし然れども多数の蜂を飼養するに餘り遠く巢箱を配置するときは管理者は多くの注意を爲さねば蜂に變ありたりとさ知らずして過ぐる憂ひなしとせず又巢箱の距離近きに過ぐるときは盜蜂を生ずること多く且つ分封の後新蜂王交尾の爲め出遊に際して誤りて他の巢箱に入り噛み殺さるゝ等其他種々の不便あり巢箱を種々の色に塗り別けて同色のものは成る可く遠く配置するを甚だ良しとす

巢箱は地上數寸の所に置くべし高さも一二尺を越ゆる可からず是れ管理者の業務を執るに便なるのみならず蜂の花粉花蜜を運び歸るに際し低きより高きに至るは甚だしく勞するものなるも高きより低きに飛び下るは其勞少きを以て成る可く低き所に巢箱を置くを良しとす是れ些事に似たれども養蜂家の注意すべき價值あるものなり且つ低き所は風害を受くると少し

巢箱の置場所は冬は溫暖に夏は清涼なる所を撰むべし而して又日光の直射は良しからず是れ夏期炎熱の蜂を苦しむしむること多く甚だしきときは巢脾を溶か

らしむるの傾きあり又冬期は温氣の爲めに蜂の誘出せられて外氣の寒冷に依り凍死するもの多し而して又陰濕の地は或は巢脾の一部へ微等を生じ其他蜂の衛生上良しからず此く述べ來れば殆んど巢箱を置くべき所なく畢竟理論のみに止まるものにして實地に臨み決して此の如き好適所のみを得べがらすとするも成る可く右の説に近かつかしむるを心掛くべし

從來天然的に飼養するものは曰く巢箱の置場所は北向陰所を良しとす此る場所に置きしものは逃去滅亡等少く永く持續するものなりと然り北向陰所はトヂ虫の繁殖良しからざるを以て放任して飼養するものにありては或は良しからんもトヂ虫豫防其他の設備ある改良飼養にありては冬期を越すに困難に其他種々の不利益あるものなれば良しからずと知るべし

巢箱の方向は其巢門を東向とするを最も良しとす夏日赫々たる夕陽を巢門に當らざらしめ冬期寒冷なる西北風をいらざらしむ若し春季東風の甚だしき場所其他止むを得ざる時は南又は西向とすべし北向は最も良しからず凡て太陽の巢門に直射する多きと風の巢門に吹き込む多きとは蜂の甚だ嫌ふものなり

轉地飼養法

蜜蜂を飼養するに轉地飼養なる一方法あり轉地飼養とは花多き地に巢箱を運搬して蜜を採取せしむるものにして花の多少に依り或は一期間同一の場所に置くあり又は十數日間づゝ花ある地を追ふて移轉するあり而して花なき期節に至れば巢箱を持ち歸るものなり一定の場所に巢箱を置くものに比して同數の巢箱にして甚だ多量の蜜を採取するを得るものなりと雖も費用と手數とを要する甚だ多きものなれば之を行ふもの少しとす轉地飼養に用ふる箱巢は輕便にして運搬し易き様製作するを要す

最も行ひ易き轉地飼養は各地の農家と特約して箱巢を預け置き其數に應じて報酬を爲すにあり春季花ある時に及べば各地に數個づゝの巢箱を配布し晩秋に及べば皆之を集めて持ち歸るなり此間數々巡視し又數々蜜の採取に行かざる可からず此くするときは必ず其勞と其費用に對するの利益を得らるべきものなり又船に巢箱を載せて花を追ふて河を上下するあり花の多少に依り數日乃至十數日間は同所に繋留して其近傍に於ける花蜜を採取せしめ夜間蜂の巢箱へ歸りたる

とき巢門を閉ぢ他に轉するなり是れ甚だ面白き趣向なりとす

第二十五章 蜜蜂管理法

養蜂の利益を得んには必ずしも其管理の良しきを得ざる可らず蜂を管理するには良く其性質を知了するを要す蜂の性質を知らずして之を管理するときは或は無益の勞をなすのみならず却て蜂に害を與ふるとあり收蜜の多寡は主もに其管理の如何に依るものなれば養蜂者は常に能く蜂の動靜に注意し適當の管理を爲すを怠る可からず蜜蜂を飼養するは常に食餌を與ふるに非らざるも常に注意を以て蜂に與ふるを怠るゝ勿れ今茲に最も利益多き一養蜂場ありとせんに若し一ヶ年の間注意を怠るれば全く荒廢に歸するに至ると知るべし多くの蜂を飼養するには其巢箱に一々番號を附し帳簿を製し置き之に登録すべし而して元巢の番號分封の月日及び蜂王の生年月等を記入し又春期已に勞働を始めたる時に於て巢内を檢査して其強弱等を明記し夫れより分封收蜜等の月日多寡を記帳すべし是れ甚だ必要なる事にして蜂を管理するに當りて一目瞭然其

順序を誤るとなし又手入を要する巢箱或は追て手入すべきもの等は一々札を立て置きて其手入の大要を符號にて記し置くときは甚だ可なり殊に分封の當時若しく蜂王交尾の前後等は甚だ必要なり

蜜蜂の動静を知る事

養蜂家は必ず朝夕各巢箱を見廻りて注意を怠る勿れ若し蜂に異りたる舉動あるときは必ず適宜手入を爲すべし巢内の状況は其巢外の状況に依りて之を察知するを得るものにて其外出する蜂の有様を見て巢内の秩序整然たるや否やを察すべく蜂王の存否蜂群の盛衰等大抵知るを得べし又其翅音と舉動とに依りて能く其採蜜の爲め労働するものなるや或は幼蜂の飛舞するものなるや若しくは盜蜂なるやを知るを得べきなり尚巢箱の底板を掃除するに當りて之を視るときは能く巢内の状況を知るを得るものにて蠟燭の落ちたるもの多きは新巢脾を造營するものなるを知り蜂卵の落ちあるは蜂王産卵盛んなるを知りトヂ虫の糞粒あるは其存在及び其大小を知る等其他得る所少からず養蜂家宜し巢箱を開かずして其状況を察知するを勉むべし是れ最も肝要なることにして若し一々巢箱を開

きて其動静を知るか如くんば是れ蜂に害を興ふるものにして到底養蜂の利益を見る能はざるなり

春期の管理

早春の管理は養蜂上最も注意すべきものなり此時に於て管理其常を得ば年中勞少くして蜂を強盛ならしめ蜜を多收するを得べきなり温暖なる日には蜂は出て、労働を試むるものなれば晴天の日を撰みて巢箱の底板を掃除し汚物を去るべし此時已に其汚物中にはトヂ虫の幼虫伏在するもの多ければ注意して掃除すべし以後蜂の労働多きに從ひ數々底板を掃除するを怠る可からず蜂は春氣動くと同時に大に活氣を呈し假令以外出する少きも已に巢内に於て巢脾の整理等大に活動を始むるものにして巢内の温度を増すものなれば冬期巢門を縮小し置きたるものは之を廣くして新鮮なる空氣を流入せしむべし又弱群は之を他群に合同するを得策とす

早春蜂の労働を始むる際は殊に注意すべき時期なり蜂は恙なく越冬し多少の花粉花蜜を持ち來るを以て最早や養蜂家の心を安んずべきが如く見ゆるも事實は

全く之に反し最も危険なる境遇に際したるなり如何となれば蜂は冬期を越すに貯蜜の多量を消費し春氣動くと共に労働を爲すを以て冬期蟄居の時に比し更に蜜を要すると多く且つ少許の花蜜花粉を採取し來ると同時に蜂王産卵を始むるを以て育兒の爲め蜜を要する益々多きも此際は未だ寒氣強く花未だ少くして十分巢外の労働に従事する能はず採取し來れる食餌は以て消費する食餌を償ふと能はざるのみならず更に多量の貯蜜を消費するの必要を生ず故に貯蜜少きものは之を餌養して以て其不足を補はざれば意外の失敗を招くと多し殊に一度暖氣を催し更に再び寒氣の來れる時の如きは一層の注意肝要なり

蜂王の産卵するは蜂群の集合せる中央よりすると雖も蜂兒の面積大なるに従ひ一方に偏するものあり此る場合に蜂兒ある巢脾の兩側に順次空巢脾を置くときは蜂兒の面積を早く大ならしむるものにして従て蜂の繁殖を多からしむるものなり又蜂兒ある巢脾の中間を擴げて善良なる空巢脾を其間に入るゝときは直ちに之に産卵し蜂をして早く盛んならしむるを得ると雖も蜂の幼兒を保護し能ふ範圍内に於てせざれば却て蜂兒を凍死せしめ大なる損害を招くものなれば宜し

く考慮すべきなり

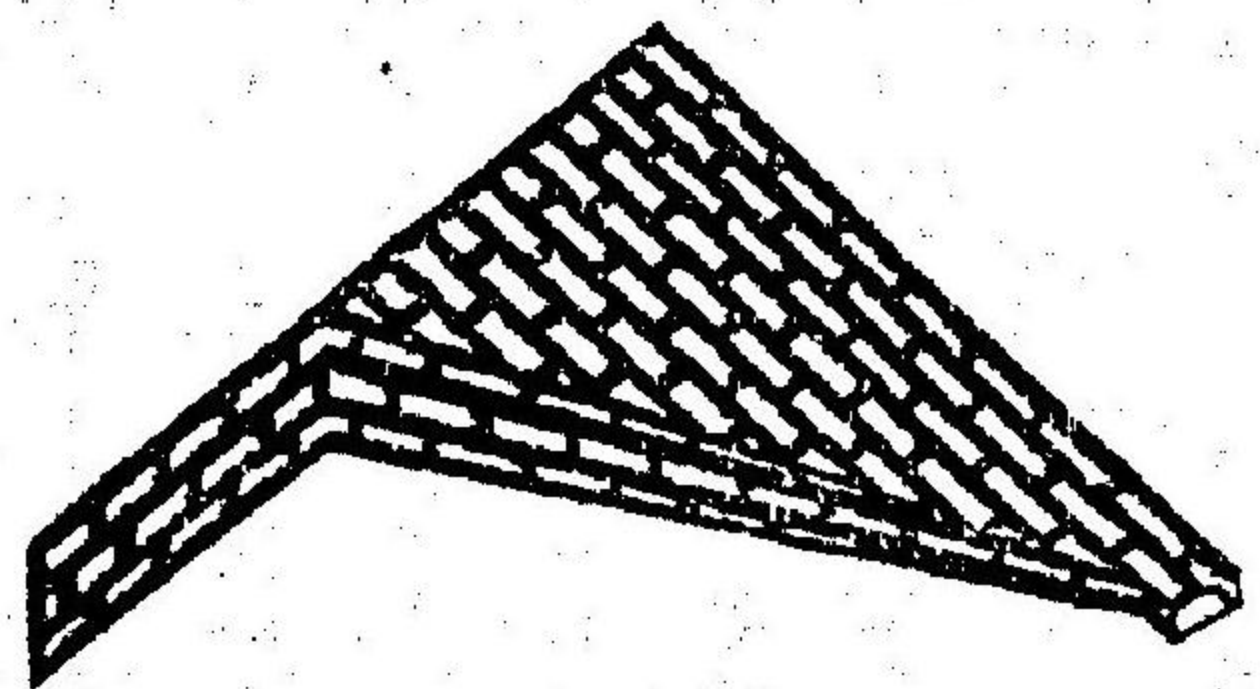
蜂の益々労働して巢脾を擴大する時に際せば漸次巢礎を裝附せる巢框を挿入すべし之を挿入するは巢脾の前方或は後方に入るゝを良しとす巢脾の中間に挿入するは蜂の繁殖最も盛んなる時に非らざれば害あり時季漸く進むに従ひ蜂の労働益々活潑となり養蜂家の最も多忙なる最も多福なる時期來らんとす分封の用意探蜜の準備等怠るべからず春期は蜜の最も多く採收せられ最も善良なるものを生ずるなれば探蜜の時期を誤ると勿れ又續々蜂の分封するに際せば十分の準備あるも尙取扱ひに困しむ場合を生ずるものなれば宜しく注意すべきなり

夏期の管理

初夏の頃は尙分封の盛なる時なり新分封を巢箱に入れたるもの及び蜂王の交尾前のものは殊に注意を要すべきなり分封已に終り新蜂王交尾を遂げし後に於て野に花の減少するに際せば働蜂は自ら雄蜂を驅殺するものなりと雖も其以前に於て人為を以て雄蜂を驅殺するは是れ貯蜜の經濟を計る所以なり雄蜂を驅殺するには第四十五圖の雄蜂驅除器を用ふべし此器は亜鉛板若しくは鐵葉板にて三

角形に造りたる空罫にして上面及び一側面は隔王板にて張り其端末には縦三分横七八分の出口を有す日中雄蜂の出遊盛んなるとき之を巢門に當て置くときは其出づるときは罫末の出口より出づるも歸るときは入る能はずして多く集合し居るものなれば之を捕へて殺すべし此く二三日續いて行ふときは雄蜂を驅除するを得るなり又分封前後に於て雄蜂の未だ生出せざる巢房を其巢に必要な丈の少数を存して餘は之を切り去り以て無用の雄蜂の多数を生出せしめざるは一層有益なる手段とす是れ雄蜂の其天職を全ふなるは甚だ少数にして且つ必ずしも同一巢箱の蜂王と雄蜂と交尾するに限るに非らず甲箱の蜂王乙箱の雄蜂と交尾する場合も多ければ各巢箱多数の雄蜂の生出あるは不經濟の至りなればなり其雄蜂房を切り去りたる框は之を他の働蜂房を以て満たされたる巢框の中間に挿入し置くときは働蜂は之に働蜂房を造るを務むべし梅雨の候に入りて連日陰雨なるときは蜂は十分の労働を爲すこと能はざるも尙

第五十四圖



野には種々の花あるを以て晴天なるときは労働を持続するものなり盛夏に向へば蜜の原料漸く欠乏し蜂の労働盛んならず蜂王は産卵を減少し或は全く停止することあり又蜜の不足を訴ふるものあり殊に晩く分封したるもの或は弱小なる分封にありては貯蜜少きを以て最も注意すべきなり蜂の労働減少するに従ひ底板の掃除等頻繁なるを要せず蜜の不足せる時期には些少の振動も蜜の消費に多少の影響を及ぼすものなり故に巢箱を開きて蜂を擾亂せしむる等は止むを得ざる場合の外決して行ふ可からず然れども蜂の活氣減するに乗じてトチ虫の害を受くるものにて且つトチ虫の繁殖時期に際するを以て其驅除に就ては決して猶豫す可からず又多少盜蜂の現はるゝものなり
炎暑の蜂を苦しましむるは多きものにて殊に日本蜂は暑氣を感ずると多し暑氣甚だしきときは蜂は巢脾面に静止する能はず巢箱内全部に擴がり居るものなり又日中は多く巢門にて扇風を爲し夕刻には多くの蜂巢門に出で、簇集し居るものにて従て労働するもの少し故に盛夏の候は巢門を成る可く大にし且つ底板を少しく引出し置き以て巢箱内に空氣の流入を計るべく又日光の直射するものに

ありては藁薦等を以て日覆を爲すべし

秋期の管理

初秋は残暑尙甚だしく蜂の労働少しと雖も暑氣漸く減じて秋花開くに及ば、蜂は又労働に従事し蜂王の産卵又盛んにして蜜を採取すること多きを以て採蜜するを得べし然れども秋期は花期短く且つ越冬の蜜量を蜂に貯藏せしめざる可からざるを以て春期の如く多量の蜜を採取する能はず暑氣減するに従ひ巢門を漸く小にして普通の廣さに至らしむべしと雖も蜜の水分蒸發に依り巢箱内濕氣多きを感ずるときは尙巢門を廣げ置くべし底板の掃除等春期の如く頻繁なるを要せざるも時々掃除を怠る可からず

秋期は春期の如く蜂の繁殖盛んならず且つ晩秋及初冬に生出したる働蜂は翌春まで生存して幼蜂と代謝せざる可からざるを以て新巢脾を造營せしむべき境遇を蜂に與ふると勿れ蠟の分泌は蜂の壽命に關係するものなればなり秋期に於て勞苦せし蜂は甚だ頼むに足らざるなり此る蜂群は冬期に死亡すると多く翌春巢箱を開きて其減少せる多きに驚くに至るものなり

老蜂も亦冬期を越すに於て頼むに足らざるなり老蜂の多くを有する大群より若蜂を有する小群は却て安全に越冬し而して春期の成績甚だ良好なるものなれば育兒の末期に近づくとときに於て蜂兒の生出するもの多きを望まざる可からざるなり

冬期の管理

初冬の頃は蜂は尙二三の花より蜜を採取するを得ると雖も漸く寒氣に向ふを以て蜂は蟄居の準備を爲す弱小なる蜂群は之を他群に合同するを得策とす是れ越冬に甚だ困難を感ずればなり十分なる越冬法を施したる後は又手を入るべきなく養蜂者は至て無事なる時期なり然れども時々巢箱を巡視して注意を怠る可からず蜂群越冬法に就ては別に章を分ちて説明すべし

越冬の準備を終りたる後は止むを得ざる場合の外巢箱を開くことを嚴禁すべし蜂の温度を保ちて恙く越冬するは蜜の力に依るものにして巢箱を開きて温度を逸散せしむるときは蜂は之を恢復するに多量の蜜を消費するものにて甚だ不利益なりとす

冬期蜂の強弱及び貯蜜の欠乏等を知るには巣箱の外圍を叩き、蜂の發する響を聞くべし其響の大小は蜂群の大小を示し其響の鋭鈍は貯蜜の多少を知るべし尙其響の大きく且つ鋭くして二三回續きて發するものは最も善良なる蜂群とすべし冬季蜜の欠乏することあるは是れ越冬法の設備十分ならざりし失策にして管理の拙なるに歸すべきも意外の寒氣に遭遇するときは蜜の不足を告げ止むを得ず飼養して其欠を補ふの必要を生ずるとあり

第二十六章 蜜蜂の取扱

未だ蜜蜂を取扱ひしことなき人は以爲らく蜜蜂の取扱ひは甚だ困難にして且つ恐るべきものなりと之が飼養を試みんとするも爲めに躊躇するものなきに非らず然れども一度之を取扱ふときは恐るべきものに非らずして却て愛すべく且つ興味甚だ大なるを知るに至らん

蜜蜂取扱の心得

蜜蜂を取扱ふに常り先づ心得べき事左の如し

蜜蜂天然の性質に従ふて取扱ふべし

蜜蜂を取扱ふには蜜蜂天然の性質に従はざるべからず如何に熟練なる養蜂家と雖も其天性に反するときは勞多きのみならず遂に其目的を達する能はざるべし例へば蜂は上方に集まるの性あり之を下方に導かんとするは或る場合を除くの外甚だ難しとす蜂は暗きを好むの性あり之に明きに誘はんとするは勞して効少し其他凡て成る可く蜂の意を向へて之を誘致すべきなり

蜂の螫針を恐るゝ勿れ

蜜蜂に螫るゝを恐れれば到底養蜂の管理を爲す能はざるなり蜂を取扱ふに常りて蜂の來りて顔又は手等に止まるも不愉快の念を起すべからず蜂を恐るゝが爲めに之を追ひ拂はんとして却て蜂を怒らしめ多く螫るゝものなり蜂の自然に委するときは蜂は螫すことなくして去るものなり蜂を取扱ふに常り若し蜂に螫るゝとあるも其を、取扱ひを中止すべからず靜に其螫針を抜き去りて其仕事を成し終るべし中途北げ去るが如きは最も謹しむべし蜜蜂の螫針は人を害する爲めに備ふるものに非らず己を保護する爲めの要具にして止むを得ず

用ふるなれば決して恐るべきものに非らざるなり
蜂を取扱ふに粗暴の舉動ある可からず

粗暴に輕卒に蜂を取扱ふときは蜂は怒りて甚だ取扱ひ難きものなり故に凡ての動作をして溫柔ならしめ又徐々ならしむべし殊に巢箱を引き出す時の如きは最も然りとす人の蜜蜂に對する動作に依りて蜂も亦人に對するものにして溫柔以て之に向はゞ其整針は遂に用ふる所なきものゝ如く蜂をして人の意に従はしむるを得べし又蜂の飛舞しつゝある間を速馳するが如きは決して爲すべからず

常に蜂を愛するの念を忘るゝ勿れ

蜜蜂は我に利益を與ふるものなれば愛すべきものなるとの念を以て蜂に對すべし一蜂たりとも忽にすべからず一蜂を押ゆるときは其苦聲は他の蜂を怒らし之を壓殺することあるときは更に多くの他の蜂の怒りを招くものなり凡て蜂をして成る可く苦しめしめざる様心掛くべし
蜂を取扱ふには迅速なるを要し且つ猶豫す可からず

永く蜂を騒がし永く蜂を驚かしむるは甚だ不利益なれば取扱者は其行ひを徐々として其業務を早く終るべし故に蜂に手入せんとせば先づ其順序方法等を熟考し而して後手を下さば毫も躊躇する所なく其業務を執るべし又手入を要すべき蜂群わらば一時も猶豫することなく所置すべし然らざれば大なる損害を招くとあり

蜂の感情的動物なるを思へ

蜜蜂は甚だ感情強き動物なり養蜂者は蜂の不信任を來さざる様心掛くべし蜂の熱心労働するに對し數々其巢箱を擾亂する等のことわらば蜂は其英氣を挫くべし又蜜を採收し過ぐる等は蜂をして倦怠を來さしむべし蜂の惡癖を生じ手術を盡すも其取扱ひに困しむが如きに至ることあるは是れ取扱者の罪とすべきなり

蜜蜂取扱上の要件

蜜蜂を取扱ふには其法あり其法に依るときは蜂をして意の如く行動せしむることを得べし蜜蜂には好む所のものあり恐るゝ所のものあり此等を適宜利用する

に外ならず蜂を取扱ふの巧拙は即ち其利用の如何に依るものなり
蜜蜂の好む所のものは之を以て蜂を誘集し之を以て蜂を動作せしむるを得べし
左に之を記せん

蜂王 蜂王は蜂群に必要缺く可からざるものなれば群蜂は王を失ふことを最も
恐るゝものにして蜂王ある所は即ち蜂の意の向ふ所なれば蜂を取扱ふに當り
蜂王を左右せしむるを得ば蜂群をして自由に進退せしむるを得べく蜂は如何
に飛散せんとするも如何に逃去せんとするも終に取扱者の意に従はざるを得
ざるなり

群 蜂王に次で蜂の失ふを恐るゝものは其群なり蜂は獨立の生活を爲す能はざ
るものなれば其多く集合せる所に至りて合一するものなり故に蜂の飛散し居
るも其多く養圍せる群を得ば他は自ら來りて集まるべし蜂王と雖も蜂の養圍
せる所には來りて入るものなり

蜂兒蜂卵 蜂兒蜂卵は彼等の相續者なれば彼等の之を愛するは宜なり總ての動
物皆其兒を愛せざるものなし故に多く蜂兒蜂卵を有する巢脾を以て蜂に與ふ

るときは蜂は爲めに其意を動かすに至るべし

完全なる巢脾 トチ虫の存在する巢脾微菌を生せし巢脾其他不完全なる巢脾は
却て蜂の喜ばざるものなるも完全なるものは假令ハ蜂兒蜂卵を有せざるも貯
蜜を有せざるも蜂は喜んで向ふるものなり以て蜂を誘致するの一要すべし
なり

蜜 蜜は蜂の食餌なれば彼等の好む所なるは言ふまでもなし巢脾中に貯蓄せら
たる蜜は甚だ其愛するものなり殊に能く成熟して蓋せられたるものは最も愛
する所なり故に蜜を以て蜂を奨励することを得べく蜜を以て蜂を誘導するこ
とを得べし又稀薄したる蜜を蜂に吹き掛くるときは一時蜂をして其怒りを止
めしむることあり

蜜蜂の恐るゝ所のものは之を以て蜂を畏服せしめ之を以て蜂を追ふことを得べ
し左に之を記すべし

煙 煙は蜂の最も恐るゝ所のものなり蜂を畏服せしむるに就ては煙の外は其効
至て少し煙草より發する煙は甚だ激烈にして危険多ければ木材より發する煙

を良しとし殊に乾燥せる杉材を以て最も燃焼し易く最も適當なりとす煙は蒸
 煙器に依りて發せらるゝものなり蒸煙多きに過ぐるときは蜂を昏醉せしめ尙
 甚だしきときは終に醉死せしむるに至るものなり故に或る場合を除くの外は
 蜂を昏醉せしむる程の度に至らしめず單に蜂をして畏服せしめ又蜂を追ふと
 を得れば足れりとす蒸煙は蜂を苦しましむるものにして數々するときは蜂を
 衰弱せしむるものなれば止むを得ざる場合の外は成る可く蒸煙を用ひずして
 取扱ふべし殊に日本蜂の如きは甚だ溫柔にして蒸煙を用ひざる可からざる場
 合は甚だ稀なり然れども伊太利亞蜂ナイプリアン蜂の如きは蒸煙せざれば取
 扱ひ難き場合多し

響及聲 響は蜂を追ふを得べく蜂の行爲をして速かならしめ蜂の集合力を増さ
 しむ即ち巢箱の外側等を叩きて響を蜂に與へ又音聲に依りて蜂を左右せしむ
 るの場合あり

光 光は蜂の避くる所のものなり故に蜂を巢箱に追ひ入るゝ等に其入口を日光
 に背けて蜂を入るゝときは甚だ容易なり又夜間蜂を取扱ふに於ては燈火の置

き場所に依りて蜂をして自由に行動せしむるを得べし蜂を取扱ふに於て光の
 應用は必要なるものなり一二の蜂が燈火を追ふて來るとあるは是れ即ち迷ひ
 たる蜂に外ならず

風 風も亦蜂の避くるものにて蜂の行爲をして速かならしむるを得べし蜂の靜
 居せる所に風を送るときは蜂は北げ匿るゝものなり又蜂を取扱ふに風の方向
 を斟酌すると必要なり

水氣 水氣は蜂の嫌ふ所なり蜂に水を吹き掛くるが如きは多少蜂をして畏服せ
 しむるの効あり又水分を發射して蜂の飛行を防止するを得るの場合等あるも
 のなり

右は其要件を列記せるものなり其運用の妙に至りては宜しく實地經驗を積みて
 之を知るべきなり

蜜蜂を取扱ふ時刻

蜂を取扱ふは日中温暖なる時を最も良しとす是れ蜂の蜜を採取するに忙はしく
 蜂の怒ると少く且つ巢箱内の温度を逸散せしむるも之を恢復し易く蜂に害を及

すと少し早春及び晩秋等の氣候寒冷なるときは殊に温暖なる時を撰みて取扱ふべし又雨日風日等は成る可く蜂を取扱ふ可からず凡て蜂の怒ると多きときは蜂に害を興ふることも多しと知るべし

然れども盜蜂の現はるべき時期にありては蜂を騒がすときは其近傍に蜜を尋ねて飛遊し居る蜂を誘集して遂に盜蜂となるの恐れあれば夕刻に於て取扱ふを良しとす夕刻は蜜を尋ねる蜂の飛遊する少き時にして且つ假令ハ少許の盜蜂を生ずるも之を防禦し易きものなり朝は蜜を尋ねる蜂の最も多く飛遊する時にして蜂を取扱ふに良しからず又交尾前の蜂王を有する巣箱の近傍の蜂群は正午より午後三時頃迄は蜂を騒がすと勿れ是れ交尾の爲め外出せし蜂王の戻り來りて噛み殺さるゝ恐れあればなり又甚だしく蜂を擾亂せしめ多く蜜の香氣を發散せしむる場合若しくは他より持ち來りたる蜂群にして未だ巢門の位置を定めざるものは夜間之に手入するを安全とす

巣箱を開く事

巣箱を開かんと欲せば先づ靜かに其蓋を去り而して一二枚の巢脾を檢せん

るか又は單に巢内の様子を窺はんとするならば新聞紙等を全く取り去る可からず其必要なる丈け開けば可なり取扱者は巣箱の後方又は兩側にあるべし前方は蜂の出入に妨げあるを以て立つべからず

巢箱を引出さんどせば其框の巢脾か他の框か又は巢箱の胴等に附着しあるときは靜かに之を離し爲めに蜂を傷つくとなき様注意すべし若し中央の巢箱を引出さんどせば其前後の巢箱を片寄せ十分の間隙を興へて後之を引出すべし巢箱を引出すには最も平かに持するを要す然らざれば巢箱の胴又は他の巢箱に觸れて蜂を壓殺することあり

巢箱を取出して蜂を去らんとせば其框の一端を巢箱内の巢脾に接して軽く叩きて響を興ふるときは蜂は巢箱中に北げ入るものなれば残りの蜂は蜂箒にて掃ひ去るべし又巢箱を堅く持して蜂を振り落すも可なり伊太利亞蜂の如きは響を興ふるも北げ去らざるものなれば之を振り落すか又は蜂箒にて上より下に徐かに掃ひ落すべし未だ蓋せざる多くの蜜を有する巢箱は蜂を振り落すときは蜜を振り落す恐れあり又王臺あるものは其幼兒を傷むるの恐れあれば蜂を振り落すべ

からず蜂を掃ひ去りたる巢框は兼て巢框入を用意して之に入れ一々蓋を爲すべし然らざれば飛散せる蜂は之に來りて甚だ煩はし又其巢框を他に持ち運ぶには必ず巢框入に入るべし

長時間巢箱を開き置くことは蜂をして多く騒亂せしめ甚だ良しからず長時間を要する業務なる場合に若し巢箱に蓋し置くも其業務を執るを得るときは一時巢箱に蓋し置き而して後再び開くべし巢箱を開きたる支、他の業務を執るが如きは決して爲すべからず

巢框を巢箱に返すときも亦蜂を壓することなき様注意すべく又成る可く巢框を前の位置に入るべし前後の框を片寄せたるものは必ず之を元の如く直し置くべし巢框両側の椽の上部を廣く製作したるものは此る場合に大に便利を感すべく凡て取扱ひに迅速なるを得べし又新聞紙等を被ふに當り巢框上に多くの蜂あるときは新聞紙を被ひ其上を指先にて軽く叩きて蜂を北げ入らしめし後蓋を爲すべし

蜜蜂の馴致

黄蜂細腰蜂等は能く怒りて人を螫す一度此等の巢に手を觸るゝ時は飛び來り追ひ來りて人を害せんとせり蜜蜂も同じく蜂族なり同じく螫針を有す同じく怒りて人を害するならんとは世人の先づ信ずる所なり然れども蜜蜂の性質たる他の蜂族の如く狼りに怒りて人を害するものに非らず尤も山野自然に巢を營みし蜜蜂或は酒樽蜜柑箱等にて天然的に飼養せらるゝものは人の手入するに馴れざるを以て怒り易く螫し易く初心者をして其管理に苦しましむると少なからず遂に蜜蜂を管理するの容易ならざるを感ずるに至るとありとずるも改良巢箱に入れ久しく飼養せられたるものは常に人の取扱ひを受け絶へず箱を開き框を引き出さるゝを以て遂に溫柔なる性質を養成し自由に管理せらるゝに至るべし故に従來天然的に飼養せらるゝ人が予が飼養せる蜜蜂を見て其溫柔なる全く別種類なるやとの間を起す多敷々なりき

天然的飼養の蜜蜂を改良巢箱に移したる當時は種々の性質を有するものなり或は狼りに怒りて人を害せんとするものあり或は直ちに驚き恐れて巢箱の下方に北げ入るものあり又は甚だ騒亂するものあり此の如きは取扱ひに不便なるのみ

ならず到底十分の貯蜜を爲さしむ能はざるなり早く之を矯正せんと欲せば吹蜜と薫煙とを用ふべし吹蜜とは稀薄したる蜂蜜若しくは砂糖にて調製したる蜜を口に含むか又は霧吹にて蜂群に吹掛くるものにて朝夕巣箱を開きて此くすること十數日に及ぶべし又數々適宜の薫煙を爲して蜂を苦しめ且つ數々手入すべし然るときは早く其性質を矯正すべし而して改良巣箱にて永く飼養するときは遂は溫柔善良なる性質を成すに至るものなり

已に溫柔なる性質を有する蜜蜂と雖も時と場合とに依り大に怒るとあれば丁寧に取扱ひ決して輕卒の取扱ひを爲す可からず

蜂の螫毒

養蜂に熟練するときは蜂を取扱ふに蜂を激せしめざるを以て螫さるゝことも少しと雖も未だ養蜂に熟練せざる人は其取扱の拙なるより蜂を激せしめ従て螫さるゝことも多かるべし蜜蜂の螫針には先端に倒鉤ありて一度人を螫すときは之を抜くこと能はずして其螫針を遺留し去るを以て蜂に螫されるときは成る可く早く爪先を以て徐かに其遺留しある螫針を抜き去り決して其局部を摩る可か

らず之を摩るときは毒は肉中に滲透して大に激衝紅腫を爲すものなり蜂の毒を去るはアンモニア水を附くるも良しく又ハブ草の葉を揉みて其汁を附くるも可なり又手拭を數々冷水に浸し其局部を冷やすも可なり尤も其螫されたることを念頭に掛けず其局部を放委して手を觸れざるは第一の良法なり

養蜂家たらんとするものは初めより蜂に螫さるゝを厭ふ勿れ蜂に螫されれば螫さるゝに従ひ益々其毒に感ずると少く所謂免病質を受くるものなり故に多年養蜂に従事せる人は假令ひ螫さるゝも甚だ輕くして痛みを感ずると少く紅腫すると少くして他の人が蚤の害を受けたる程にも値せず又場所に依りて紅腫することあるも暫時にして平癒するものなり

第二十七章 分封取扱法

分封を取扱ふには用意周到なるを要す然らざれば分封を解散せしめ合同せしめ其他取扱ひに困難を來すのみならず遠く逃去せしめ遂に全く其群を失ふとあり分封の時期近づけば養蜂者は諸般の用意を整へて之を待つべし巣箱の準備なき

ときは之を製造し又久しく用ひざる巢箱は之を掃除し以て何時にても新蜂群を
入るゝに差支なからしめ分封屋根を各所に配置し捕蜂器蜂窠其他分封に必要な
諸器具は手落なく備へ置くべし

分封の徴候

春季巢箱の底板上に黄白色なる中央突出したる雄蜂房の蓋の落ちあるは是れ雄
蜂の出房したるものにして遠からずして雄蜂の巢門を出入するを見るべし殊に
正午より午後二時頃の間にて雄蜂の多く出遊するものあるは即ち分封あるの
前徴なり然れども又蜂王の老ひて雄卵のみを産する蜂巢或は無王の蜂巢の働蜂
が産みし雄蜂等あるものなれども是は異事として其蜂の舉動盛衰に依りて一見
之を知るを得べし或説に王臺は雄蜂に促がされて働蜂の遺精するものなりと言
ふものあるも敢て然らざるものゝ如し然し雄蜂多数の生出は多少分封を促すも
のなるは信すべきなり

巢箱の蓋を開き框を引き出して巢脾の下部を検し王臺あるを見出さば其中の卵
蛆の有無を検すべし王臺中に産卵あるときは夫れより十二三日にして分封ある

を知るべく其卵の已に蛆に化せしものあらば其蛆の大小に依りて分封の日を察
知するを得べし其王臺の已に蓋せらるゝあらば其蓋の色澤に依りて一二日乃至
四五日中に分封あるを知るべし王臺の蓋は初めは黄褐色にして漸次茶褐色とな
り而して暗褐色と變ずるものなればなり是れ分封を確知するの法なりと雖も數
々巢箱を開きて巢内を検し蜂を擾亂せしむるは甚だ不得策とす殊に王臺の建設
せらるゝも未だ産卵なき時に數々巢内を検し温度を逸散せしむるときは蜂王は
之に産卵するを遅延するの傾きあり

蜂群の強盛なるに比して巢外の勞働に従事するもの少く或は巢門に蟻集し居る
が如きは分封期に近づきたるものなり第一分封已に終り以後分封に際して蜂王
の翅を振ふ一種異様の響は早朝若しくは夕刻蜂の静かなるときに於て巢箱の側
面に耳を接するときには巢内一様に騒然たる中に明かに聞き取るを得べし此異様
の響は即ち分封の信號と爲すべきものにして日ならずして分封あるの徴と見る
べし

分封を捕ふる事

分封の起るに際しては静かに各般の準備を爲し其蓋を開くを待ちて之を巢箱に移すを心掛くべし人聲は蜂群の避くるものなり故に多く大聲を發するが如きは分封をして益々高き場所に蓋圍せしめ遠く去らしむるものにて殊に分封の徐々ど前進する後より大聲を發して追ひ掛くるときは益々遠く飛行するに至らしむるとあれば注意すべきなり然れども二三の人を適宜の所に配置し人聲を利用し其聲の高低を加減せば分封をして適當なる場所に蓋圍せしむるに於て稍其目的を達するを得べし

分封の蓋圍すべき場所を得ずして前進するに於て其前路に向ひて手ポンプ等にて空中に噴水するときには蜂の進行を妨げ早く蓋圍せしむるを得べし其他前路に向ひて物音を發すること鏡を以て光を反射せしむること煙を多く發すること等は何れも多少其目的に適ふものなり又高き竹竿の頂に分封屋根を附したるものを以て其前路に於て適當なる場所を探みて静かに之を持するときには之に蓋圍せしむるを得べし

分封屋根に蓋圍したる蜂群は之を取扱ふと最も容易なり若し樹木其他の場所に

蓋圍せしものならば捕蜂器を用ふべし蜂群の大部を捕蜂器に入るゝときは暫くして取り残されたる蜂は大抵器外に集るものなりと雖も若し残蜂尙多數なるときは其中に蜂王を存するやも知る可からず蜂王を残したるときは残蜂は捕蜂器に集まらざるものなれば更に他の捕蜂器にて残蜂群を捕ふべし暫くして器内の蜂の静止しあるは蜂王を有するものなれば其騒亂せるものを開くときは皆有王の捕蜂器外に集まるものなり若し高き所に蓋圍せしときは捕蜂器の取手に竹竿等を以て長き柄を附し而して蜂群を其内に入れ之を下して蓋を爲し再び之を蓋圍せし場所の傍に上げて残蜂を集むべし

捕蜂器の用意なきか又は皆之を使用しある場合に更に分封の樹木等に蓋圍せし時は策を用ひて之を捕ふべし其法は蜂群の上に策を當て下より徐々ど蜂群にて追ひ込み全く其中に蜂群を移らしむべし然れども此くするときには時間を要すると多ければ早く之を所置せんと欲せば蜂群の下に策を當て蜂群等にて成る可く多く蜂群を策中に落し直ちに風呂敷等にて蓋し而して之を倒空にすべし暫くするときには群蜂は策底に蓋圍するを以て其蓋を去り静かに之を持するときには残蜂

は来りて之に集まるべし

分封の蝨團を取り去りたる跡に數個の蜂の飛び廻り居るものあるも意を留むるに足らざるなり此等は終に元巢に復歸すべければ一も蜂を損するとなし然れども蜂數稍多く小蝨團を爲すが如きは其中に蜂王の残り居るやも知る可からず若し蜂王を残し置くときは蜂群を新巢箱に入るゝも再び飛び出して其所に蝨團するか或は元巢に復歸するものなればなり

蝨團せし分封の何れの巢箱より出でしやを知らざるときは分封すべき各巢箱を見廻るべし分封せし巢箱は巢門の近傍に向蟻集せし蜂の残り居るものなれば之を知るを得るなり然れども少時間を経過せし後は之を知り難きを以て此る場合には蝨團を捕へ去りたる後其中より二三十の働蜂を取りて之を空中に投すべし此等の蜂は元巢に歸りて巢門に於て翅を振ひ居るものなれば之を以て分封せし巢箱を知るべし

分封を巢箱に入る事

分封を入れるべき巢箱は新しきものなれば最も可なり若し一度使用せし古巢箱を

用ひんとせば能く日光雨露に曝して臭氣を脱せしめしものを用ふべし然らざれば蜂群の逃出するもの多し又巢箱は必ず陰所に置きしものを出して用ふべし日光の當りたる所へ置きし熱したる巢箱へ直ちに蜂群を入れるゝときは是れ又逃去を助成するものなり巢箱内には巢框五六枚を入れるべし其巢框は成る可く巢礎を裝附せしものを用ふべし尤も同時に巢箱内に満たす丈けの巢框を入れ置くも差支なしとするも巢礎は蜂の需用に應じ裝附して與ふるを良しとす巢框の入れ方は養蜂者各自の思考と巢箱の構造とに依りて或は巢門に面し或は兩側に面するも差支なし而し取扱者は巢箱の後方にありて業務を執るを便利とすれば成る可く巢門に而し且つ巢框を巢箱に満たさざる場合には之を巢門の方に片寄せ入れるを良しとす

分封の低き場所に蝨團せしものは其側に巢箱を持ち行き巢門を蜂群に接して蜂等にて徐々ど巢箱内に追ひ込み其入り終るを待ちて之を適宜の場所に持ち行き据付くべし分封屋根又は捕蜂器若しくは籠にて捕へたる蜂群は其まゝ靜かに巢箱を据付くべき場所に持ち行き暫時靜止したる後取扱ひを爲すべし直ちに之

を轉倒し又は振り落す等の事を行ふときは蜂は飛散して再び前の蓋圍せし場所に至るものなきにあらざるべし分封屋根に蓋圍せしものは之を巢框の上に極めて徐々と蜂を壓するとなき様注意して置くべし暫くして之を上ぐるときは蜂群の過半は巢箱内にあるを以て直ちに之に新聞紙を被ひ蓋を爲し而して分封屋根に残りたるものは之を倒立にして其端を巢門に接するときは蜂は忽ち悉く巢箱に入るものなり尙又急速に取扱はんとせば蓋圍を取りて直ちに巢框の空所より巢箱内に振り落し直ちに新聞紙を被ひ蓋を爲すべし而し成る可く多くの蜂をして自ら巢門を入りしむる方法を執るを良しとす又蓋したる巢箱の巢門の前に蓋圍を取りて悉く振り落すも可なり然るときは巢箱の前面等に蜂は上り或は巢箱内に入る而して蜂王巢箱の外にあるも群中を上下し入口を求めて巢内に入るや群蜂は相競ふて巢内に入るものなり若し蜂王入らざるときは蜂王のある所を窺板にて窺ひ巢門に接するときは直ちに入るものなり而して後群蜂を順次静かに窺ふて巢門に接するときは蜂は喜んで早く巢箱内に入り終るものなり窺にて捕へたる蜂群も亦巢箱内若しくは巢門の前に振り落すこと分封屋根に於けるが如

くすべし又捕蜂器にて捕へたるものは器具説明中に記せし如く下端の口を巢門に接して其蓋を開くべく而して急速に巢箱内に入らざれば軽く之を叩くときは忽ち入り終るものなり

右の如く巢箱に入れたるときは暫時静止したる後巢箱の後方を少しく開きて之を檢すべし若し巢框なき所に蓋圍し居ることおらば蜂等にて之を追ふて巢牌を造營せしめんとする所に至らしむべし然らざれば巢框なき所に巢牌を造營し始め不便を來すべし而して適宜の庇陰ある所に置ける巢箱は差支なきも日光の直射する所にありては十數日間は日覆ひを爲し之を保護すべし是れ退出を少くする所以なり

伊太利亞蜂等の蜂種は分封屋根を用ふるも之に蓋圍せず樹幹若しくは其枝葉等に至りて蓋圍するものなり枝葉に蓋圍せしものは巢箱を其下に置き之を振り落すべく樹幹等に蓋圍せしものは窺板にて之を窺ひ直ちに巢箱に入れ又は窺等に入れて持ち來り更に巢箱に窺ひ入るゝを得べし

自動分封法

自動分封とは分封をして外に蓋閉せしめず直ちに新巢箱に自然に入らしむるものにして此法の十分なる好結果を得るを保するに至らば蓋し最も完全なる有益なる方法とすべきなり要は隔王板にて製したる器具を以て分封すべき巢箱の巢門と新巢箱の巢門とを聯絡するにあり自動分封器は種々の考案あるも雄蜂驅除器を以て兼用し得べし予が巢箱に此法を施さんには先づ分封すべき巢箱の巢門の一隅へ雄蜂驅除器を置き其餘は之を塞ぎ前方の一侧に新巢箱を置き巢門を相對せしめ其胴を前方に引くときは新巢箱の前後に入口を生ずべし而して雄蜂驅除器の先端を新巢箱の入口の一侧に俟め前後の入口は隔王板を張り置くべし分封前に此装置を爲し置くときは蜂の分封するに當り働蜂は多く出で、飛揚するも蜂王は出づると能はず邊巡出口を捜して遂に新巢箱に移るべし蜂王新巢箱に入らば飛揚せる働蜂は前後の入口より隔王板を越へて入るものにて蓋も人手を要せざるなり分封已に終りて蜂群新巢箱に入らば之を適宜の場所に持ち行きて据付くべし

自動分封法は未だ完全の成効と云ふ能はず殊に日本蜂の如き性急なる蜂種に於

りては蜂王邊巡する間に働蜂は已に蜂王の出でざるものとして元巢に復歸するに至ると多ければ寧ろ自然に委して蓋閉せしめ之を巢箱に入るゝを以て安全なりとす

分封の日を制定する事

人為を以て分封の日を制定せんとせば強盛なる蜂群の未だ蜂の王臺を建設せざる前に於て蜂王を取り去るべし其時期は必ずしも自然に王臺を建設すべき時期に相當し其巢脾には貯蜜多量にして蜂兒蜂卵を有すると多く且つ其巢箱若しくは其近傍の巢箱に於て雄蜂の生出すべき見込ある時に非らざれば不可なり然るときは働蜂は蜂王なきを以て直ちに働蜂となるべき卵の孵化せし當時のものを以て王臺を設け蜂王に變化せしむるものにして同時に三四個若しくは尙多くの王臺を造るべし蜂王を取去りしより十四五日を経て自然に分封を起すものなれば適意に分封の日を制定し得べし尙強盛なるものは一回分封せし翌日若しくは隔日に續て更に分封を起すものなり此法を行ふをきは働蜂の繁殖に於て多少の損失あり如何となれば自然に委して分封せしむるときは第一分封を爲すまでは

蜂王産卵を續くるも蜂王を取り去るときは其間産卵せざるを以てなり而し其分封の時期を早くするは新分封をして貯蜜を爲すに多くの時日を與ふるの利益あり尙又注意すべきは此くして生出せしめし蜂王は或は弱王を生ずることあれば獎勵すべき方法に非ず蜂王の良否を生ずるに就ては更に後章に説明すべし

分封の合同

二個の巢箱より同時に分封の起るとあれば其兩分封は相合同するもの多し或は三個四個の分封合同するとあり其合同せし分封は相一致するとあり或は互に争闘して全群の過半共に斃るゝに至るとあり相争闘せる場合には人手を以て如何とも制し難しと雖も成る可く之を救済するを計るべし其法は分封屋根に蓋團を始めしものは其争闘を見ば全く蓋團するを待たず之を取りて少しく隔たりたる場所に移し同時に他の分封屋根を持ち來りて其所に置くときは又之に蓋團するを以て再び之を移し更に又他の分封屋根を置く此く二三回行ふべし其中蜂王を有せざるものは飛散して蜂王あるものに集合す然るときは大抵合同を分離せしむるを得べく又其争闘を少くするを得るものなり尤も多少の殺傷あるを免れず

若し樹木等に蓋團を始めしものは捕蜂器を以て前述の如く數回捕收し而して蜂の騒亂せる無王のものは之を開きて自由に飛散せしめ有王のものに集合せしむべし

合同一致したる分封は其まゝ之を巢箱に移すときは王は相争闘して他は斃れ一王の所有に歸するを以て非常に強盛なる大群を得べし若し又合同せしものを分離せんと欲せば分封を入れるべき様装置したる巢箱二個を東西に相對せしめ其中共に蜂の蓋團を振り落すべし然るときは蜂は或は西に或は東に巢箱に入るあり又は巢箱の外に攀じ上るものあり此間能く注意し蜂王を各巢箱に入るゝ様蜂群を平均に入るゝ様助力すべし然らざるも大抵蜂王は兩箱に分れて入るものなり蜂群の分れて兩箱に入り共に静肅なるは即ち共に蜂王の入りし徴にして分離の効を奏したるものなり若し箱中に蜂王なきものあるときは蜂は騒ぎ出し決して静肅なるとなし而して其巢箱内を靜かに檢し若し一巢箱の蜂群他の巢箱より甚だ多きときは之を分ち少き蜂群に與へて平均すべし此時蜂王を他箱に移さる様注意肝要なり然る後之を別ちて適宜の場所に据付くべし又蓋團中を搜索して

二個の蜂王を捕へ各蜂王籠に入れ置き蜂群を各巣箱に平均に入れて後蜂王を放つときは最も確實なり

一分封の起りたるるとき他の巣箱よりも又分封起らんとせば吐露等にて水を其巢門の近傍に散布すべし然るときは一時分封を中止するものにて外出したる蜂は皆巢内に引き込むべし而して暫時の後再び分封を始むるものなれども已に前分封を所置せし後なれば合同の憂を避くるを得べし

分封の解散

蜂の分封を爲さんとして數分時間飛舞せし後又は已に蠶團を爲せし後若しくは巣箱に入れたる後に於て卒然解散して元巢に復歸するものとあり是れ其蜂王の蜂群と共に其巢を出でざるか或は巢を出づるも何等の災害ありて亡失したるに因るなり此時に際して強て分封せしめんとして元巢の巢門を塞ぎ或は種々の手段を爲すは不可なり蜂の自然に委せ置くべし又蜂王の存するも場合に依り解散して元巢に復歸するものあり或は取扱ひに多くの時間を要し永く蜂を擾亂せしめし爲め解散復歸するとのれば注意すべし

若し蜂をして分封せしむるの不利なる場合に分封したるときは人為を以て之を解散すべし即ち其蠶團中を點檢して蜂王を取り去るべし然かすれば凡三十分時にして解散し元巢に復歸するものなり

第二十八章 人工分封

蜂の自ら分封するを待たず人為を以て蜂群を繁殖せしむるを人工分封と云ふ人工分封を爲すに其時期と其方法良しきを得るに於ては自然分封に劣らざる好結果を得べきのみならず蠶蜂の繁殖に於て却て利益を得ることあるべし其利害は之を爲すの熟練と成算との如何に依るものなれば人工分封を爲さんとするもの十分の注意を要せざる可からず

蜂の自然分封を爲さんとする時期の前後は凡て分封に必要な状況に欠くる所なきを以て人工分封を爲すに適當なる時期とすべし若し適當なる時期に非らずして強て人工分封を行ふが如きは決して好結果を得ること能はざるのみならず爲めに全く蜂群を失ふことあるべし

人工分封の必要

蜂群をして自然分封にのみ委するときは種々の不便あるを免れず分封の時期晚きに過ぎ分封後の管理に不利を來すとあり又新蜂王の生出あるも曇天若しくは降雨連日に亘り爲めに分封を爲すと能はず蜂王は互に争闘して遂に斃るゝに至るとあり或は一時の氣候變化の爲め全く其分封を中止して王臺中の王兒を蝻し殺す等のとあれば宜しく人工分封を爲して此等の不利を避くべきなり又數個の蜂群を有するときは同時に數多の分封起り二個乃至三個の分封相合同し管理者をして多くの困難を爲さしむるとあり人工分封を行ふときは此る困難を來らざらしむべし

要するに人工分封は自然分封より來る種々の不便困難を避くる爲め行ふ法にして時に應じて之を應用するときは蓋し養蜂家を利する大なり殊に蜂群の増加を欲するものにありては甚だ重要視すべし

人工分封を爲すの通則

養蜂の手術中人工分封を以て最も考慮を要すべきものなりとす讀者宜しく左記

の通則に依り之を運用するの經驗を得らるべし

- 一、人工分封を行ふときは多く分封せしむるを得べきものなるも分封せし蜂群の強大となるべき見込ある範圍に於てすべく自然に分封せしむるより多數の蜂群を得んとする目的に於て行ふ可からず
- 一、分封すべきものは蜂群盛んにして且つ蜂蛆蜂卵を有する多く又貯蜜多きものたるべし然らざれば分封後強盛なる蜂群を得る能はず
- 一、新蜂王交尾の爲め雄蜂の生出なかる可からず若し雄蜂なきか或は雄勢の衰へたる雄蜂のみなるときは蜂王の生出するも交尾を遂ぐると能はずして亡失するものなり
- 一、野に花未だ減少せず分封したる蜂群の貯蜜を爲すに十分時日あるときに於て行ふべし
- 一、分封すべきものは之に蜂王を與ふるを得るか或は直ちに蜂王を生出すべき境遇を與へべし蜂王の生出は早きを利ありとす一日たりとも早く蜂王を生せば一日の利益あり王臺なきものを分封して働蜂蛆を蜂王に變化せしむるより

王臺を興ふるを利ありとし其王臺の成熟して將に出房せんとするものなれば一層可なり王臺を興ふるより生出したる蜂王を興ふるを利ありとし其蜂王の交尾を遂げしものなれば一層良し

一、蜂王の生出する迄に長時日を要すべきものは必ず蜂蛆蜂卵の最も多きを要す然らざれば蜂王の生出し交尾を遂げ産卵し而して其卵の孵化生長して出房する迄には已に働蜂は老ひて亡失するもの多く忽ち蜂群の減少して盛んなる群を得る能はず

一、蜂王を取り去られたる蜂群は一時喧騒し其喧騒の静まると同時に王臺を造るものなり尤も老蜂のみなるときは王臺を造る能はざることあり

一、王臺は大切に之を取扱ふべし然らざれば其中の王兒を傷つくとあり又長時間外に露出す可からず若し直ちに用ひざる王臺を保存せんとするならば一時之を他の蜂群に預け置き必要の時取り出すべし

一、王臺を蜂王ある蜂群に入るゝときは直ちに噛み破らるべし若し此る必要あらば假令の暫時たりとも必ず蜂王籠に入るべし

一、人工分封を爲し以後分封を欲せざるものによりては數個の王臺を有するときは其不用なるものは悉く取り去るべし然らざれば更に自然分封するとあり尤も分封するに足るべき蜂數なきときは一王出房するや暫時の後他の王臺を噛み破るものなり

一、他に用ふべき王臺を巢脾より切り取るには必ず他の巢房を附して深く切り取るべし若し淺く切りて王臺の後部に小孔を生せしめしものゝ如きは用に適せざるものと知るべし

一、他より切り取りたる王臺を蜂群に興ふるには適宜巢脾を切り抜き之に依入すべく又は留針にて巢脾に附着すべし而して其蓋の他物に附着するときは蜂王の出房に差支へあるを以て注意すべし

一、王臺は他より持ち來りしものと雖も無王の蜂群は喜んで之を迎へべし假令に王臺を入れて直ちに蜂王の出房するも其王を殺害すると稀なり然れども他の巢箱に於て已に生出したる蜂王を興ふるときは群蜂は之を容れざるを以て蜂王籠に入れ之を興へ相近配せしめて後放入すべし

一、人工分封したる蜂群を平均せしむる様心掛くると肝要なり故に數々蜂群を
 換して強大なるものは弱小なるものに與ふべし尤も分割して二日位を經過せ
 ば已に互に敵意を生じて相混入するを許さず又各其巢門の位置を定めざる前
 に於てすべし

一、蜂群を二個若しくは三個に分割するとき蜂王あるものは静肅にして他は喧
 騒するを以て蜂王あるものを近傍に置くときは之に集合すると多し此憂を避
 けんとせば無王蜂群を舊位置に於て喧騒せしめ有王蜂群を他に移し一時之を
 幽閉し置き而して喧騒の静まりし後に於て適宜所置すべし

一、蜂群を分割して其舊位置にあるものには蜂は多く集合するものなり此憂を
 避けんとせば共に舊位置より同距離を隔て、巢箱を置くべし舊位置に近きも
 のには蜂の入ると多く遠きに從ひ蜂の入ると少し

一、蜂群を分割して舊位置にある巢箱には老壯の蜂を得ると多く他に移したる
 巢箱には幼蜂を多く残留すべし

右通則に依るときは何れの方法を以て人工分封を行ふも能く満足すべき効果を

得べきなり

人工分封の方法

人工分封の法は種々あり左に其二三を記すべし

王臺あるもの、人工分封 蜂群の已に成熟したる王臺あるものは其王臺ある巢
 脾及び他の三四枚の巢脾と之に附着せる働蜂とを分割して新巢箱に移すべし
 蜂王ある蜂群ならば一巢箱は蜂王を残留するを以て王臺の必要なしと雖も若
 し蜂王なきものなれば勿論共に完全なる王臺一個を有せざる可からず而して
 何れも必用なき他の王臺あらば之を切り取るを良しとす

王臺なきもの、人工分封 巢箱を開きて全巢脾の半を分割し之に附着せる働蜂
 と共に新巢箱に移すべし尤も無王とすべきものは蜂卵蜂蛆を有する巢脾を多
 からしむるを良しとす而して有王のものは一時其巢門を塞ぎ他に移し成る可
 く日光を省きたる室内に入れ置き無王群の舊位置にて喧騒を止めたる後に至
 り両巢箱を共に舊位置より同距離を隔て、左右若しくは前後に置くべし無王
 のものは直ちに王臺を造り新蜂王を生ずべし又數個に分封せしむる場合にも

先づ前記の如く二個に分ち置き王臺の成熟したるを待ちて更に之を分つを得策とす

又 分封すべき巢箱を他の位置に移し巢脾の過半を取り蜂を掃ひ去りて之を新巢箱に入れ舊位置に置くべし然るときは舊巢箱より出でたる老壯の蜂は大抵新巢箱に入りて新たに王臺を造り新蜂王を生ずべし此法は晴天の日午前之を行ふを良しとす

二蜂群より一分封を得る法 此法は最も強盛なる蜂群を得べし先づ甲巢箱の蜂を取りて悉く新巢箱に掃ひ落し巢礎を裝附せし巢框を與へて之を舊位置に置き更に乙箱を他の新位置に移して其所に甲巢箱を置くべし此くするときは新巢箱の蜂は自然分封に於けるが如く直ちに巢脾を造營して盛んに労働繁殖すべく甲巢箱は一蜂を有せざるも乙箱より出でたる老壯の蜂は悉く甲巢箱に集り來りて之に王臺を設け新蜂王を生じ且つ巢脾に充滿せる蜂蛆蜂卵は生育出房して盛んに幼蜂を生ずるを以て益々強盛に至るべく乙箱は一時蜂群を減ずるも蜂蛆蜂卵は生育出房し蜂王は盛んに産卵して忽ち繁榮すべし此法も亦午

前之を行ふを良しとす

右は其大要を記せしのみなれば之を行ふに當りて必ずしも前記通則を斟酌應用せざれば不幸なる結果を見ることあるべければ注意すべし尙人工分封の方法は決して右數法に限らず宜しく其時期と境遇とに依りて臨機の所置を行ひ最も利益ある方法を取るべし其應用の如何に依りて以て利益を増進すべく以て蜂群を衰弱せしむべきなり

第二十九章 分封防禦法

自然分封に委するときは種々の不便あるは前章に述べし所尙又分封多きに過ぎ蜂群をして衰弱ならしむるものあり蜂群の弱小なるは種々の害敵侵入し多くの困難を來し到底満足なる結果を得る能はず故に蜜を多收せんとするには其巢箱の數を増さんより寧ろ蜂群をして強盛ならしむるを得策とす巢蜜を採收せんとする場合は如きは殊に然りとす是れ分封を防禦若しくは制限して強盛なる蜂群を得るは養蜂家の爲め最も必要なる所以なり又蜜蜂の箱數既に其飼養の豫定數

に達するに於ては多くの分封を得るの必要なく只に其減少を充たす程の分封を得れば足れり

分封の豫防

巢箱内に蜂群充滿するは分封を促すものなれば蜂の分封の念を起さざる以前に巢箱内に多くの空所を生せしむるは分封を豫防するの一策とすべし其空所は巢門の方にあらしむるを良しとし尙前後に多くの空所あらしむるは一層可なり又繼箱を重ねるは多少其目的に適ふものとすべし繼箱は其分離蜜用たるも巢蜜用たるを問はず其蜜の充滿せざるに先ち之を採收するか又は更に繼箱を重ねるを要す凡て早く蜜の採收に着手し貯蜜をして多からしめざる様心掛くるは分封を豫防するの力大なり是れ貯蜜の少量なるは温度を少くして分封の念を生ずるを抑ゆるのみならず採蜜の爲め蜂を擾亂するに依りて蜂の秩序設計を亂すに因るものなり

巢箱に庇陰を與へて巢箱内を清冷ならしめ或は巢門を廣くし底板を少しく引出し置きて空氣の流入を良くし温度を放散せしめ或は雄蜂房を造營するものある

ときは之を切り去り且つ其巢脾の位置を前後して働蜂房の巢脾間に置く等は凡て分封を豫防するの助となるべし

蜂の王臺を造營したるとき四五日毎に之を切り去るときは分封を防止するものなり蜂の分封熱最も盛んるときは王臺の蓋せらるゝを待たずして分封するとなり故に王臺を切り去るは其初期に於てせざる可からず王臺を切り去るときは蜂は又直ちに之を造營するものにて夏季花の欠乏を感ずる迄は止むるとなし故に數々之を切り去るは甚だ其煩に堪へず且つ蜂をして多くの徒勞を爲さしめ蜂の勞働する秩序を擾亂すると多く尙蜂の分封熱を永く起さしめ置くときは勞働するもの少く決して經濟的方法に非らず又王臺を悉く見出して之を破壊するは至難の業にして手數と時間とを要する甚だ多きのみならず若し一王臺にても見落し置くあらば總ての苦心は無益に終るべきものなれば其方法は決して完全なる豫防法に非らざるなり

王臺の成熟して將に分封せんとする以前に於て蜂王を取り去り且つ一個の完全なる王臺を残して他は悉く摘去するは効益ある分封豫防法なりとす此くすると

きは王臺より直ちに新王の出房するものなり又早く分封せし蜂群より得たる新蜂王の交尾せしものを保有せるあらば之を以て蜂の分封熱を起さざる以前に老王と交換し置くは一層良き方法なり凡て老王を有する蜂群は分封を起すの念多きも新王を有する蜂群は新たに分封するの念を生ぜざればなり且つ新蜂王は産卵力盛んにして蜂群益々強盛となるべきなり
本年分封せし第一分封より孫分封せんとすることあるときは必ず之を防禦するを得策なりとす何となれば孫分封は時期の後るゝを以て直ちに花の欠乏する時期に達し分封及び元巢とも其強盛を保つこと能はざるのみならず新蜂王は交尾を遂ぐる能はずして亡失するもの多ければなり故は孫分封を防禦するには普通の場合の如く王臺より生ずる新蜂王を以て老王と交換するは危険多きを以て既に交尾を遂げし他の新蜂王と交換して分封を防止するの外は單に王臺を破壊して分封を防禦すべし又其分封の出づるに際せば其蜂王を元巢に返して王臺及び新蜂王を取り去るを安全とす

分封の制限

已に一二回の分封を終り以後分封を防止せんとせば巢脾を檢して殘餘の王臺を取り去るときは随意に分封を制限するを得べし最も有益なる方法は第一分封を爲すに當り其分封せし新蜂群を元巢の位置に置き元巢を他の新位置に移すにあり然るときは以後分封するもの稀なり且つ元巢より出遊したる老壯の蜂は舊位置なる新分封に來りて非常なる強群を得て其年内に多くの蜜を得らるべく而して元巢も亦分封を止むるを以て其強盛なるを失はず此くして得たる分封は孫分封を爲す恐れあれば成る可く蜂王を新蜂王と交換し置くを良しとす

第三十章 分封後の蜂群

分封したる蜂群を巢箱に入れたる後は一週間位は巢箱を開かざるを良しとす此際數々巢箱を開きて蜂を驚かしむるときは蜂は不安の念を起して逃出するとあり殊に交尾前の蜂王を有するものは其交尾を終る迄は成る可く靜肅なるを要す數々蜂を騒がしむるときは蜂王交尾を遂げし後逃出するもの多かるべし而して適宜の時日を経過せば巢箱を開き巢脾を檢し不正なるものあらば之を矯正すべ

く又巢框の少きものは必要に應じて巢礎を裝附したるものを附加すべし
分封の際は蜂皆十分蜜を啣みて元巢を出づるを以て三日間位は食餌に差支へな
く直ちに勞働して巢脾を造營し貯蜜すると雖も此際若し數日雨天にて蜂の外出
する能はざるときは食餌を給せざれば蜂群をして衰弱せしめ或は全く餓死せし
むることあり

分封後の元巢は注意を要すると多し殊に多數の分封を爲さしめしものは最も危
殆の境遇に際し居れり是れ分封に依りて働蜂忽ち減少し無用なる雄蜂の多數を
殘留し且つ蜂王は交尾を遂ぐるまで産卵せざるを以て蜂群の繁殖中絶せられ甚
だしきは巢脾の全部を蜂の保護すること能はざるに至るを以て其慮に乗じてト
ヂ虫の繁殖跋扈等其他多くの障害を來すものなれば不必要なる不完全なる巢脾
あらば之を抜き去り又雄蜂房を切り去り蜂をして無用の巢房を保護するの勞を
少なからしむる等種々の注意を怠る可からず

新蜂王は交尾の爲め外出するものにて蜂大に翅小に其飛行すると働蜂の如く輕
快ならざるを以て或は小鳥類に捕食せられ或は蜘蛛の網に罹り其他種々の災害

に遇ふて亡失するとあり又働蜂の如く數々巢門を出入するものに非らざれば或
は其巢門を誤り他の巢箱に入りて噛み殺さるゝことあり巢箱の近傍に蜂の目標
となるべきものあるか又は之を設け置くときは蜂王交尾の失敗を少くするを得
べし蜂王交尾の失敗は時期の早きものに少く時期の後るゝに従ふて多しとす時
期の後るゝときは雄蜂の勢氣は漸く衰へ蜂王の交尾を遂ぐるに容易ならざれば
數々外出するの必要を生じ且つ小鳥類の幼兒多く生育繁殖するを以て其害を受
くること多し故に分封は成る可く時期の早きを以て分封後の困難少しとす交尾
前の蜂王を有する蜂群は午後四時より五時頃迄の間に必ず巡視すべし蜂王の亡
失せしものは此時に於て巢門に喧騒し又は怪しむべき舉動あるものなれば其蜂
王の亡失せしを確かめ適宜の所置を爲すべし
已に一定の場所に据へ付けたる新蜂群の位置を變更するは甚だ不可なり殊に蜂
王交尾前なるときは爲めに交尾の失敗を來すとあり又之を遠隔せる地に移すに
は必ず交尾後たらざる可からず如何となれば雄蜂は多く元巢に殘留しありて分
封に附隨するものは甚だ少きものなれば之を獨り遠隔せる地に移すときは雄蜂

の少き爲め交尾を遂ぐるもの稀なればなり

第三十一章 蜂蜜採取法

従来の飼養法即ち天然的巢箱にて蜜を採收するは蜂の全群を殺して巢脾を取り去るか或は其一部分を取り餘を以て蜂の食餌とするなり而して其巢脾は之を布袋に入れて搾取するか又は太陽に曬して蜜を流出せしむるものなり其搾り取りたるものゝ如きは或は花粉及び幼蛆等を混入したるまゝ搾るとあるを以て甚だ汚穢なり信州地方にては硫黄を煮して蜂群を殺すあり又紀州地方にては巢箱の後方より數枚の巢脾を切り取りて蜜を採收するあり改良巢箱にては巢脾を破らず蜜を分離し其巢脾は再び蜂に與ふるなり

蜂蜜採收時期

蜜を採收する時期は天然的巢箱にては秋期一回採收するものなりと雖も改良巢箱にては隨時採收するを得べく何時にても野に花の饒多なる時は即ち收蜜期とすべし然し最も善良なる蜜を多量に採收し得らるゝは春期にして三四月頃より

始まるものなれば其以前に採蜜の準備を爲し置くべし蜜を多收せんには成る可く分封を防遏すべしとすも止むを得ざれば第一回の分封を爲さしめ以後専ら採蜜に従事すべきなり秋季は春季に次で蜜を採收するを得べしとすも適宜其時期を考へざれば冬の食料に不足を訴へしむるに至るとあり尤も土地氣候と花の如何に依りて其收蜜期を一定する能はざるは勿論にして又豫期せる收蜜期も若し降雨連日なるとき又は其目的とすべき花の連作に遇ふときは爲めに收蜜期を遅延せられ又は全く收蜜する能はざることあり收蜜期を知るは大に經驗を要するものにして一日を過たば即ち一日の損失あるものなれば養蜂家は宜しく心を之に傾注せざる可からず

春季收蜜期の始めに於て採取したる蜜は其色澤香氣風味ともに善良なるもの多く時期の進むに従ひ漸く劣等なる蜜の多きを常とす又蜜の苦味を帯びて食用に堪へざるものあり此等の蜜を良蜜に混ずるときは大に其風味を損するものなれば宜しく其採取時期に注意を要すべきなり秋季の蜜は春季に比して其中位に心を普通とす勿論蜜の良否は其花の種類に關係するものなれば土地の状況に依

りて大差あるものなり

蜂蜜分離法

蜜を採收するには分離器を以て巢脾より蜜を分離するなり其法は先づ分離器を
 装置し蜜の容器蜜刀及び蜜蓋を入れる、器具等を用意し置き巢箱を開き框を引出
 し蜂を掃ひ去り採蜜すべき場所に運ぶべし而し同時に全巢脾を取り去るは良し
 からざるを以て其半を残し置きて蜜を採收したる框を蜂に返し暫くして蜂の之
 に移るを見て又他の巢框を引出して蜜を採收すべし若し時期に依りて其全部を
 採蜜するの不可なるを認むるときは其幾分を採收するも可なり

巢脾框は先づ一面の蜜蓋を蜜刀にて切り開き之を分離器内の籠の金網に面して
 入れ同時に巢脾框二枚づゝを入れるべし而して其柄を回轉するときは忽ち蜜を分
 離するを得べし蜜を分離せば之を出し更に他の一面の蜜蓋を切り開き再び之を
 分離器に入れて蜜を分離す両面の蜜を分離したるものは之を巢箱に戻して蜂に
 與ふるなり蜜蓋を切るに蜜刀を熱湯中に浸し置き用ふるるときは巢脾を損する
 と少し分離せられたる蜜は下部に附しある流出口より流出するものにて其口に

麻袋若しくは木綿袋を附し置くときは汚物を濾して蜜を流下するを以て容器を
 置き之を受け入るべし

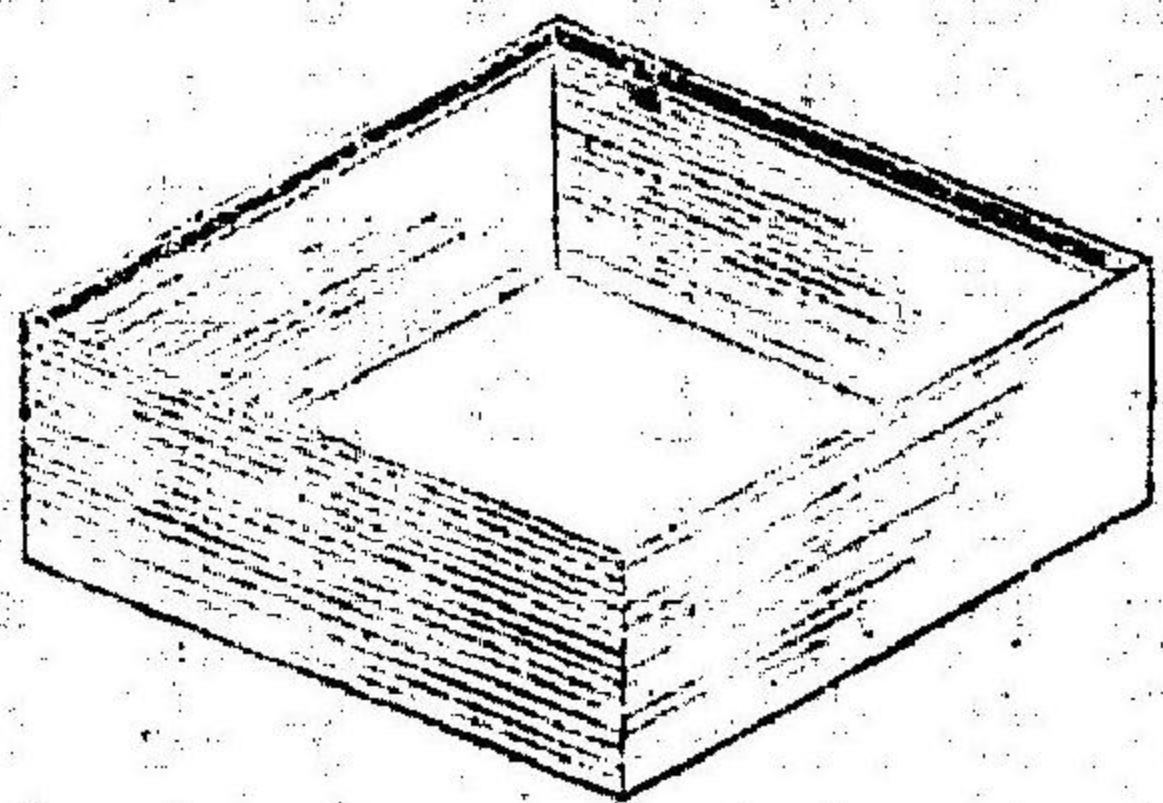
巢脾框は分離器内に横に之を入れるものにして巢脾は凡て其巢房幾分か上方に
 向ひ居るを以て巢框の上縁を右にし而して左に向ひて回轉する様に入るゝときは
 蜜の分離をして容易ならしむ其回轉の速度と同數とは數回實地に之を試むると
 きは直ちに知り得べし又蜂卵蜂蛆ある巢脾の蜜を分離するに於て其卵蛆に害あ
 るやの疑ひを懐くものあるも決して害なきものなり然れども其回轉中或は一
 の蜂蛆の離れ出づるとあり其回轉をして少しく遅く長からしめば蜂蛆の損害を
 少くすべし

蜜の巢房中に満ちて蜂に蓋せられたるものは既に水分を蒸發して濃厚となりた
 るものなれば之を採收するときは良好なる蜜を得べし其未だ蓋せざるものを採
 收するときは蜜は稀薄なり採收せし蜜を瓶若しくは罐に入れ之に蓋せずして温
 暖なる室内に置くときは數日にして大に成熟するものなり又分離したる蜜を絨
 布にて濾すときは更に純良なる蜜を得べし

蜜蓋の切り落したるものは細き金網を以て製したる濾器の設けある罐中に入る
 ときは蓋に附着しある蜜は下に滴下すべし若し其器なきときは之を木綿袋或
 は麻袋に入れ蜜を滴下せしめて採取すべし
 以上記述せし蜂蜜採收法は尙完全なりと云ふ能はず育兒の巢房と貯蜜の巢房と
 區別なきを以て數々蜜を採收する毎に育兒の面積を擴大し漸く貯蜜の面積を縮
 小して十分貯蜜する能はざらしめ終に冬夏の花なき時に蜜の欠乏を訴ふる多か
 らしめ又採蜜に際して蜂を擾亂せしむると多く且つ成熟せる良蜜を多獲する能
 はざる等不完全なる點少なからず蜂種を改良し養蜂術の進歩に従ひ過去の遺風
 と見做さるゝに至るべし完全なる蜂蜜採收法は縦箱を使用するにあり日本蜂は
 縦箱内に働くを嫌ふの風あるものなれば止むを得ず縦箱を用ひずして蜜を採收
 するも然も善良なる巢脾を以て之を誘導せば縦箱内に働かしむるを得べし縦箱
 使用法は次章に述べん

第三十二章 縦箱使用法

圖六十四第



縦箱は巢箱を重ねて蜜を貯藏せしむるものにして巢蜜を採收するには勿論使用
 せらるべく又分離蜜を目的とするものと雖も完全なる採蜜法とすべし縦箱は巢
 箱の胴を其まゝ用ふるを得べしとするも其高さ半丈けなるを用ふるを便利とす
 即ち第四十六圖の如く巢箱の胴を二分して其上半を用ひ
 たるに同じ此縦箱は其中に入る、框に依りて分離蜜用巢
 蜜用共に用ひらるゝものなれば管理上甚だ便益を得るも
 のなり
 縦箱を用ひんとせば早春より蜂群を繁盛ならしむるに盡
 力し巢框の巢箱に充滿せざるものは漸次之を加へ巢脾の
 巢箱に滿つるを待ちて之に縦箱を重ねべし時期の早きに
 於て縦箱を重ね置くは甚だ不可なり蜂は其時期の來る迄
 は縦箱内に働かざるのみならず爲めに巢箱内の温度を減少するの不利あり多く
 の蜜を得んには分封は成る可く防遏すべしとするも止むを得ず分封したる場合
 には元巢を他に移し分封を元巢の位置に置き而して縦箱を元巢より取りて分封

に與ふるを良しとす

縦箱内には蜂王の産卵するを不利とするものなれば若し蜂王の入る恐れあるときは縦箱と巢箱との間に隔王板を挿入し置くべし若し蜂王の縦箱内に入りたる形跡あるときは能く縦箱内を検査して蜂王のなきを確かめ而して隔王板を挿入すべし然らざれば全く無効に歸するものなり殊に巢蜜用のものは若し蜂王の入りて産卵するものあらば是れ全く失敗せしものなれば注意すべし尤も隔王板を用ひざるも蜂王の縦箱内に入るは稀なり前記の如き淺き縦箱を用ふるときは殊に其憂ひ少しとす

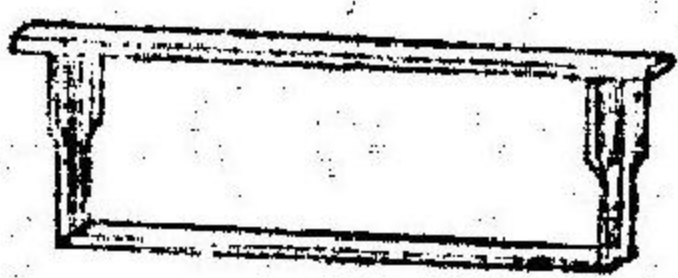
縦箱内の蜜を採收する爲め蜂を縦箱より除かんば其一二日前に成る可く脱蜂器を添附せる板を縦箱と巢箱との間に挿入すべし然るときは縦箱内には殆んど蜂なきに至り取扱ひに便利なるのみならず蜂を擾亂すると甚だ少し且つ採蜜期中と雖も脱蜂器を挿入せし以後蜂の採取し來れる蜜は含支れずして縦箱内の蜜は大に水分を蒸發し成熟し居るの利益あり若し脱蜂器を用ひざるときは薰煙して蜂を追ひ或は框を引き出して蜂を掃ひ去らざるべからず

巢蜜として採收する蜜は淡色にして風味佳良ならざる可からず暗赤色なる蜜は巢蜜として價値なきものなり故に善良なる蜜を採取せらるべき期節に於ては巢蜜を採收し其他は分離蜜を採收するを良しとす

分離蜜

縦箱を以て分離蜜を採收せんには第四十七圖の巢框を用ふ此巢框は普通巢框と同大にして高さ四寸とす之を前記の縦箱に十枚を入れ巢箱に重ねるときは蜂は巢脾を造營して蜜を貯ふ尤も巢箱の胸を縦箱として用ふるときは框も亦其巢框を用ふべし而して縦箱の巢框と巢箱の巢框とは必ず二分乃至三分の間隙あるを必要とす縦箱内には育兒の巢房に貯蜜することなく其蜜は十分成熟せしめ得るを以て最も善良なる蜜を採收するを得べし

第四十七圖



分離蜜用巢框へ巢脾を造營せしめしものは最も貴重すべきものにして一度之を造營せしめば以後年々之を用ふるを得べく蜜を多獲せんには此空巢脾の多くを有するを要す縦箱を蜂に與ふるに完全なる空巢脾を有する巢框を入れしもの

と巢脾なき空框を入れしものとを比較せば前者は直ちに蜜を貯蔵するを得るも後者は多くの時間と多くの蜜量とを消費し巢脾を造營して後蜜を貯蔵するものにして其收蜜量に甚だしき差異を生ずるなれば空巢脾は大切に保存して常に之を與ふべし若し空巢脾の欠乏したるときは框の全面に巢礎を裝附したるものを與ふべし

繼箱を蜂に與へて其七八分蜜を満たしたるときは之を上げて巢箱と繼箱との間に更に新繼箱を入れるべし是れ上より上に繼箱を重ねるに比して蜂をして新繼箱内に働かしむるに於て有効なり而して又新繼箱に七八分貯蜜し尙收蜜期の永續せらるゝ見込みあるときは更に又新繼箱を與ふべし上層の繼箱は數日にして蜜を充實成熟するを以て隨時之を取り去り前章記述せし方法に依り分離器にて蜜を分離採收し其巢脾は直ちに之を蜂に與へて更に蜜を貯へしむべし又收蜜期の終りに至り同時に之を採收するも良し尤も其蜜は時期に依りて良否あることは前已に述べし如くなれば蜜を貯蔵せしめし時期に依り之を區別して採收するを良しとす

收蜜期の終りに於て採蜜したる空巢脾は夕刻之を蜂に返すべし日中に於てするときは盜蜂を誘導するの恐れあり而して巢脾に附着しある蜜は蜂をして掃除せしめ巢脾の損傷したる箇所は蜂をして修理せしむべし收蜜期に非らざるも氣候の温暖なる間は巢脾は蜂に預け置きて保護せしむるを安全とす然らざればトヂ虫の侵蝕を蒙りて再び用を爲さざるに至るべし氣候寒冷に及び最早其害なきに至らば繼箱を取り去り巢脾は乾燥冷氣なる場所に貯蔵すべし收蜜舎内に棚を設けて巢脾と巢脾と相接觸せざる様之を掛け置くときは甚だ良しく又繼箱に入れたる蜜を之を重ね置くも可なり而して翌年の用に供すべし

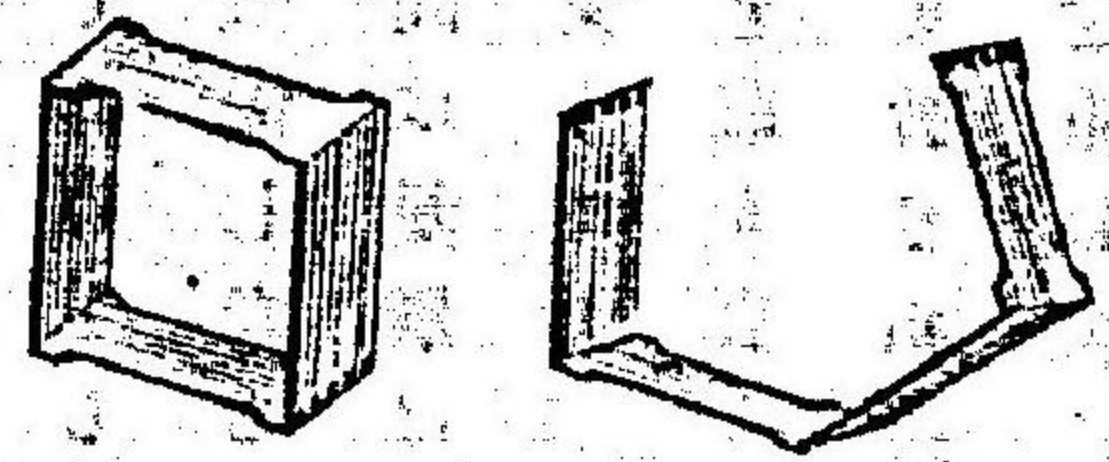
繼箱内に永く働き始めざる蜂群は他より多少の貯蜜ある巢脾一二枚を取り來りて之に與ふるか若しくは其巢框二三枚を一時巢箱内に入れ置き之に巢脾を造營せしめ多少の貯蜜を爲さしめたる後繼箱内に移すときは蜂を誘導して繼箱内に働かしむるを得べし

巢蜜

巢蜜は一斤入二斤入等の小箱に巢脾を造營せしめ之に蜜を充たさしめしものに

て小箱の支、食卓に上るものなれば最も清潔なるを要す巢蜜は分産蜜に比して素より其收量少しと雖も品質最も高尚に味甚だ美にして其價高きを以て之を採收せば却て多くの利益を見らるべく歐米養蜂家は専ら力を巢蜜の採收に盡せり我邦今日未だ之が需用少きも早晚其需用多かるべければ養蜂家之を生産する方法を講ずべきなり

巢蜜に用ふる小箱は成る可く外觀美にして木質柔かく粘力ある材を用ふべし即ち柳材等を良しとす第四十八圖の如く一枚の薄き板を



(イ)の如く削三角形に三條の溝を切り込み折り屈げて四角となし兩端は共に齒形に切り込みて組み成すべし又上下を(ロ)の如く兩側より一分五厘づゝ削り込み以て蜂の通路と爲す板の厚さは一分幅一寸五分にして三寸六分四方の空胴箱なり之を一斤入巢蜜箱とす外に二斤入等あるも普通用ふるは十斤入なり之を折り册ぐるには二三日間濕氣ある場所に置くか或は其局部を濕し

第四十八圖

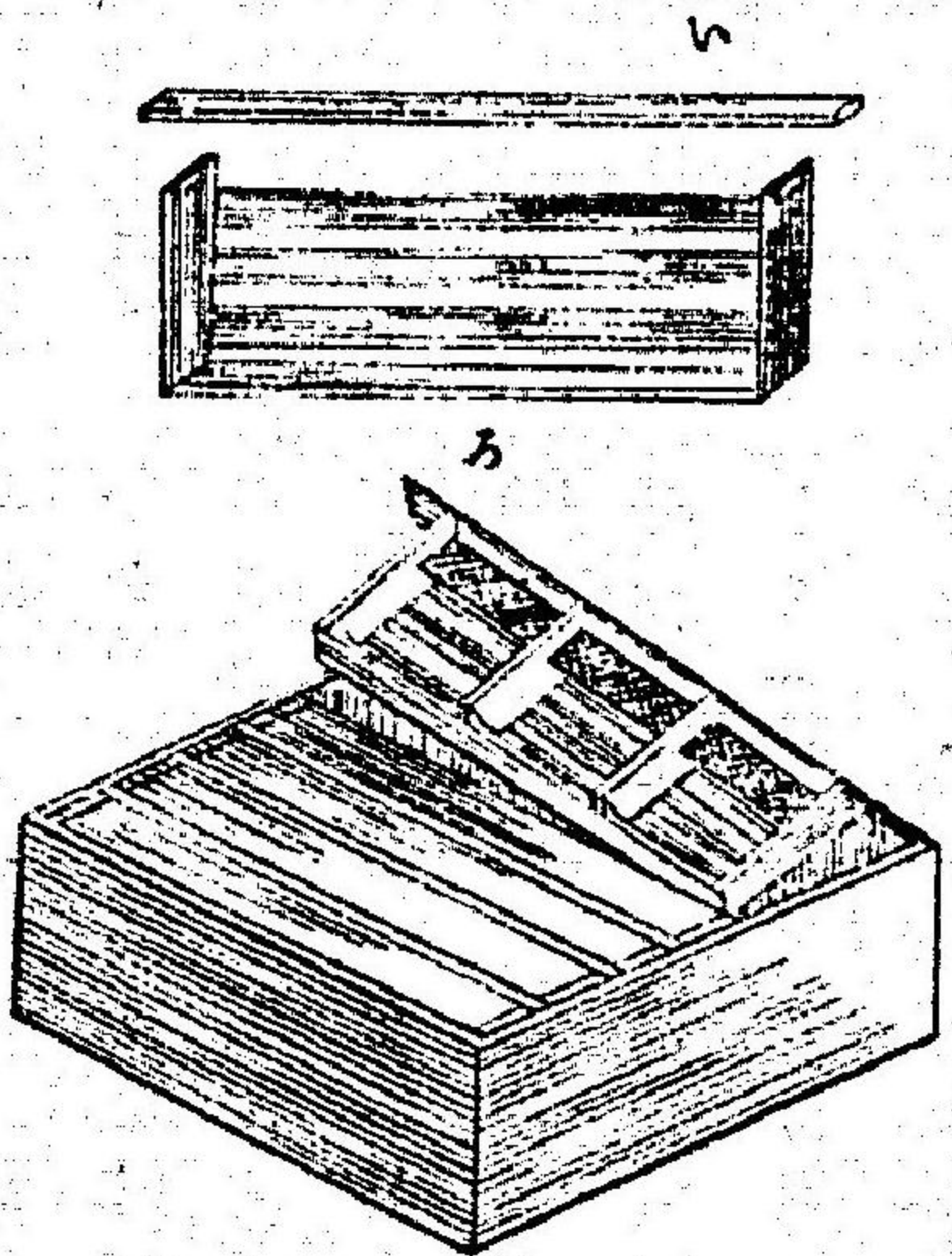
置くを良しとす乾燥せるを直ちに用ふるときは折り目の離るゝものなり巢蜜箱の周圍に適應せる様板を以て取り圍まれ正しく巢蜜箱を折り成すを得べく製作したる器具種々あり右巢蜜箱は收蜜期の前に於て準備し置き何時にても使用するに差支へなからしむべし

巢蜜箱へ巢礎を裝附するには其上部半面位にて足れり廣くするも其巢礎の下邊と底板とは四五分の間隙あるを要す又上板の巢礎の下邊より二三分を離して底板にも倒立に四五分の巢礎を裝附するも可なり此くするときは二重の手數を要するも巢脾を底板に接着するを容易ならしむるものなり

右巢蜜箱は之を第四十九圖(イ)の巢蜜框に入る巢蜜框は高さ四寸長さ一尺二寸四分其兩側は三分板にて造り幅一寸五分上下は二分板にて造り幅一寸二分なり尤も上板は長くして一尺二寸六分とし以て蜂箱の上邊に掛くるなり且つ兩側板の上邊に上椽を挿し込む様切り込み上に鐵板を打ち付け以て上椽を抜き去るを得らるべく製作す是れ巢蜜箱を組み入れ又取り去るに便利なる爲めなり尙其一面には幅九分厚一分位の薄板を横に通じて二分位づゝを隔て、三板を打ち付け

蜂の巢脾を巢蜜箱に造營するに平坦なるを得せしむ此巢蜜框に巢蜜箱三個を並列して入れ以て前記の繼箱に入る、と(ろ)の如し繼箱内には巢蜜框七個を入れる

圖九十四第

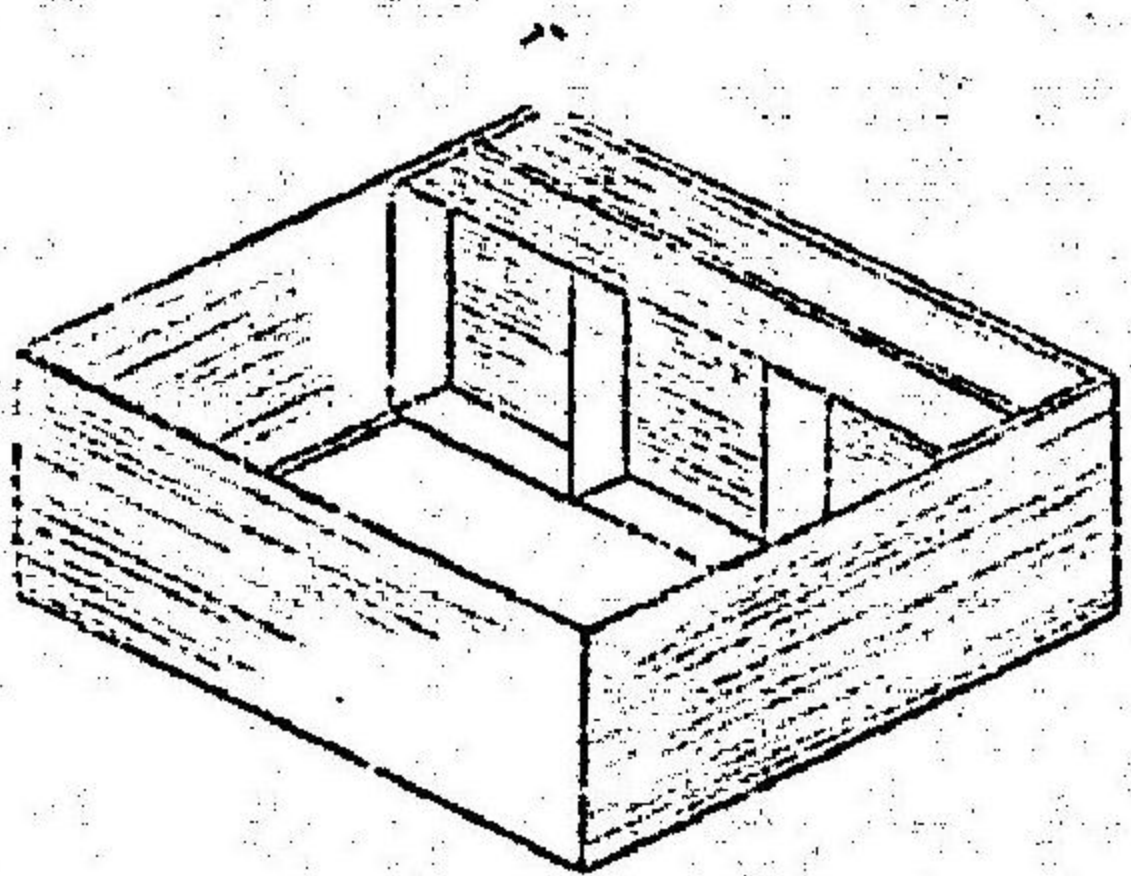
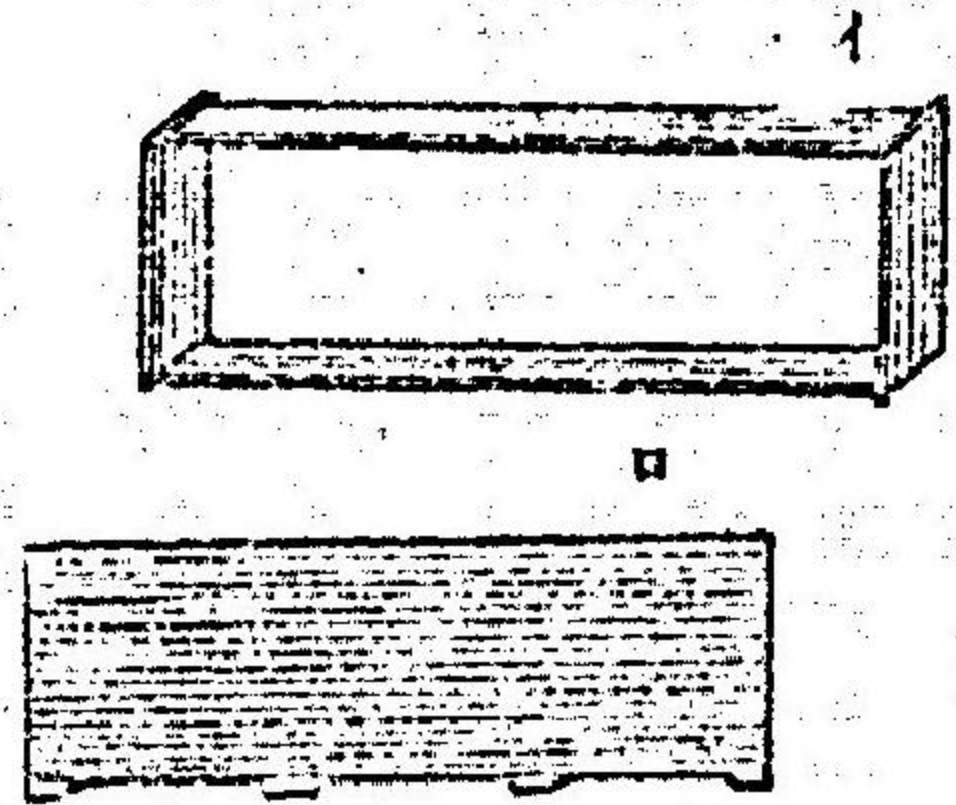


家各自の考案に依るものにして一定に論ずべからず

巢蜜用繼箱の構造は種々あり養蜂家各自の意匠を以て適宜工夫せらるべし前記の外第五十圖(イ)の如き巢蜜框を用ひ繼箱は内方上部に切り込みなく下部に二分角の棒を兩側に打ち付けて巢蜜框を掛くる様にし其巢蜜框の間には別に一々

べく即ち巢蜜箱二十一個を入れる、を得べし人或は其數の少きを稱す然れども蜂群盛んにして貯蜜多ければ何回にても新繼箱を與ふべく而して同時に多數の巢蜜箱を與ふるより其蜜を充實せしむるに於て其だ容易なるものなり尤も巢箱の大なるものを用ふるときは一巢蜜框に四個の巢蜜箱を並列する様製作すべく此等は養蜂

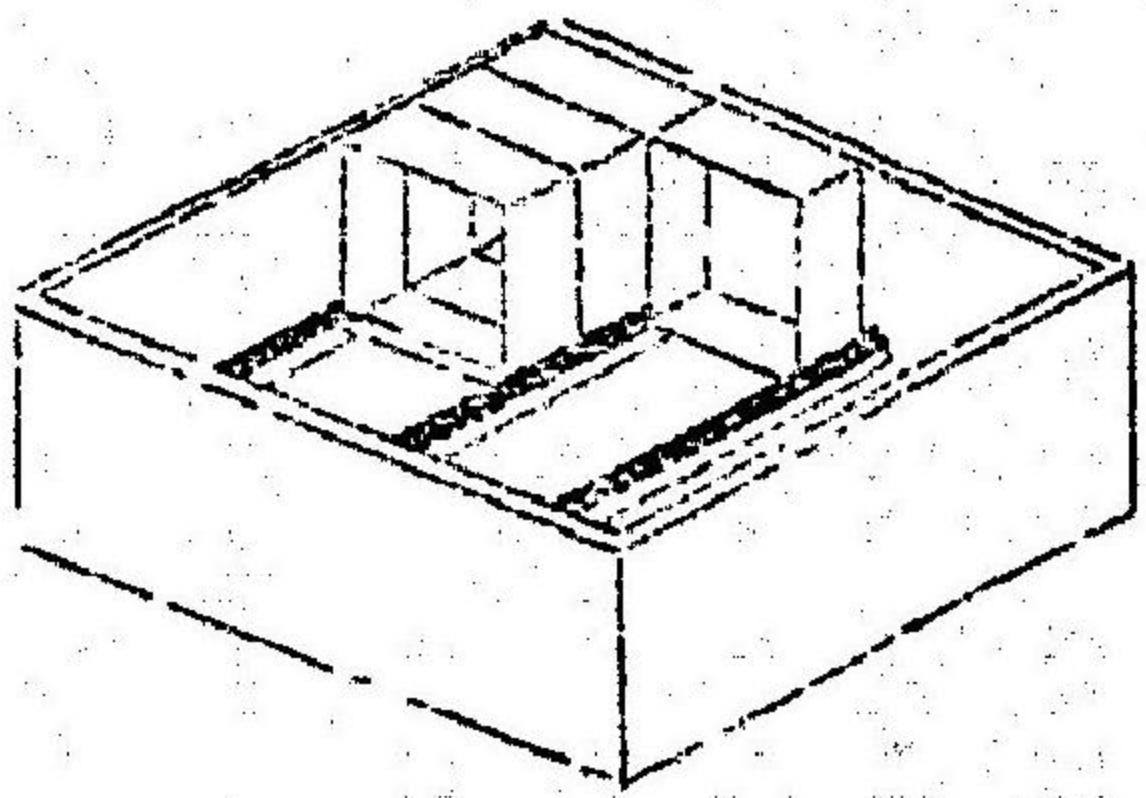
圖十五第



(ロ)の隔離板を入れて(ハ)の如く繼箱内に入る、あり隔離板は極薄き木製の板或は亞鉛板を用ひ廣さ一尺二寸弱幅四寸にして下部を圓の如く其巢蜜箱に當る所を削り込み蜂の通路に差支へなからしむべし

又第五十一圖の如く繼箱の下方に亞鉛板若しくは薄き木板を以て倒丁字形の棧二條を通じ又其兩側にも細き棧を打ち付けて巢蜜箱の掛かる様にし以て繼箱に直接巢蜜箱を入れ而して其間に三個の巢蜜箱を通じて一々隔離板を入れる、もあり此方法は輕便なりと雖も其欠點とする所は蜂の爬行の爲め巢蜜箱の下面を汚し又樹脂を多く用ふる蜂種にありては爲めに汚さるゝこと多く且つ巢蜜箱の取扱ひに手数を要する

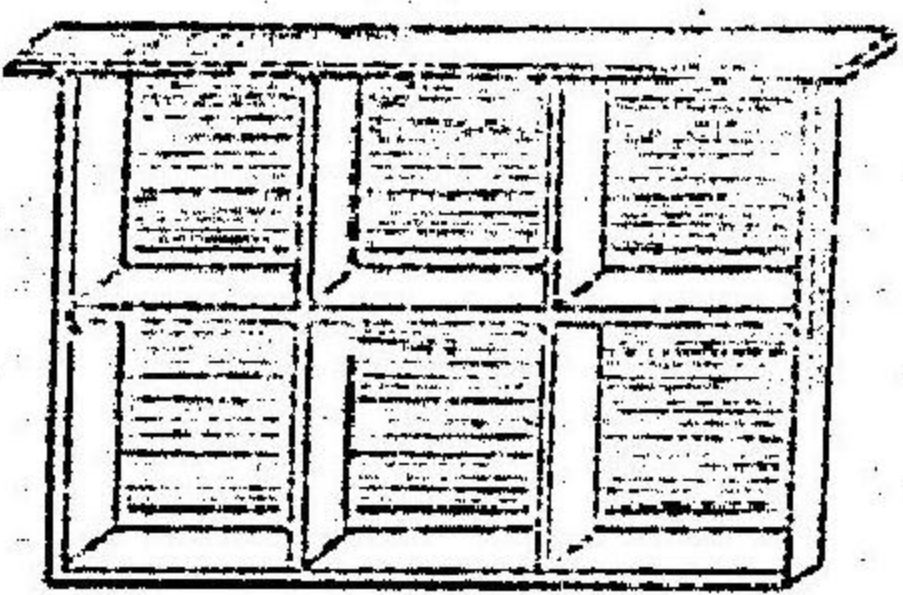
圖一十五第



こと多し

尙又繼箱として普通巢箱の胴を用ひば第五十二圖の如く大なる巢蜜框を製し其中に巢蜜箱を上下二段に並列して繼箱に入るゝなり此巢蜜框は其形巢框の如く幅は巢蜜箱に準じ其一面には幅三寸位の薄き木板又は亞鉛板を巢蜜箱の中央に當る様二枚を打ち付くるか或は幅九分の板を二分位づゝを隔てゝ六枚を打ち付くべし此框も上棧若しくは下棧を取り去るを得る様製作するを良しとす

圖二十五第



巢蜜を採收せんには蜂群をして最も強盛ならしむると巢箱に巢脾を充實せしむるとは殊に必要なりとす分離蜜を採收するものにありては空巢脾を與へて直ちに之に貯蜜せしむるを得るものなるを以て巢脾の多少空虚を有する巢箱に繼箱を重ねて結果を得ることあるも巢蜜を採收するには必ずしも新巢脾を造營せしめざる可からざるを以て巢脾を充實せざる巢箱に繼箱を重ねるも容易に之に働かしむるを得ざるべし

巢蜜箱は蜂に與へて成る可く短時日に之に蜜を充實せしめて採收するを要す長時日を経るときは蜂の爬行の爲め巢脾を汚し巢蜜箱の外面も爲めに汚され又樹脂を塗らるゝことありて巢蜜の價値を損するものなり故に繼箱を重ねるは其時期を知るを肝要とす主要なる植物の開花して蜂の蜜を集むる最も盛んなる時に強盛なる蜂群に繼箱を重ねるときは必ず満足すべき好果を得べきなり巢箱を開きて其巢脾の上部を見るに蜜を充満する爲め白色なる蠟を添加して巢房の厚さを増せるは是れ巢蜜箱を與ふる好時期とすべし而して收蜜期の終りに至らば必ず之を取り去らざる可からず

繼箱を巢箱に重ねて其巢蜜箱の大半巢脾を充實し貯蜜に蓋せらるゝに及ばゞ之を取り去りて更に新繼箱を與ふべし或は其巢蜜箱の充實せるものゝみを取り去り充實せざるものを中央に入れて更に新巢蜜箱を附加するも可なり蜂は繼箱の中部にある巢蜜箱には早く蜜を充實するも其外側にあるものには甚だ晩きを以て若し繼箱内の巢蜜箱悉く完成せらるゝを待たば蜂は漸く怠慢して其間に貴き收蜜期の多くを空費せらるべく且つ巢蜜箱を汚さるべし其充實せざる巢蜜箱を

完成せしめんには之を集めて更に一織箱に入れ而して強盛なる蜂群に與ふるも良しく又其充實せざる巢蜜箱を以て蜂を誘導するに用ひ新織箱に一二框を入れて蜂に與ふるも可なり

巢蜜は箱中に充實して巢脾を四面に附着せしむるを要す然るに其巢脾を底板に接着せしめざるものあり此る場合には之を轉倒して蜂に與ふるときは能く箱中に充實せしむるを得べし

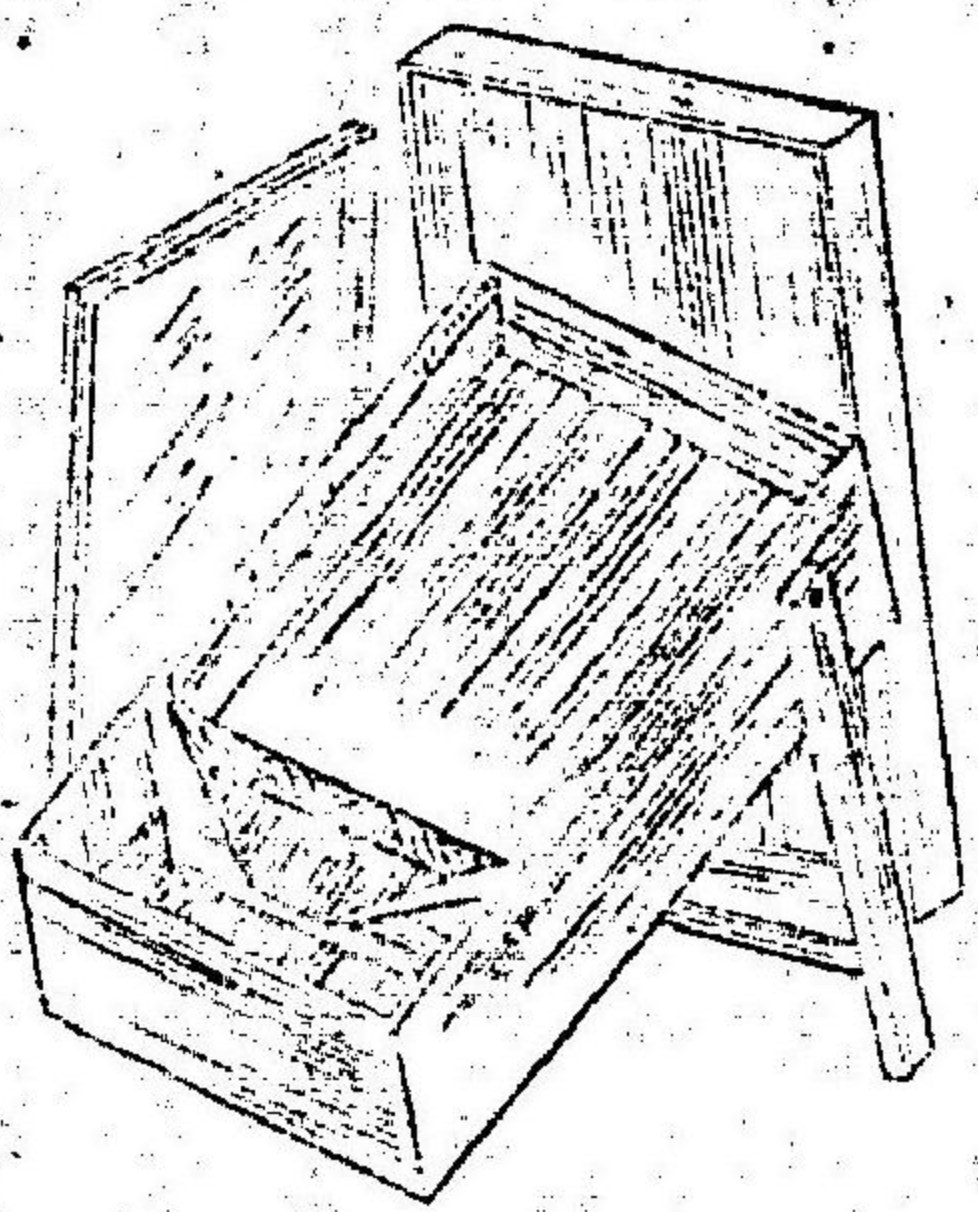
第三十三章 製蠟法

天然的に蜜蜂を飼養し巢脾を破り蜜を搾り取るときは蠟の産額多しと雖も改良飼養にありては成る可く巢脾を破らずして永く之を使用するを以て蜜の割合に蠟の産額多からず蠟の採取に供するものは四五年を経過せし育兒用の巢脾或は破れたる巢脾若しくは蜜を分離するに當り切り取りたる蜜蓋其他不完全なる廢棄すべき巢脾等にして其法は巢脾を壓し潰して麻袋に入れ別に釜に湯を沸し麻袋の支、之に投入し暫く煮て十分蠟の溶解するを待ち麻袋を堅く搾り出すべし

而して其湯を冷却せしむるときは蠟は水面に凝結するものなり水面に凝結したる蠟は之を取り出して見るときは裏面は汚物を以て満たさるゝに依り之を蠟搗若しくは小刀にて削り去り更に再び之を溶解せしめ凝結して其裏面の汚物を削り去るべし蠟の純良ならざる中は再三前の如くして其都度裏面の汚物を削り去るべし

右は従來の製蠟法にして甚だ不完全なるを免れず是れ手数を要すること多きのみならず蠟は袋又は用器に附着して製蠟の量を減じ且つ精良なる蠟を得る能はず宜しく第二十四圖に示せる製蠟器を用ふべし此器を使用するに就て注意すべきは先づ巢脾を水にて流ひたる上一晝夜水に浸し置き而して後用ふべし此くして製蠟するときは器中の殘滓中に蠟分を残すと少く能く流出せしむるを以て蠟の損失を少くするを得べし又製蠟器中の巢脾は直ちに溶解し其容量減するを以て數々其蓋を取りて更に巢脾を投入すべく一時に多量に製蠟するを得べし右製蠟に就て困難なるは不用の巢脾を貯藏し置き一時に製蠟するを以て氣候溫暖なる間は常にトヂ虫の被害を蒙り蠟分を損するのみならずトヂ虫の繁殖を助

くるものなり之を防がんには毎月一二回は硫黄を以て薫蒸せざる可からず陽熱製蠟器を用ふるときは不用の菓牌は得るに従ひ之を器中に投入して製蠟するを以て最も良しとす陽熱製蠟器は第五十三圖に示せる如き木製の箱にして其大さは適宜製作せらるべく其中に鉛製若しくは錫製若しくは錫鉛引鐵板を以て製したる受器を入れ之に細き金網を以て濾器を設け又其下方に溶蠟の流れ入るべき錫製の容器を置き全面に硝子蓋を備ふ之に脚を附して以て箱内全部に良く太陽の直射する様据へ付け何時にても菓牌を之に投入するときには太陽の温熱にて溶解し濾器に依りて残滓を止め蠟は流れて容器中に入り夜間の冷氣に遇ふて凝結するを以て毎朝之を取り出すべく而して其残滓は隨時之を取り去るべし尙之に更に木製の蓋を備へ置くを良しとす



圖三十五第

陽熱製蠟器は最も便利なりと雖も晩春より初秋に至るの間之を使用し得るのみ

其他の時期に於ては即ち蒸氣に依るの製蠟器を用ひざる可からざるを以て完備せる養蜂場にては共に之を用ふるを良しとす
前記の如く製したる蠟は之を精製合一する爲め再び適宜の器に入れ水を加へ文火にて溶解すべし尤も成る可く鐵器を避け又成る可く雨水を用ふるを良しとし之を沸煮すべからず單に蠟を溶解せしむれば足れり二重鍋の溶蠟器を用ふるときは最も良し而して其文火之を冷却するときには多少含有せる汚物は其裏面に附着するを以て之を蠟掻にて削り去り其削屑の多く蠟分を有するものは再び之を製蠟器に入るべし
製蠟を販賣に供する爲め半球形又は四角等に凝結せしめんには溶解せし蠟を適宜の型に注入す其型は一貫目入二貫目入等とすべし蠟を型に注入するには型を良く水にて濕すべし然らざれば蠟は之に附着して冷却の後離れ難きことあるべし又湯を沸かして型を入れ蠟を其中にて溶かし其文火凝結せしむるも可なり尙又蠟を陽熱製蠟器中に入れて溶かし下方に型を置きて溶蠟を之に受け入るも可なり

蟻を冷却するは自然に委すべし急に之を冷却せしむるときは其表面に龜裂を生ずるものなり故に若し氣候の冷氣なるときは之を溫暖なる室中にて冷却し凝結せしむべし

第三十四章 蜂群越冬法

冬期は養蜂家の關門とも稱すべき時期にして未熟の養蜂家は此時期を無事に通過する能はずして失敗するもの多ければ最も注意せざる可からず而して越冬に十分なる成效を爲せし蜂群は春季收蜜の第一期に於て多くの利益を得らるべきものなり

越冬の準備

蜂群をして越冬せしむるの準備を爲すは土地氣候に依り差異あるも通例十月下旬より十一月上旬とす此時に於て巢箱を開き巢框の上より之を見て蜂の群居せる所の直徑六寸以上ならざる可からず然らざるものは越冬の資格なき蜂群とすべし尤も其以下の小群と雖も越冬せしむるを得べきも手数を要すると多く經濟

上得策に非らず尙一步を過らは全群を失ふの不幸を見るべし

冬季寒冷なる時は蜂は巢内に盤居して互に相保持して暖を保ち以て安全に越冬するものなり其温度は巢外の如何に寒冷なるも巢内蜂群中は常に華氏六十度以上の温を保持するものなり然らざれば蜂は巢内にありて斃死す其温度を保持するは即ち彼が集合の力と蜜の力に依るものなり故に蜜の欠乏するときは彼等は遂に餓死するより寧ろ凍死すべし蜂の越冬する否とは外氣の寒冷と否とより蜜の多少に依るもの多し蜂の一群が冬期を越すに要する蜜量は土地氣候の狀況蜂群の大小境遇に依りて一定に論ず可からず越冬の準備を爲すに當り溫暖なる時之を開き見て蜂の群居せる面積に十分の貯蜜あらば可なりとす貯蜜は蓋せられたるを良しとし假令ひ蓋せざるも成熟したるものは可なり不熟なる稀薄なる蜜は其消費せらるゝと早しと知るべし若し貯蜜の十分ならざるものあらば直ちに之を餌養して其欠を補ふべし又貯蜜の十分にして越冬するも尙多くの餘りあるものは最も望ましけれ此等は決して空費せらるゝものに非らず早春より蜂王の産卵を促すものにして春期蜂群を強盛ならしむるに最も効あり

已に越冬に十分なる貯蜜を爲さしめば巢門を縮小すべし然れども決して之を閉づ可からず是れ蜂の蟄居の時と雖も多少の空気を要するものなればなり尤も風の直接に吹き入るは良しからざれば成る可く巢門を間接ならしむるを良しとす蓋の下には藁藪若しくは新聞紙敷葉を重ね被ふて温度を保持し易からしむ又蜂群の巢箱に満たざるものは蜂のあらざる空巢牌等は取り出し板若しくは新聞紙等を以て巢箱内を仕切り置くときは尤も良しとす

屋外の越冬

冬期蜂を屋外に置くは常に飼養しある所にて良しく之を移すに及ばざるも陰湿寒冷なる場所は甚だ良しからざれば温暖なる場所に移すも可なり蜂を移轉するには氣候の未だ寒冷ならず蜂の運動自由なる時に於てすべし冬期寒冷なるに及んで蜂を移轉するは不可なり氣候温暖なる時は移轉せられたる蜂は外出して舊位置に歸り喧騒するも終に新位置を求めて歸るものにて二三日の後は皆已に新位置を知るに至るべし然れども舊位置の近傍に他の蜂群あれば喧騒せる蜂は其巢箱に入りて争鬪を爲すとあれば注意すべし寒冷なる時蜂を移轉するときは舊

位置に來りたる蜂の彷徨物色する間に寒氣を感じ運動の自由を失ひ遂に凍死せしめ多數の蜂を損するとあり蜂を移轉するに一時之を幽閉して日光を省きたる室内に入れ置き二三日を経て新位置に置くときは早く舊位置を忘れしむべし最も安全なる移轉法は假りに之を十數町遠方に運び置き十數日を経て再び之を運び戻して新位置に置くにあり冬期巢箱を置くに最も適當なる場所は温度の變動少き所を撰むべし劇しく日光の直射する所は好ましからず是れ太陽の温氣に誘はれ蜂の動搖を始め却て蜜を消費すると多く又蜂の外出して寒氣の爲め凍死するものあり又寒冷なる場所は蜜の消費量多く且つ下痢病等を起して勿論良しからず屋外巢箱の巢門は殊に間接なるべし然らざれば適宜の方法を以て防風を爲すを良しとす蜂の貯蜜あるに關らず凍死するものあるは是れ直接風の吹き入ると非常なる寒氣の永く續きたるとに因ると多し而して降雪の巢門を塞ぐことあらば直に之を除去すべし又巢箱の外圍を藁藪等にて包み置くときは温度を保持して最も良しとす

屋内の越冬

養蜂舎内にて飼養しある蜂群は最も越冬に適せり前述の如く越冬の準備を爲せし上は別に注意を要すべきなし然れども其西北方に面する巣箱は其東南方に面する巣箱に比すれば寒氣を感ずること多く蜜の消費量多ければ之に應ずるの注意なかる可からず

寒冷なる地方積雪多き地方にては屋外飼養の蜂群を乾燥せる穴庫若しくは温暖なる倉庫内に移して越冬せしむるは蜜を節約し安全に越冬せしむるに於て有効なり其法は越冬の準備を爲せし後凍水の期節前に巣箱を庫内に運び入れ成る可く光線を省き成る可く静肅に爲し置き蜂をして沈静ならしむべし而して庫内の温度は華氏四十度より四十五度位を持續せしむるを良しとす五十度以上の温度に達するときは蜂は動搖するも外出する能はずして蜂に不利を興ふるとあり而して外氣の最も温暖にして蜂を外出せしむるも差支へなき時を以て巣箱を元の位置に運び蜂を飛遊せしめ日暮に及び蜂の悉く巣箱内に歸るを待ちて庫内に入るべし春氣動くに及び屋外の蜂群已に勞働を始むる時期に至らば之を出して元

の位置に据へ付くべし

凍死蜂の救助法

前述の如く十分の準備を爲して越冬せしむるときは冬期蜂を凍死せしむることなしと雖も意外の寒氣に遭遇するか或は不時の變に遇ふて失敗を來すことあり巣箱の外側を叩きて蜂の音を發するなきものは是れ凍死せしか或は凍死に瀕したるものなれば直ち之を救助すべし假令以凍死するも長時間を経ざるものは之を救助すること難からず其法は巣箱を室内に運び入れ巣箱を開き蜂を巢脾より落さる様靜かに巢框を開き十分蜂に蜜を吹き掛け之を元の如く蓋して巢門を閉ぢ室内の温度を華氏六十度内外ならしむ此くするときは數時間にして蜂は蘇生するものなり耳を巣箱に接して外側を軽く叩き蜂の發する音に依り蜂の活氣を生ずるを知らば更に之に食餌を興へ尙一晝夜位は室内に止め置き十分活氣を呈したる後之を元の位置に復し尙温暖なる日には餌養して春期まで耐へ得べき蜜量を貯へしむべし

此る蜂群は下痢病を起すを常とすれば注意すべく又其蜂王は春期産卵するに及

んで雄蜂卵のみを産するとあり此る蜂王は止むを得ず之を取り去り他群に合同すべし又蜂王の差支へなく働蜂卵を産むも此る境遇に際したるものは多少其健全を害せしものなれば分封期に至らば新蜂王と取り換ゆるを良しとす

第三十五章 巢脾整正法

蜜蜂は其巢脾を造營し始むるに於て常に平かなる面を欲せず好んで尖端に従ふものなり故に巢框の上椽の下面を三角に削り成すは蜂をして工事を始め易からしむると同時に又巢脾をして正しからしむる爲めなり然れども往々其尖端を外れて巢脾を曲ぐることあり時としては一枚の巢脾を數枚の框に通じて造り或は巢脾に分支を生ずることあり此く不正に造營せしむるときは巢框を自由に引出すと能はず遂に改良巢箱の便益を悉く失ふに至るものなれば十分注意して整正すべし

何時にても蜂の巢脾を造營するときには之を正しく造るや否やを檢すべし殊に分封したる新蜂群に於ては注意肝要なりとす若し不正なるものを造營すること

ふらば直ちに之を矯正すべし少しく曲りたるものは手を以て相當の位置に押し付くべく又三框を通じて一巢脾を管みしものあらば一框より切り離し其巢脾を相當の位置に直すべし而して多少巢脾に龜裂を生じ或は巢房の扁壓せられ其他多少の損所を生ずるも蜂は忽ち之を繕ふべし又分支を生せしものあらば其分支を切り去るべし右の如くするも尙十分其目的を達すること能はざるときは不正なる巢脾を矯正したる後之を正しき巢脾の中間に挟み置くべし蜂は已むを得ず正しき巢脾を造るものなり蜂は又柱を設け巢脾と巢脾とを接続することあり日本蜂には殊に多し而し其取扱に於て差支へを生ずること多からざれば意とするに足らず若し強て之を取り去らんとするは徒らに蜂を勞せしむるに止むるのみなり

巢礎を用ふるときは蜂は之に従ふて工事を作すを以て正しき巢脾を造ると雖も決して其注意を怠る可からず若し巢礎を巢框に裝附するに不十分なるときは巢礎の離れて爲めに大に不正なる巢脾を造ることあり

巢脾の間凸あるは蜜を分離するに依りて矯正し得べし故に織箱を使用して蜜を

採收するもの、育兒用に供すべき巢箱内の巢脾も一回蜜を分離して矯正したる巢脾を用ふるを良しとす

第三十六章 巢脾轉換法

巢脾轉換は蜂群を平均し弱群を強盛ならしむるものにして養蜂家の心得べき方法なり巢脾を轉換するは或は巢脾一二枚を轉換するとあり或は全巢脾を轉換するとあり

巢脾轉換の利益

全巢脾を轉換するは數個の分封終りを告げし時即ち第一分封より十七八日目に於て其元巢と第一分封との巢脾を轉換するものにして左の利益あり
働蜂は其卵より二十一日にして出房するものなれば第一分封に於て老蜂王は分封して出づるを以て分封の終りを告ぐる頃には老蜂王の元巢に産卵せしものは大抵生育出房し全巢脾殆んど空房と爲るべし而して新蜂王の是より交尾して産卵するまでには多くの日子を要し其卵の孵化して出房するまでには蜂群は大に

減少して遂に其巢脾はトチ虫の跋扈する所となるに至ることあり然るに第一分封は直ちに巢脾を造營すると同時に蜂王は之に産卵するを以て十五六日を経たる後は既に多くの蓋せられたる蜂蛆を有し巢脾も漸く大となり是れより新働蜂の出房するまでには別に巢脾を擴大する必要少く又蜂王産卵の餘地も少きものなれば此時に於て第一分封の巢脾を取りて之を元巢の蜂群に與へ元巢の巢脾を取りて之を第一分封の蜂群に與ふるときは老蜂王は殆んど空房のみなる巢脾を得て直ちに之に多くの産卵を爲し蜂兒を生育して忽ち強盛なる蜂群となり又元巢の蜂群は多くの蓋せられたる蜂蛆を有する巢脾を得新蜂王の交尾して産卵するまでには其蜂蛆の成長して出房するを以て蜂群を減少せしむるとなく共に強盛となるを得べし
又春季及び秋季に於て強盛なる蜂群より蜂蛆の蓋せられたるもの多き巢脾一二枚を取り之を弱群に與へ若し弱群に空巢脾あるときは之を強盛なる群に與ふるときは能く弱群をして忽ち強盛ならしむるを得べし此際注意すべきは弱群の蜂數少くして其與へたる蜂蛆多きに過ぎ悉く之を保護する能はざる場合には空し

く蜂蛆をして寒冷の爲め死せしむることあれば注意すべし

巢脾の轉換

巢脾一二枚を轉換するには巢脾を引き抜き其附着したる蜂を悉く追ひ掃ひ一蜂
だも殘留せしめずして之を他巢に入らば蜂蛆を有したる巢脾を弱群に與ふる
には其弱群の蜂蛆ある巢脾の中間に挿入すべし若し然らずして之を前部又は後
部に挿入するときは蜂は蜂蛆を保護する能はずして凍死せしむることあり假令
ひ之を保護するも蜂蛆を有する巢脾の同一所にあらざれば之に温度を與ふるに
困難なるべし又空房の巢脾を強群に與ふるにも蜂蛆を有する巢脾の中間に挿入
するを良しとす然るときは蜂王は直ち之に産卵し幼蜂は之に蜜を貯ふるもの
なり
全巢脾を轉換するには先づ甲箱より巢脾二三枚を引出し悉く蜂を掃ひ去り之を
乙箱に與へ乙箱より二三枚の巢脾を取り蜂を掃ひ去り之を甲箱に與ふべし此く
二三回に其全部を轉換し終るを良しとす而して其巢脾の順序は共に元の如く之
を入れるを良しとす若し之を錯雜するときは蜂の巢脾を保護するに不利を來す

ことあるべし

第三十七章 蜂群合同法

二個又は三個の蜂群を合一して以て強壯なる蜂群となすを合同法と云ふ抑も蜜
蜂は決して他巢の蜂の混入するを許さず若し他巢の蜂の入り來るとあるときは
之を捕へて噛み殺すものなれば蜂群を合同するは古來甚だ困難なる事とせり然
れども其方法良しきを得ば左程の困難を感せずして能く合同の目的を達するを
得べし左に其方法順序を述べべし

蜂群合同の必要

蜂群をして強盛ならしむるは養蜂家の最も意を用ふべき所なり弱小なる多數の
蜂群を有するも益々衰弱し或は絶滅して毫も利する所なかるべし故に之を合同
して強大なる蜂群と爲すときは其動作忽ち活潑となり能く労働貯蜜するものな
り蜂群の分封多きに過ぎ弱小なる蜂群を成すに至るか或は元巢の衰弱したるも
の等は之を合同して以て互に衰弱するなからしむべく又は秋期に於て若し冬期

を經過せしむるに困難なる弱群あるときは之を他群に合同すべく又早春衰弱したる蜂群あるときは之を合同して以て其強大を計るべし又蜂土の亡失したる蜂群は或は更に蜂王を生出して永續するとあるも其時期良しからず其まゝ放任するときは全群絶滅に歸するものなれば速に之を他群に合同するを以て得策なりとす

合同法

蜂は其臭氣に依りて他巢の蜂を辨識するものなれば蜂を合同するには先づ蜂をして其臭氣を知るの能力を失はしむるか或は蜂の知らざるに其臭氣を同一ならしむるにあり合同法には種々あり其時期と蜂の境遇とに依りて困難なる否とあるものなれば其時に應じて簡易にして且つ蜂を苦しめざる方法を撰びべきなり

合同すべき蜂群は其中一群は必ず無王なるか或は蜂王を取り去らざる可からず而して其蜂群をして成る可く合同し易き境遇ならしめんには蜂王を取り去りし後二日以上を經過するを良しとす少くとも二三時間を經過して蜂群の已に無王

なるを知りし後に於てすべし若し蜂王を除き去り未だ群蜂の之を知らざるに直ちに合同するときは兩群相互の勇氣盛んなるを以て忽ち争闘を始むるものなれども既に時間を經過して一群の蜂其無王なるを知らば勇氣頓に衰へ憂苦の餘り喜んで他群に竊に入らんとするものなれば能く合同の目的を達することを得べし

最も簡易なる合同法は日暮蜂の労働を止め未だ蜂の飛行に差支へなき時に於て先づ無王なる甲巢箱を他に移し其位置に合同すべき乙巢箱を置き數分時間乙箱の外側を叩きて蜂を動揺せしめ而して甲箱を開きて蜂を攪亂し飛翔せしむ然るときは舊位置なる乙箱に入りて合同すべし然る後甲箱に残留せる蜂は乙箱の巢門に挿ひ落し巢脾も亦乙箱に入るべし此方法は最も合同し易き時期に於てするものにして即ち分封後の蜂群等に行ふべし

又日の全く暮るゝを待ちて無王なる甲箱の蓋を取り巢脾を出して蜂を挿ひ落し之を合同すべき乙箱に移し而して甲箱には蜂のみを残し其上に乙箱を載せて十數分間甲箱の外側を叩き積るときは甲箱内の蜂は漸次上昇して乙箱内に入る

べし蜂の大抵上進したるときは乙箱を元の位置に復し甲箱内に殘留せる蜂は乙箱内に掃ひ落すべし此法は春秋蜂の多く労働する時又は夏期等に於て行ふを得べし

右合同法を行はんには其間より注意して蜂の舉動を察すべし若し其間蓋蜂又は黄蜂等の來襲ありて蜂は其巢門に出で、敵の防禦に注意しつゝ、ありしが如き時に於てするときには忽ち蜂の覺る所となりて争鬪を始め大は困難を來すべし故に蜂の平安無事の時にて於てするを必要とす

前記の外に薰煙合同法あり蜂を薰煙するときには昏醉して總ての能力を忘失するものなれば合同せんとする二個の蜂群を其巢門より薰煙器を以て強く薰煙し其蓋を開き一群の巢門を蜂と共に他群の巢箱に移して之に蓋すべし尤も兩群の巢門を交互に入るゝときは甚だ良し其際蜂の相争鬪するが如き模様ならば是れ薰煙の起らざるものなれば蓋したる後更に少しく薰煙すべし此くするときには蜂は悉なく合同するものなり冬期及び早春晩秋は蜂の最も合同し難き時期なれば此法に依るを良しとす

合同板

又合同板を以て蜂を合同せしむるを得べし合同板とは其形巢框と同じく其大さは巢箱内を分隔するを得べく其全面に金網を張りたるものにして第五十四圖の如し其法は巢箱の中央に巢門に面して合同板を入れ合同せんとする二個の蜂

第五十四圖



群を巢框のまゝ合同板を隔て、共に其中に入れ相來往する能はざらしめ蓋を爲す即ち一群は巢門より出入するを得るも一群は外出すると能はず二日位を経て後合同板を取り去るべし然るときは同一巢箱内にありて既に其臭氣の混同するを以て争鬪するとなし能く合同するものなり合同板を取去るも蓋支へなきや否やを知るには外出し得べき蜂群の蓋を開きて合同板を見るべし其金網に蜂の噛み付き居るものあるは未だ之を去る能はざるものなり合同板を隔て、蜂群を入るゝに當り一蜂も相混入することなき様注意し已に一群を入るれば假りに之に蓋を爲し而して後他群を移すべし若し又蜂群の大にして一巢箱内に入るゝと能はざるものは強

て之を入れる可からず此るものは一巣箱の蓋を開きて其框上に金網を置き其上に他の巣箱を載せ置かば可なり

第三十八章 蜜蜂の飼養

蜜蜂は自ら食餌を採取し之を貯蔵するものなりと雖も人為を以て之を飼養する必要あり飼養の法其良しきを得れば蜂群をして強盛ならしめ蜜を多收するを得べく養蜂術中最も研究すべきものゝ一たり初秋の候に於て蜂群の逃去するもの多きと冬季凍死するものあるは是れ從來日本蜂を飼養するものゝ最も憂ふる所なり此二大憂は飼養の方法良しきを得れば以て豫防し得べきもの多し
蜜蜂を飼養する目的には二あり一は獎勵的飼養にして一は救助的飼養なり獎勵的飼養とは蜂を獎勵して能く勞働せしむる爲め食餌を與ふるものにして救助的飼養とは貯蜜の欠乏せしか或は欠乏せんとする見込みある時食餌を與へて其不足を補ふものなり

飼養の時期及注意

野に花あるも蜂は怠慢して勞働せざる場合には何時にても獎勵すべく食餌の不足して將に餓死せんとするときは何時にても救助すべしと雖も普通飼養の必要なるべき時期を左に記すべし
早春蜂の出遊を試むる時は飼養すべきの時期なり然れども氣候尙甚だ寒冷なる時に於ては飼養を延期すべし寒冷なる時に飼養すれば或は下痢病を起さしむることあり早春蜂を飼養すれば蜂は食物を得るに従ひ大に蜂王の産卵を勵し多くの蜂兒を生育するを以て野に花多き時に至れば既に多くの新蜂の生出せられ盛んに採蜜し益々育兒を勉むるを以て忽ち蜂群を盛んならしめ春期に於て多量の蜜を採取するを得べし故に貯蜜の有無に關せず早春飼養するは養蜂家に利益を與ふるものと知るべし早春飼養を始めば蜂の天然の花蜜を十分採取し得るまで絶へず飼養すべし一時に多量を給するに及ばず日々少量を給するを良しとす蜂は飼養を受くるに従ひ多くの蜂兒を育つる爲めに多くの蜜を消費するものにて若し飼養を中止せば食物の不足を告げ却て損害を招くことあり然れども氣候甚だしく寒冷なる時ならば一時飼養を中止し温暖なるを待ちて飼養を續くべし而

して花蜜を十分採取するに至らば餌養を廢すべし此時に及んで尙餌養を續くは却て益なきものなり

蜂は貯蜜欠乏するときは却て倦怠して野に花あるも蜜の採取を勉めざることあり殊に秋季花期の初め若しくは蜜を分離採收せし後に於て然り此時は春期と秋期とを問はず餌養して之を奨励すべし一時に稍多量と與へ永く餌養するに及ばず蜂をして勞働に従事せしむれば足れり

七八月の頃は野に花の欠乏する時期にして且つ炎暑甚だしく蜂の勞働に適せざれば巢脾内に貯蜜少きものならば適宜餌養すべし然るときは初秋蜂の逃去を少なからしめ秋期に於て多量の蜜を採收するを得べし

越冬の準備を爲すに當り若し蜜の少きものならば餌養すべきは前已に述べたり此餌養に就て注意すべきは蜂の取り得る限り多量を給するにあり然るときは貯蜜なき蜂群と雖も一週間位にして已に冬期間の食料を貯へ得べく而して後徐々に數日間餌養するときは其蜜を盡するに至るべし若し初めより徐々に餌養するときは蜂は育兒を勉むるを以て却て蜜の多量を消費するものなり

食餌の調製

蜜蜂に與ふる食餌は純良なる蜂蜜を稍稀薄したるものを以て最良とす其蜂蜜の凝結したるものは之に少許の水を加へ文火に掛けて能く溶解せしめ放冷して後用ふべし黒色汚穢にして且つ酸敗したる如き蜂蜜は却て砂糖にて調製したる食餌より劣れるのみならず蜂に害あるものなり

良好なる砂糖を以て食餌を調製するは最も實用に適せり氷砂糖一斤に熱湯四合を加へ文火に掛けて能く之を攪拌すべし若し之を沸騰せしむるときは一種の臭氣を生じて不可なり而して全く溶解するに及び之に酒石酸若しくは食鹽の少量を混じ能く攪拌し放冷したる後之を用ふべし又精製白糖一斤に熱湯三合を注加し能く攪拌して溶解せしめ之に一合の蜂蜜を加へたるものを用ふるも可なり

右は春夏に用ふる量を示したるものなり晩秋等に蜂に與ふる食餌は水分を更に減少して濃厚ならしむべし是れ巢内に於て水分蒸發の力減少するを以てなり此際若し稀薄なる食餌を與るときは巢箱内の濕氣を多からしめ蜂に害を與ふると大なり又冬期寒冷の際餌養する必要あらば必ず純良なる蜂蜜を用ふべし砂糖

等にて製したる稀薄なる蜜を與ふるときは蜂は下痢病を起すものなり
冬期間食物の不足を補ふ爲め結晶糖を製して蜂に與ふることあり其製法は精製
白糖一斤半に熱湯一合を注加し文火に掛けて能く之を攪拌しつゝ沸騰せざらし
め徐々に水分を蒸發して濃厚となりたるとき火を去り之を冷却するときは適當
なる固形食物となるべし然れども貯蜜なき場合に結晶糖のみを與ふるときは蜂
の衛生に害あるものなれば補食として用ふべし
花粉は蜂の育兒に必要なものなり早春蜂の盛んに育兒する際急に氣候寒冷を
來し數日花粉を採取する能はざるるとき其他花粉の不足を來すことあらば乾きた
る燕麥粉又は小麥粉を皿に入れ巢箱内に置き之に蜜を振り掛け蜂を誘導して採
取せしむべし尤も此る必要ある場合の如きは甚だ稀なり

給與の方法

蜂群一個にして他に蜜を横奪する蜂群なきときは何れの方法を以て蜂に食餌を
與ふるも可なりと雖も蜂群多數なるときは巢門の近傍等に蜜を置くときは他巢
の蜂來りて蜜を横奪し遂に争鬪を爲すものなれば食餌を給するには巢箱内巢脾

の後方に入れ置くか又は空糞箱を載せて巢框上に入れ置くか或は餌養箱を用ひ
巢門に接し置きて與ふべし

餌養箱は氣候寒冷の節蜂に食餌を與ふるに巢箱を開かざるを以て蜂をして寒冷
に感せしむることなく又盜蜂の侵入することなきを以て甚だ良しと雖も獎勵的
餌養等にて蜂を外出せしむる場合には適宜の器を用ひて可なり尤も蜂の食餌中
に溺れて死する恐れなきを要すコップに食餌を入れ淺き皿又は平かなる木板を
以て之に蓋し急に倒爰にし而して細き楊枝等を皿又は木板とコップとの間に挿
入し置くときは空氣の壓力に依りて食餌は流出せず蜂の吸ふに従ふて流れ出づ
るものにて蜂の溺るゝ恐れなく尤も實用に適せり又適宜の器に入れ多くの錐孔
を穿ちたる厚紙を其器の大小に應じて切り之を其上に浮べ置くときは蜂は紙上
に來りて食餌の盡くるまで安全に吸ふを得べし

蜂を餌養するは主に野に蜜の原料欠乏せる時期にして此時期は盜蜂を生じ易き
ときなり餌養と盜蜂とは常に正比例を爲すものにて蜂に食餌を與ふるときは蜂
は尙多くの蜜を得んと欲して出遊物色し巢門の出入頻繁なるは他の蜂を誘集し

来り共に盗蜂となるものなり是れ養蜂家の最も困難とする所なり此憂ひをして
 少なからしめんに日暮蜂の出遊を休止せし時に於て巢箱内若しくは巢框の上
 に食餌を入れて與ふべし然るときは蜂は夜間之を吸収して巢脾内に運び終るの
 り假令夜間之を吸収せざるも日暮又は早朝他の巢箱の蜂出遊少き時に於て吸
 收するを以て大に盗蜂の憂ひを少くするを得べし若し又翌朝尙多量の食餌を殘
 すべき場合には一時巢門を閉ち給與せし食餌の盡きたる頃に於て巢門を開くべ
 し巢箱内に食餌を吸収しつゝある蜂は巢門を出入すると頻繁なるを以て直ちに
 其殘否を知るを得べし

第三十九章 蜂群の逃去

蜜蜂は時に或は全群逃去することあり殊に日本蜂は逃去の念を生ずる多し是れ
 從來飼養者の深く恐るゝ所なりと雖も管理其當を得れば獵りに逃去するものに
 非らず蜜蜂の逃去する時期は分封せし新蜂群を巢箱に移したる當時と初秋の頃
 とを多しとし其他の時期に於ては少し蜂の逃去するは決して偶然に起るものに

非らず故に人為を以て蜂を擾亂することあるも蜂は直ちに逃去せず其逃去の原
 因は必ず數日前にあるか或は巢箱が蜂の意に適せざるものありて全群の蜂皆已
 に其逃去を知り其用意を爲したる後に起るものとす

逃去の原因

蜂群逃去の原因には種々あり新に分封を移したる蜂群の逃去するは畢竟其巢箱
 の蜂の意に適せざるか又は蜂の不満の念を抱きたるに因るものなり分封取扱法
 の章に記せし要件に注意せば其原因を知り之を豫防するに難からず又分封を入
 る、巢箱に蜜若しくは酒類等を吹き掛け又は蠟を塗るものあり是れ却て逃去を
 促すものなり然れども古巢箱の未だ臭氣の脱せざるものにありては少許の酒氣
 を附するも可なり又分封を巢箱に入れ巢門を塞ぎ一二日の後之を開くものあり
 是れ又却て蜂に不安の念を起さしめて不可なり
 貯蜜の欠乏とトチ虫の發生とは蜂の逃去を促す二大原因にして巢脾に蜂蛆蜂卵
 なきは蜂をして巢を棄つるに心易からしむ蜂は春期多量の貯蜜を爲すと雖も夏
 期に及んで漸く貯蜜を消費し來り蜂王は産卵を減少し或は休止し初秋の頃に於

て蜜の欠乏を告げ且つ此際はトチ虫の第二解化期に相當するを以て蜂の逃去を企つるもの甚だ多しとす他の時期に於ても蜜蜂の生活上右の如き不利益あるときは能く逃去を企つるものなり

其他種々の害敵に襲はれ又は盜蜂の侵入を蒙る等凡て逃去の原因となるものなり又巢脾の餘り古くして蜂群に適せざる様になりたるときも蜂の逃去するとおれば四五年を経たる育兒用の古巢脾は之を取り去り蜂をして新巢脾を造營せしむるを可とす

逃去の徴候

逃去の徴候は之を見分る甚だ難し熟練なる養蜂家にあらざれば之を知る能はざるなり秋季に及んで巢箱軽く貯蜜少く他巢の蜂は勞働する多きに引換へ出遊するもの至て少きは遠からず逃去するものなれば注意すべし又分封を巢箱に入れて一二日の後蜂の出遊するもの少く花粉等を運び來るもの稀なるは或は逃去を企つるものなり蜂の逃去するときは前日より巢門を出入する蜂少く其當日にありては外出するもの甚だ稀なるものなり逃去を企つるは午前九時頃より午後四

時頃までの間に於てするを常とす

逃去を防ぐ法

蜜蜂の管理其常を得るときは逃去を防ぐ爲め姑息の方法を用ふるを要せずと雖も左に之を記せん

蜂王は一度交尾の後には外出せざるを以て其翅を斷つも生活上毫も差支へなきものなれば蜂王の片翅の半を斷ち置くときは働蜂は逃去する爲め悉く巢外に出で飛揚するも蜂王は巢門を出づるも飛ぶと能はずして地上に落ちるを以て働蜂は止むを得ず巢箱に歸るものなり地上の蜂王は之を捕へて群蜂の大半歸りたる時巢門に置くときは直ちに巢内に入り蜂は靜穩となるべし若し外出したる蜂王を見失ふときは蜂王は爬行して何れへか去り遂に無王の蜂群とならしむるとおれば注意すべし又其蜂群の分封に際しても地上に落ちるを捕へて分封の蜂群に與ふるか其他適宜の方法を爲すに非らざれば其王を失ふものと知るべし

又隔玉板の小なるものを巢門に當て置くときは働蜂は逃去せんとして外出飛揚するも蜂王は出づること能はざるを以て働蜂は止むを得ず巢箱に歸るものなり

然れども常に隔王板を巢門に當て置くときは蜂の労働を妨げ爲めに花粉等を掻き落さるゝものなり

蜂王の翅を斷ち隔王板を用ふる等は之に伴ふて不便と不利益を生ずるものなれば決して奨励すべき方法に非らず蜂群を強盛ならしめ蜜の欠乏を感せざらしめトデ虫の繁殖を防止する等は蜂群の逃去を豫防する第一の良法なり又分封せし新蜂群の蜂王交尾前のものは決して其翅を斷ち或は隔王板を用ふる可からず蜂王の交尾は巢外空中に於てするを以て外遊する必要あればなり交尾前の蜂王を有する蜂群の逃去するは蜂王交尾を遂げし後にするもの多ければ其以前に貯蜜及び蜂蛆を有する巢脾一二枚を他の強盛なる蜂群より割讓して與ふるは逃去の念を斷つに於て効あるものなり

蜂が逃去せんとて蜂群の過半外出したる後に於て蜂王外出するものなれば多くの蜂は空中を飛翔し巢門を出づる蜂は先を争ふて突出するを見るときは直ちに小板を以て巢門を塞ぎ而して漸く一蜂の出で能ふ丈けの口を開くか又は隔王板を以て巢門を蓋すべし未だ蜂王の出でざる前に此くするときには働蜂は遂に復歸

して逃去を止むるものなり蜂の逃去を企つるは必ず其巢箱内に不満足なる事情あるものなれば逃去を防遏したるときは其原因を探りて適當の所置を行はざれば再び逃去を企つるもの多し

若し蜂群をして悉く巢箱より逃出せしめば大抵一度其近傍に蝨圍するを以て分封を取扱ふ方法に依りて之を捕ふべし而して新巢箱に入るゝも可なり蜂の逃去を企つるは蜂の新巢を造營し生活上差支へなき見込みある時に於てし且つ逃去前の怠惰に引換へ非常に勞働するものなれば直ちに巢脾を造營し貯蜜を爲すものなり若し又之を舊巢箱に入れんには必ずしも逃去の原因となるべき總ての事情を除去せし後に非らざれば不可なり

第四十章 無王の蜂群

蜂王は時に或は亡失するとあり最も多く蜂王の亡失するは分封後の新蜂王にして交尾の爲め外出するを以て計らず災害に遇ふものなり又老て死亡するとあり其他種々の原因に依り亡失し遂に無王の蜂群となるものなり分封の當時に於て

善良なる蜂王を撰み凡つ老蜂王は新蜂王と交換するを勉むるときは不時の亡失を少くするを得べし

蜂王亡失當時の状況

蜂王の亡失して數十分乃至數時間の後全群其亡失を知るときは蜂は巢外に突出し或は巢内に走入し或は飛び降り飛び降り亡失したる蜂王を搜索し其状恰も狂するが如く甚だしく喧騒す若し蜂王の死骸あるを見出せば數個の働蜂は其骸に集りて或は撫するが如く或は呼び起すが如き状を爲す他巢の蜂は已に晝間の作業を終りたる後に至るも尙ほ喧騒止まず往々夜間晩きに至るものあり尤も夜間は飛び立つと能はざるを以て巢門の邊を彷徨し廻るのみなり此く喧騒を爲すは蜂巢の境遇と時期とに依りて長短多少あり或は數時間にして止むとあり或は終日若しくは二三日間續くることあり蜂の新蜂王を生出すに適する境遇を見出すときは喧騒少くして止むも然らざるときは多し冬期蜂王亡失の時は寒氣甚だしければ喧騒を續くる能はざるも日中温暖なる時に於て暫くの間喧騒し數日に及ぶとあり而して外出の蜂は寒氣の爲めに飛行する能はざるに至り終に凍死し

て多くの蜂を失ふことあり

故なくして蜂の人家に飛び入り其隅々を搜索するものあるとき人の衣袖の中に入り來るものあるとき若しくは夜間燈火を縛ねて數個の蜂來るものあるとき等は注意して各巢箱を見廻り蜂王を亡失したる蜂群あらば相當の所置を爲すべしなり

蜂王亡失後の状況

蜂王の亡失して蜂の喧騒を止むるは即ち蜂王亡失の不幸を断念せしものにして再び靜穩に歸し労働を始むるものなれば一見知る能はざるが如きも注意して觀察するときは之を知るに難からず殊に種蜂を購入せんとするものは最も意を用ひざる可からず

無王蜂群は他の蜂群の如く其運動活潑ならず其巢門を出入するもの甚だ少く巢箱の外側を叩きて蜂の發する響を聞くに有王蜂群を如く鋭くして且つ長からず而して其蜂の性質甚だ怒り易くなるものなり又外に出遊する蜂の色澤を以て之を知るを得べし蜂は老ゆるに従ひ益々黒色を増し更に發苦するときは黒色を帶

ぶる甚だ速かなり蜂王亡失するときは働蜂は憂苦狂奔し且つ巢内産卵するものなきを以て十數日の後は新蜂の出房するものなく全群黒色を帯ぶるものなり巢門を出入する蜂の黄灰色なる幼蜂なく老蜂のみなるは是れ無王蜂群とすべし又夏季に於て他の蜂群は皆既に雄蜂を巢外に驅逐し或は之を噛み殺すと雖も無王の蜂群は決して雄蜂を虐待せざるものなれば其時期に非らずして雄蜂の存在するは是れ無王蜂群として怪しむべきものなり

無王の蜂群は花粉を採取せずと説くものありと雖も無王の蜂も亦花粉を運ぶものなり是れ働蜂の産卵せし場合に其蜂兒を育つるに花粉の必要あるを以てなり然し完全なる蜂群より花粉の採取少しと知るべし尤も必要なときは完全なる蜂群と雖も花粉を採取する少きものなれば花粉の採取と否とを以て蜂王の在否を察するは覺束なしとす

蜂王亡失して働蜂の産卵を始むるは是れ働蜂の絶望の極にして數日乃至數十日の後にありとす働蜂の更に新蜂王を生ずるを得る見込ある中は産卵せず然し無王の日數甚だ永きに互るときは王臺を造營しつゝ産卵するものなり故に巢内を

檢し一房内に三四個若しくは其以上の産卵あるを見るは是れ正に蜂王亡失して既に多くの日數を経しものなり尙更に多くの日數を経るときは其卵は孵化して成長し雄蜂房の養せられ巢脾は益々不潔に陥り一種の臭氣を生ずべし而して漸く雄蜂の出房するに至り働蜂は益々減少して終に全く絶滅するものなり又冬期蜂王亡失したるものは働蜂産卵せずと雖も春氣動くと同時に直ちに其産卵を見ちものなり

無王の蜂群は新たに巢脾を造營するを勉めず又之を造營するも不正なる雄蜂房を造るものなり

無王蜂群の所置

蜂王の亡失したるとき其巢内に雌卵あるか又は其孵化して時日を経ざる幼蛆あるときは働蜂は之に王臺を建設して以て新蜂王を生かせんと企つるは前已に述べし所にして働蜂の此苦心も分封時期の前後にありては其効を奏し活潑なる蜂王を生じ雄蜂と交尾を全ふし完全なる蜂王となりて其巢の永續するとあり若し分封後の新蜂王亡失せし等にて働蜂卵を有せざる場合には人為を以て他より働

蜂卵を有する巢脾に入るゝも働蜂は喜んで之に王臺を造るものなり若し其時期
 良しからざるときは蜂王の生出ぬるも之に交尾すべき雄蜂なく假令ハ又之れぬ
 るも其用を爲さずして遂に再び蜂王の亡失を見るときは此の場合に於て更に人
 爲を以て之に働蜂卵若しくは其孵化して時日を経ざる幼蛆を以てするときハ働
 蜂は再び王臺を造ると雖も已に働蜂の勢氣衰ふるを以て十分なる養育を爲す能
 はず從て其生出する蜂王弱小にして其色澤は正に蜂王なるも其軀の大さは働蜂
 と異ならざるが如き小蜂王を生ずるに至ることありて遂に完全成孕せる蜂王を
 生ずる能はざるなり

無王の蜂群を一日存するは一日の不利なれば成る可く早く蜂王を興ふるを計る
 べし豫備王として保存したるもの若しくは成熟したる王臺を興ふるときは甚だ
 良し止むを得ざる場合には前述の如く働蜂卵をして蜂王に化成せしむるの策を
 取るも可なりとするも必ずしも其時期と蜂の境遇とを考察せざる可からず然ら
 ざれば早く之を他群に合同すべし徒らに姑息の手段を爲し其群の永續を計らん
 として失敗し遂に空しく之を絶滅するが如きあらば養蜂家の不利甚だ大なり抑

も蜂群は其強大なるに従て益々活潑に勞働するものなれば永續の見込なきもの
 は直ちに之を他群に合同すれば其群は忽ち強大となり利益を得ると多きを以て
 假令ハ一群を減少するも爲めに損失する所は左程多からざるべし又無王にて長
 時日を経過し働蜂の産卵を爲すに至り巢脾は雄蜂蛆を以て満たされたるものは
 蜂王を入るゝも巢房の用に供すべきものなく且つ働蜂の産卵長く停止せず働蜂
 は已に悉く老ハ到底完全なる蜂群を成し難きものなり此く悲境に陥らしめしは
 是れ養蜂家の不注意より來りしものにして此くの如くなりしものは早く他群に
 合同するを得策とす

第四十一章 蜂王の養成

養蜂の秘訣は蜂群を強盛ならしむるにあり蜂群を強盛ならしむるには善良なる
 蜂王を得ざる可からず同一なる境遇を有する蜂群と雖も蜂王の良否に依りて一
 期間に驚くべき差異を生ずるものにして一は益々繁榮し收蜜多量を得るも一は
 收蜜少く或は益も利益を得ざるものあるべし養蜂家たるもの常に各蜂群をして

善良なる蜂王を有せしめ又之を保有して以て不時の必要に應ずるを勉めざる可からず

善良なる蜂王を生ずる境遇

善良なる蜂王を生ずるには左の要件を備ふべし

- 一、時期の良しきを要す自然分封の起る時即ち四五月頃は蜂王養成に良好なる時期なり然らざれば種々不良なる境遇あり
- 一、幼蜂の多くを有せざる可からず蜂王發育に必要な食餌は幼蜂に依りて生ぜらるゝもの多く老蜂のみなる蜂群にては到底十分なる食餌を王兒に給する能はざれば從て良好なる發育を爲さず
- 一、蜂群は強盛なるべし蜂兒の發育には温度を要す殊に蜂王に於ては然り王臺は巢脾の下部にあるを常とすれば之に十分なる温度を與ふるには蜂群の最も多きを要するなり
- 一、二年生の蜂王を有するを良しとす老蜂王の産せし卵は其發育十分ならざるもの多し本年生出せし新蜂王翌春には最も良き母王とすべし

一、善良なる場所に造營せられたる王臺なるを良しとす側面の巢脾に造營せられたる王臺は働蜂の之を訪問し之に温度を與ふるに不足なることあり又場所に依りて十分王臺を擴大するの餘地なく或は彎曲し或は偏屈ならしめ王兒の發育に沮害を與ふることあり

右要件を備ふるときは其自然に生出するものと人為を以て生出せしめしものとを問はず善良なる蜂王を生ずべし一蜂群にして多數の蜂王を生出せしものは比較上善良なる蜂王少しと説くものあるも實際は決して然らず甚だ多數を生出せしもの、何れも十分發育せる蜂王を生ずることあり又後出の蜂王は前出のものより善良なる蜂王割合に少しと説くものあるも蜂群の境遇良しきに於ては決して然らざるものなり

蜂王を得る法

蜂の分封に際しては一期に四五個乃至七八個の王臺を造るものなるは前にも述べし所にして種類に依りては更に甚だ多くの王臺を造るものなりサイプリアンの如きは三四十の王臺を造るを常とす此等の王臺より生出する蜂王悉く分封し

て出づるものに非らず且つ分封を防禦制限するときには甚だ多くの不用なる王臺を残すものなれば此等を他の蜂王の破壊するに委せず之を切り取りて善良なるものを撰み以て蜂王を養成し置くは最も安全なる方法なり

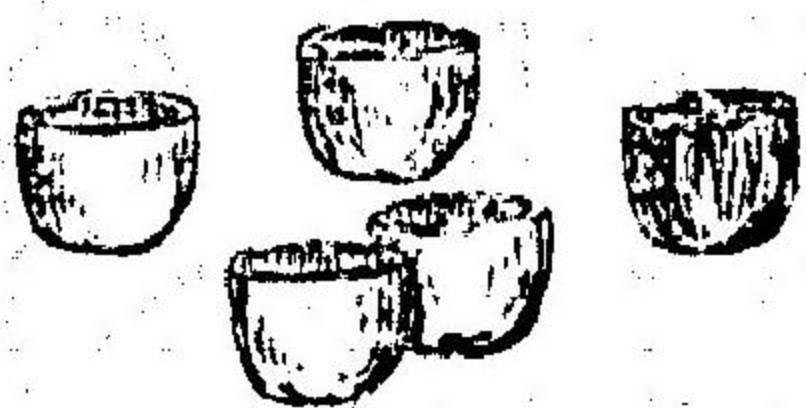
善良なる境遇を有する蜂群より蜂王を奪ひ去るときは働蜂は働蜂房にある雌卵を以て王臺を建設し蜂王に化成せしむるを得るは前章にも記述せし所此る方法を以て多数の蜂王を養成し得べし若し巢脾の下端が王臺を造るべき場所に適當ならず又蜂卵蜂蛆の其所にふらざるときは適宜巢脾を切りて以て王臺を造營するに適すべき場所を與ふべし

蜂王を取り去り蜂をして自然に委して王臺を造營せしむるときは之に伴ふて不便を生ずることあり王臺は成熟の後之を切り取り以て各一個づつを蜂群に與ふるものなるに往々一所に集合せる數個の王臺を造り他を損せざれば一個を切り取る能はざるものあり蜂卵幼蛆を有する巢脾を細長く切り取り而して蜂王に化成せしめんとする卵蛆を一房づつを隔てて存し餘は抜き取り其巢脾の下方に面する様巢脾の下部に留針を以て附着し置くときは便宜に配置せられたる多くの

王臺を造らしむるを得べきなり尙又其巢房を適宜の深さに切り込むときは王臺の擴大に便宜を與ふべし

又人工王臺なるものを用ふるを得べし凡ての條件良好なるに於ては甚だ便益を得らるべきなり人工王臺とは第五十九圖の如く小さく椀形のものにして直徑三分

第五十五圖



位木質緻密にして白色臭氣なき木を以て造り薄く蠟を塗りたるものなり先づ自然に造營せられたる王臺内の幼蛆孵化して三四日を経たるものより其食餌を取り集め少許づつを人工王臺内に入れ働蜂房の中より幼蛆の孵化したる當時のものを取りて之に移し而して蜂王を育成せしむべき蜂群の巢脾框を取り巢脾の中部を横に切り之に薄板の横板を附し人工王臺の外底に溶蠟少許

を附し右縁の下方に適宜の配置を以て多数固着せしめ之を蜂群の中央に入れ置くときは蜂は之に加工して以て王臺を完成し蜂王を育成するものなり又適宜の棒の尖端を圓くして蜜蠟の柔軟ならしめたるを押し回め以て人工王臺を造るも可なり

王臺は成熟するを待ちて各別々に蜂王を出房せしめ且つ交尾を遂げしめざる可からず先づ強盛なる蜂群より二三枚の貯蜜及び蜂卵蜂兒を有する巢脾を取り出し蜂の附着せるを之を他の箱に移し以て小蜂群を作り而して金網を以て巢門を張り三日間位は成る可く光線を省きたる室内に入れ置き夕刻之を出して各一個の成熟したる王臺を入れ巢門を開き蜂を外出せしむべし尙適宜の板を巢門に立て掛け置くときは蜂をして新位置を記憶せしむるに効あり而して成る可く巢箱を狭小にし温度を保ち易かひしめ又巢門を縮小し置くを良しとす此くして蜂王は出房し適宜の日數を経過せば雄蜂と交尾し完全なる蜂王となるべく續て産卵するものなれば直ちに之を用ふるも又豫備蜂王として保有するも可なり凡て此る手術を行ふには人工分封に於ける通則に注意するを要す

働蜂房内蜂蛆の孵化後第三日に達する迄は善良なる蜂王を生せしむるを得べしと説くもの多し是れ蜂蛆の孵化して第三日迄は蜂王も働蜂も其食餌の同一なるを信するを以てなり然れども詳細に視るときは其食餌の質は同一なるも多少の濃淡あり又之に與ふる量に差異あり従て其蜂兒の發育同一ならざるものあり故

に働蜂房にて日を経し蜂蛆より化生せし蜂王は發育十分ならずして夭死するもの多し左れば善良なる蜂王を生出せしめんには必ずしも其卵の孵化して日を経ざるものたらざる可からず殊に日本蜂は性急なるを以て蜂王を取り去るときは成る可く早く蜂王を得んどの愈甚だしく日數を経し蜂蛆をして蜂王に化生せしめんと企つるを以て弱王にして短命ものを生ずる多きは實際に於て免れざる所なり故に蜂の自然に委せず人為に依りて孵化せし當時の幼蛆を以て王臺を造營せしむるか又は蜂の自然に王臺を造るを見て其中の蜂蛆を取り去り孵化せし當時のものを入るゝを良しとす

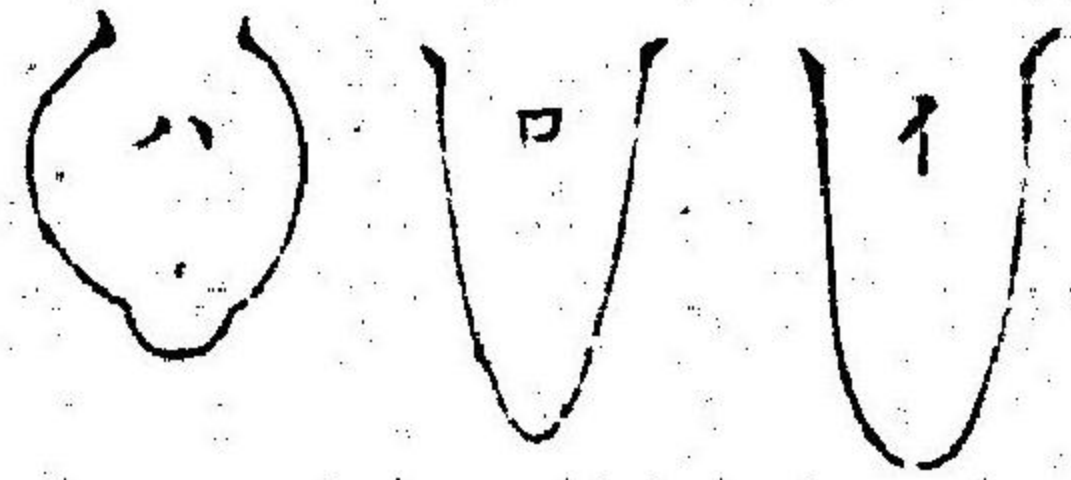
蜂王の良否選擇

善良なる境遇に依りて生じたる蜂王と雖も悉く善良なりと云ふ能はず其良否を選擇するの智識は正に養蜂成效の基なり蜂王を選擇するには先づ王臺よりすべく蜂王又は王臺の良否を摸むに單に其形の大なるを取るは未だ其法を得たるものと云ふ能はざるなり

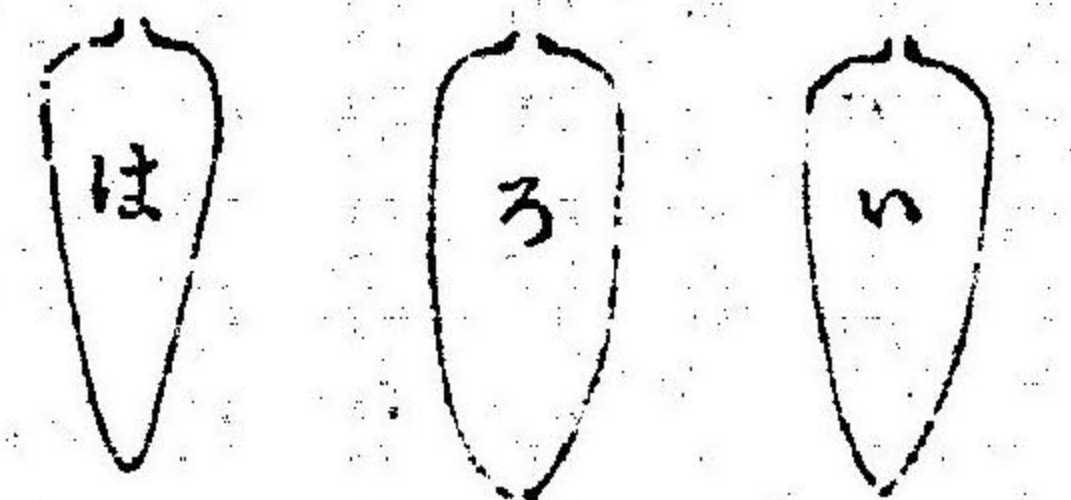
王臺の形狀には種々あり或は他物に沮害せられて口部の彎曲せるもの或は巢脾

の中央に於ける働蜂房を擴大して造りたる礎部屈曲せるもの等を稀に見るとあり十分なる境遇の下に設けられたるものにも詳細に區別せば其數甚だ多かるべし第五十六圖は普通王臺の形を示したるものにして(イ)は内部膨大最も善良なるものとすべく(ロ)は其次にして礎部大に漸次縮小せり(ハ)は中部膨大にして

圖六十五第



圖七十五第



て其蓋は突出し善良なるものと稱す可からず又其蓋の色澤比較的濃厚なるものは蜂王の發育十分なるを示せるものにして且つ蓋は他部と能く區別せられ居るを良しとす

然れども善良なる蜂王を有する王臺よりも往々不良なる蜂王を生ずることあり彎曲せる王臺よりも完全なる蜂王を生ずることあり蜂王の出房して未だ交尾せざる以前に於て其腹部の形狀は能く其良否を見るを得べきなり第五十七圖は蜂王腹部の形狀を示せるものにして(イ)は膨大にして尾端に至るに従ふて漸く尖り最も善良なるものとすべく(ろ)は膨大にして尾端急に尖りた

るものにして産卵力多しと雖も壽命長からざるもの多し(は)は縮小にして産卵力少く劣等なるものと知るべし其他腹部の割合に長さもの又短きものは共に善良なる蜂王に非らざるなり

豫備蜂王

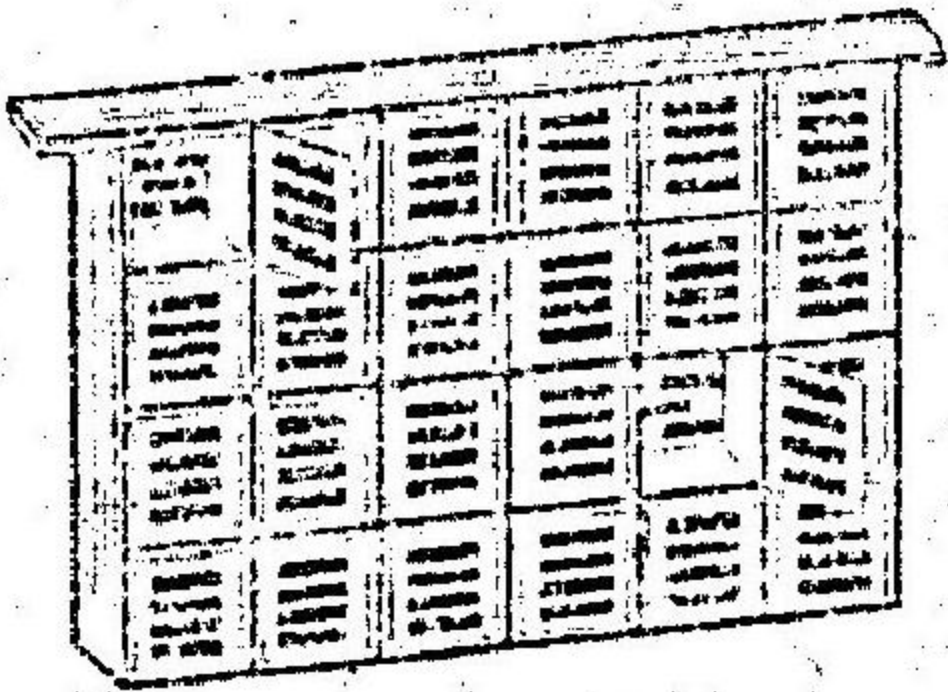
豫備蜂王とは不用なる蜂王若しくは特に生出せしめたる善良なる蜂王を飼養し置き以て不時に蜂王の亡失したる蜂群に與へ又は不完全なる蜂王と交換し若しくは販賣の用に供するなり

蜂王を保有するに前に記せし小蜂群を其空、飼養し置くも可なりと雖も多くの小蜂群を永く飼養し置くことは實際に於て不便不利なるものなり蜂王に十五六の働蜂を附して之を蜂王籠に入れ食餌として貯蜜の蓋せられたる巢脾の小片を入れ之を他の巢箱内の蜂群に接し置き以て温度を受けしむるときは永く保有するを得べし而して數々食餌を入れ換へ又は働蜂の死せしことあらば更に働蜂を入れ換へざる可からず

多くの豫備王を保有するには豫備王箱を用ふるを最も便利なりとす此箱は第五

十八箇の如く巢櫃の大にして廣さ一寸位其中は之を數多に區劃して方一寸五六分の小區とし一面には全勢に隔王板を張り一面は一區毎に隔王板に用ふる小孔數個を穿ちたる亞鉛板の蓋を附したるものなり先づ數個の蜂王を各蜂王籠に入れ之を無王蜂群に與へ相近昵せしめたる後之を豫備王箱に移し一區毎に一蜂王を入れて蜂群の中央に挿入し置くときは働蜂は自由に箱中に入出して食餌を蜂王に與ふるを以て蜂王をして餓死することなからしむ一度數個の蜂王を入れたる以後は蜂王を得るに従ひ相近昵せしめたる後其中に入るを得べし而して此巢箱は多くの蜂王を有するも産卵する能はざるを以て時々他の巢箱より蜂蛆蜂卵を有する巢脾を取り來りて其巢脾を交換するを要す又其中の一蜂王を放ち置くも可なり此場合には巢門は必ず隔王板を張り置くべし此る蜂群は數々逃去を企つるものなればなり

第五十八圖



蜂王の交換

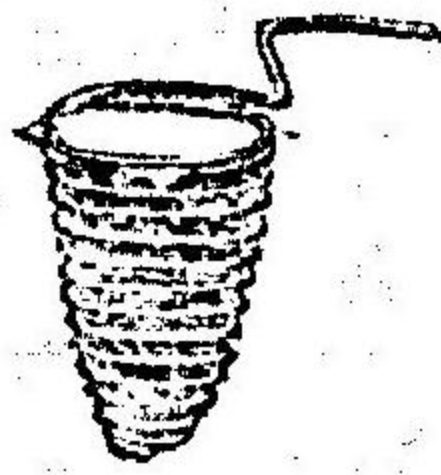
蜂王は老るに従ひ漸く産卵力を減ずるものなれば其生年月及び生出順序を記し置き特に保存を要すべき異種の蜂王を除くの外若しくは止むを得ざる場合の外は三年目の老王は取り去り新蜂王と入れ換ゆるを得策とす又蜂王の生出順序境遇は其産卵力と壽命とに關係を及すものあるを以て善良ならざる境遇の下に生出したる蜂王ならば之を交換すべし蜂王を交換するは分封の當時を以て適宜之を行ふべきものとするも或は善良なるものを得たるか又は不時に不良なるものを生じたる時は隨時之を交換すべし然かするときは常に産卵盛んにして蜂群の強盛を致すのみならず中途蜂王の亡失すること少し又老王を交換するに第二年目の蜂王は其片翅の半を切り置くときは其翌年の第一分封に於て蜂王は飛ぶこと能はず自然に亡失し分封は解散して元巢に歸るものなれば手数を要せずして常に産卵盛んなる若王を有するものなり若し又都合に依り尙其蜂王を保有せんとならば三年目の蜂王は更に又其片翅の半を切るべし然るときは一見其年齢を知り得るの便利あり

蜂王及王臺を蜂群に與ふる法

蜂王及び王臺を蜂群に與ふるに就ては已に人工分封の章に於て大畧之を記せし
 も更に注意すべき要件を記述すべし蜂王及び王臺を與ふるには蜂群の無王とな
 りて二日以上を経過せしものを安全とす無王となりて未だ日を経ざるものに王
 臺を與ふるときは其礎部を噛み破りて無用に歸せしむることあり又蜂王を與ふ
 るときは相近配せしむるに容易ならず日本蜂は比較的此憂ひ少しと雖も伊太利
 亞蜂等の種類は殊に注意を要すべきなり

無王となりて未だ日を経ざる蜂群に王臺を與ふるには之を蜂王籠に入るゝか又
 は第五十九圖の王臺保護器に入れて巢脾の中央に挿し置くときは安全なり此器
 は鐵線を螺旋狀に巻きて製したるものにて其下端は開きて出房
 せし蜂王の出づるに差支へなからしめ上方には錫板を以て蓋す
 蜂の王臺を破るは其礎部若しくは側面よりするものなれば此器
 を用ふるときは安全に保護するを得べし又蜂王籠に王臺を入れて蜂群に與へし
 ものは其蜂王の出房せしときは直ちに群中に放つか又は相當の所置を爲さざれば
 餓死せしむるものなり

第五十九圖



蜂王を無王蜂群に與ふるには其時期と蜂の境遇とに依りて難易あり分封の當時
 若しくは蜂の採蜜に最も忙はしき時等は蜂王を入れるゝに容易なり此時に於ては
 蜂王籠を用ひざるも直接蜂王を入れるゝを得べし其法は豫め蜂王をして凡三十分
 時間働蜂と別居せしめ夜間無王蜂群を少しく薰煙して後蜂王を入り込ませしむべ
 し其他の時期に於ては必ずしも蜂王籠を用ふべし先づ蜂王を蜂王籠に入れ無王
 蜂群の巢脾間若しくは巢框の上に置き數時間乃至一二日間相近配せしめ而して
 後放入すべし然らざれば働蜂は他の蜂王なるを知りて直ちに之を取り巻き噛み
 殺すものなり蜂王の働蜂と相近配せしや否やを知るには蜂王籠に多くの働蜂圍
 繞して金網に噛み付き居り之を追ふも急に去らざるは未だ近配せざるものにし
 て働蜂の平然たるは即ち近配せしものなり蜂王を放入するは夕刻を良しとし尙
 暫時働蜂の舉動を見て若し蜂王を追ひ其肢翅を噛むが如き狀あるときは再び捕
 へて籠中に入るべし又冬期は蜂王を入れるゝに最も困難なる時期なれば先づ蜂群
 を少しく薰煙し蜂王籠に入れたる蜂王を與へ一二日を経たる後之を放入するを
 良しとす

第四十二章 蜂群改良法

善良なる蜂種を繁殖せしめ或は更に之を改良して飼養を容易ならしめ收蜜を多量ならしめ以て養蜂の利益を計るは養蜂家の常に勉むべき所なり殊に日本蜂の如き數百年毫も人為を加へず最も退歩せし蜂種を有する國にありては大に注意すべき所なりとす

同種改良

凡動植物に論なく人為を以て漸次其性質を改良し得べきは茲に論ずる迄もなし同一種類の蜂と雖も多少其性質の異なるものあれば常に注意して成る可く産卵多き蜂王を撰み成る可く分封少き蜂群を撰み其他善良なる性質を有するものを撰みて母群となすべし而して絶へず其撰擇を怠らざるときは終には最も産卵多き蜂種を生すべく又分封することなき蜂種を生ずること能はずとするも分封の少き大群を成し得る良種を生ずるを得るは疑はざるなり又日本蜂は同一種類なりとすも其腹背の胸部に接する腹輪の多少黄褐色を帯ぶるものあり常に此等

を撰擇して怠らざるときは漸次有色ならしむべく此等人工淘汰の結果は終に一種の日本蜂を生ずるに至るべきなり

凡同族の交尾は良しからざる性質を遺傳する多く種類の退歩を促がすものなれば二個の蜂群を以て一は専ら王臺を造らしめ一は専ら雄蜂を生せしめ以て他族の交尾を爲さしむるは注意深き養蜂家の勉むる所なり

雄蜂は蜂群の父なれば是亦善良なるものを撰むの必要あり凡て性質良しからざる蜂群の雄蜂房を造營するものあらば悉く破壊して之を生出せしめざるは蜂種を進歩せしむるに於て効あるものなり

異種改良

全群凡ての働蜂は悉く蜂王の産する所にして此等働蜂は漸次新陳代謝するものなれば一群の蜂王を變更するときは遂に全群を改良するを得るものなり今甲乙二種の蜂あり甲種を以て乙種に變更せんとせば甲種の蜂王を取り去り乙種の蜂王を取り來りて之に與ふべし尤も異種の蜂王を與ふるは同種の蜂王を與ふるより相近脱し難きを以て十分の注意を要すべく殊に日本蜂は同種の蜂王を入るゝ

と易きも異種の蜂王を入れる、と甚だ困難なり乙種の蜂王甲群に入らば直ちに産卵し三週日の後には乙種働蜂の出房するあり漸次甲種の働蜂は減少し三四ヶ月の後には全く乙種の蜂群となるべし

分封の際は種類の改良に便利なり先づ甲種の蜂王を取り去り之に乙種の成熟したる王臺を入れ若し甲種の王臺あらは之を破壊し且つ總ての甲種雄蜂の生出を防ぐべし然るときは蜂王は出房して交尾を遂げ産卵すべし多くの蜂群を改良せんには此方法を良しとす又早春より乙種の蜂群に十分飼養して益々強大ならしめ早く王臺を造らしめ早く雄蜂を生せしむる様勉むるときは甚だ良し

雑種の生出

雑種を生ずるの目的は飼養容易にして收蜜多量なる蜂群を得るが爲めにして彼の家鶏の雑種が身軀強健産卵多くして收利多きと同しく蜜蜂も亦然るものなり其雑種は両種の性質を共有するを以て連続淘汰するときには遂に両種の善良なる性質を撰有する新蜂種を生ずるに至るべし

甲乙兩種を交尾して雑種を生せしめんには分封時期に於て交尾前の蜂王を有す

る甲種蜂群を乙種の養蜂場内に置くときは乙種の雄蜂と交尾するものなり尤も甲種の雄蜂なきを要す若し両蜂種を飼養する養蜂場に於て確實に兩種を交尾せしめんには雄蜂の交尾を欲せざる種類の雄蜂巢房を悉く切り去り一も之を生みせしめざるか或は其目的たる蜂王を有する蜂群をして一も雄蜂なからしめ其交尾を遂ぐる途は他の同種の蜂群には總て巢門に隔王板を張り雄蜂を介出せしめざる様にすべし又交尾前の蜂王を有する甲種蜂群をして一も雄蜂なからしめ而して多くの雄蜂を生ずる乙種蜂群との二個を養蜂場より數十回隔りたる遠所に移し置くときは最も確實に交尾せしむるを得べし又多くの雄蜂を生ずべき乙種蜂群を無王とし之に甲種の成熟せる王臺を入れ遠隔せる垣に移すも可なり蜂の雑種を生ずるには種々の方式あり一回他種と交尾せしものは其産む所の働蜂及び蜂王は雑種なるべきも其雄蜂は純粋なる母蜂の種類なり蜂王の産する雌卵は雄蜂の精氣を受けたるものにして雄卵は其精氣を受けざるものたるを知らば各種の雑種を作るの理を知了するに難からざるなり

純粋種の保存

數種の蜂群を飼養し純粹種を保存せんには其交尾期節に各遠く他所に移すときは最も確實なるべきも之を同一養蜂場にて他種と交尾するを防がんには其目的たる蜂王の交尾を遂ぐる間は他種の蜂群は凡て其巢門に隔玉板を張りて雄蜂の出遊を防がざる可からず或は其初めより他種の雄蜂房を破壊して一も生出せざらしむべし又早春より其蜂群を強盛ならしむるを勉め早く分封せしめ他種の雄蜂の未だ出遊せざる以前に交尾を遂ぐることを得せしめば甚だ可なり又蜂王をして自由に交尾せしめ其産する卵の孵化生育して出房せる後に之を檢し其雜種ならざるを確かめ以て純粹種として保存するも可なり然れども貴重なる少數の蜂種には行ふ可からず數種の蜂種を有する養蜂場にて蜂王を販賣せんは右の如くして蜂王を交尾せしめ其成績を確かめざるものは無檢査蜂王として販賣すべく其産卵の孵化出房したる幼蜂を見て他種と交尾せざるを確かめしものは檢査濟純粹蜂王として販賣するを得るなり

第四十三章 蜂巢運搬法

蜂巢を遠く運搬するには最も注意を要す然らざれば運搬の途中其巢脾を破壊して蜂を壓死せしめ或は蜜に塗れて動く能はざらしめ爲めに蜂の全群或は多數を死亡せしむるの不幸を來すことあり

運搬の時期

蜂を運搬するは早春蜂の運動を始むる時期を以て最良とす此時期は漸く温暖に向ひ蜂は活氣を帶ぶるの時にして氣候暑からざるを以て巢脾堅固且つ未だ蜜の巢房内に充滿しあらざるを以て軽くして取扱ひに便に損すること少し而して運搬後蜂の勢力忽ち盛んなるべきなり然れども巢脾乾燥し居るを以て之を激動するときは却て損じ易きことあり早春に次ぐを分封後とす分封したる新巢は蜂群未だ小にして運搬に便に且つ直ちに繁殖して秋期までには盛大なる群となるものなり又秋期は蜂の活氣未だ衰へず時候漸く冷氣に向ふに及び巢脾堅固となり運搬するに適す嚴寒の候は蜂傷み易く炎暑の候は巢脾損じ易ければ共に運搬に適せざるなり

普通の運搬法

天然の巣箱の運搬は甚だ困難なり其々之を運搬するには静かに人夫に扱はしめて徐々と歩するの外なし汽車汽船も尚巢脾を破損すること多し之を運搬するには先づ巢脾の方向を見て其巢脾の面せる方の箱外より錐孔四個を穿ち之に細き割竹を削りて差し込み全巢脾を通貫し置くべし四五日を経れば蜂は蠟を以て巢脾を割竹に固着せしむ然る後其入口は金網を張るか又は錐孔を一面に穿ちたる板を以て蓋し而して巢脾の墜落を防がん爲め巢箱を上下轉倒して之を運搬すべし然るときは蜂は上りて上方の空所に築るを以て蜂の温熱に依り巢脾を柔かならしむると少く且つ多少巢脾を損するも蜂を損すると少し運搬の後二三日間は其々静かに据へ置き蜂の損所を修復したる後再び轉倒して舊に復し徐々と割竹を抜き取るべし若し又大に巢脾を損したる場合には猶豫なく適宜所置するを要す

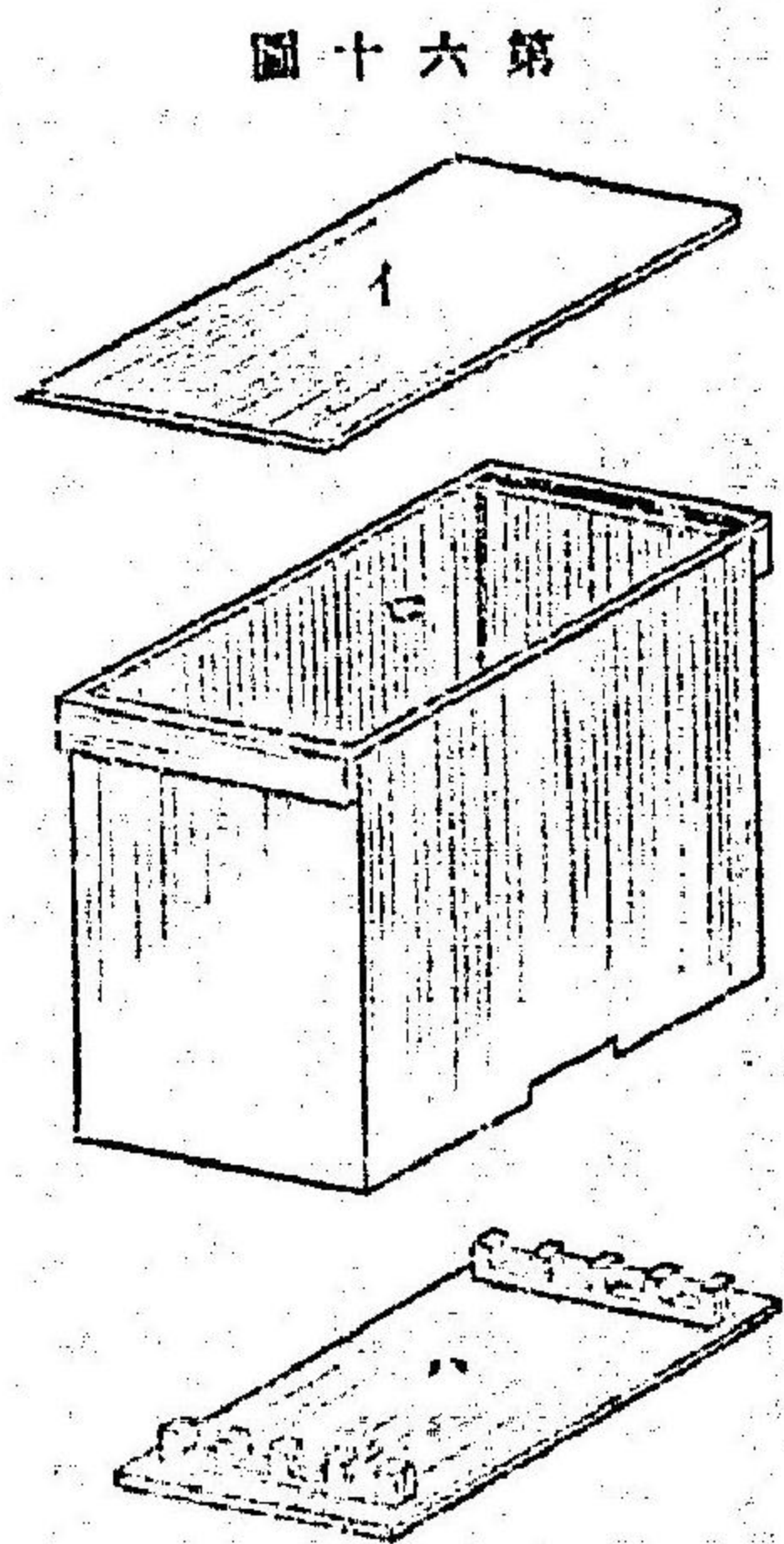
改良巢箱の蜂群は之を運搬するに容易なり尚巢箱に蜂條の綫線を通しあるものなれば破損する憂ひ甚だ少し之を運搬するには先づ箱の上板両端掘出せし所を胴に釘付し上に敷葉の新聞紙等を被ひ蓋及び蓋とも固着せしめ其巢門は金網を

張り而して後運搬すべし尙蓋及び蓋とも他の平かなる板と取り換ゆるときは取扱ひに便利なり又暑氣に向ふときは框の上に新聞紙を被はず之に換ゆるに金網を以てすべし然らざれば蜂は運搬の動搖に依り熱氣を増し爲めに蜂の蒸殺せらるゝことあり改良巢箱を前述の方法に依りて運搬するに途中成る可く激動せざるを要す汽車汽船等は差支へなきも之を積み下しする際には宜しく注意せしめざる可からず

巢箱に巢脾の充滿せざる蜂群を運搬するには其巢脾を第六十圖の運搬箱に入れ

換へて運搬するときは甚だ輕便なり

(イ)は其蓋にして(ロ)は胴(ハ)は底板なり胴の廣きは内圍巢箱と同しく幅は巢箱五六枚を入るゝに適し高さは八寸七分とす其両側の板は前後の板より三分低くし其外側より幅八分



第六十圖

位の棧を打付け以て内は巢箱の上棧を掛くる様にし外は取扱ひに手を掛くるに

便す又其前面下部中央に廣さ二三寸深さ三分の切り込みを作りて以て巢門とす
 底板には其兩側に一寸角位の木片を圖の如く齒狀に切り込みたるものを打付け
 以て巢框の下端を一々之に嵌めて動搖を防ぐべし先づ其底板を胴に釘付し巢框
 を蜂群のまゝ之に移し框の兩端を一々釘付し蓋も亦釘付して其巢門には金網を
 張るものなり尤も此箱は巢框の大小と多少とに依りて適宜製作すべく又暑氣に
 向ふときは其巢門を成る可く大にすべし

蜂を運搬せん爲め其巢門を塞ぐは出遊せる蜂の總て巢箱に歸りたる後即ち夜間
 之を蓋すべし若し日中之を蓋せんと欲せば脱蜂器を巢門に當て置き一二時間を
 經ば皆歸り來るものなり運搬の途中は成る可く蜂に激動を與へざる様注意すべ
 く若し之を車に積むには乾草を敷くを良しとす

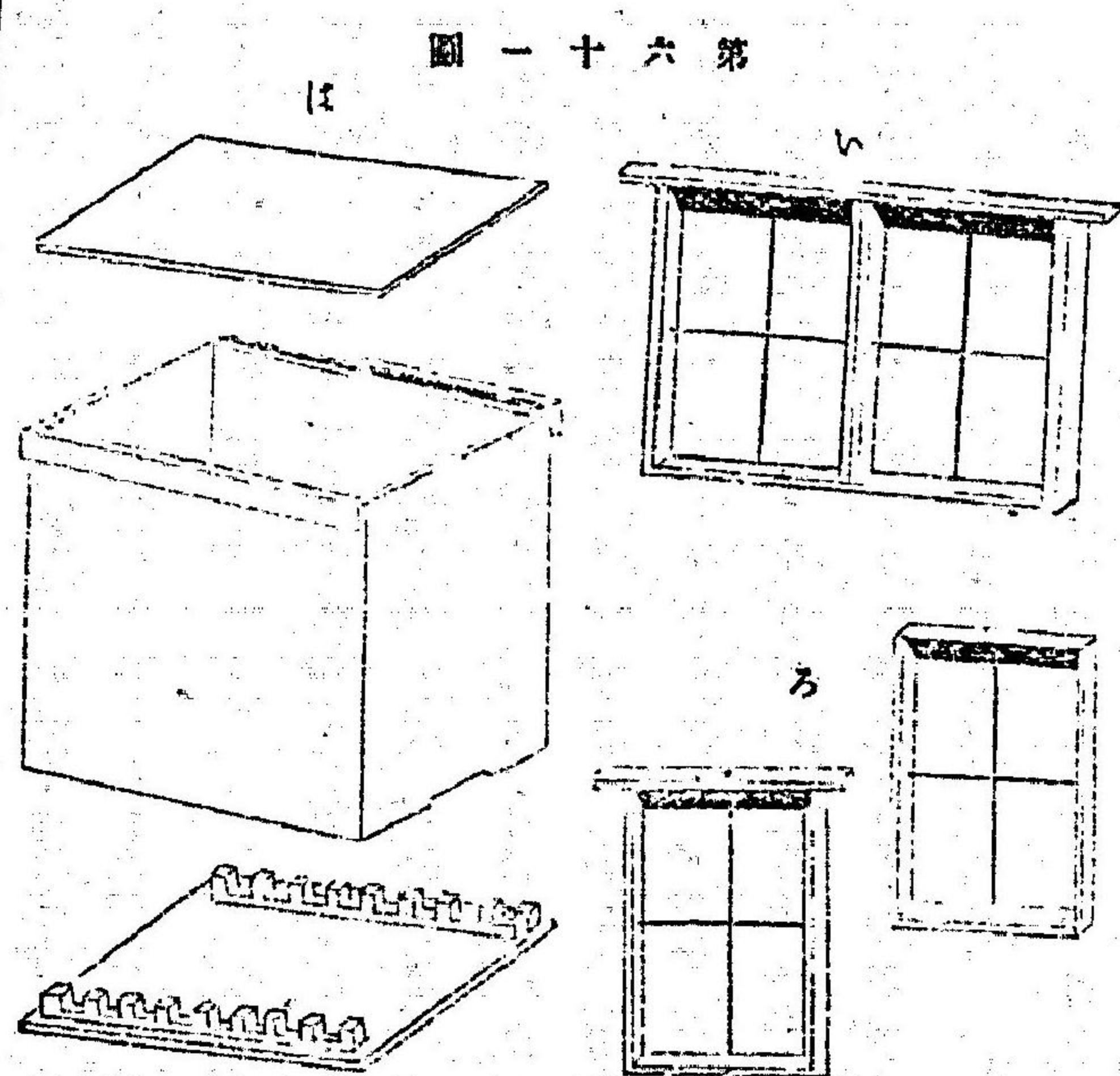
小包郵便運搬法

小包郵便にて蜂を運搬するは甚だ危険なりと雖も其方法良しきを得れば無事に
 到着すべし分封後の新蜂群は最も運搬に適せり此時は蜂群未だ少く巢脾又小に
 且つ粘力あるを以て損すること少し小包郵便運搬は激動すること甚だ多きを以

て早春巢脾の乾燥したるときに於て運搬するより分封後に於てするは却て損す
 ること少し

普通巢框に造營せし巢脾は大にして損傷の恐れ多ければ小包郵便運搬に適せず
 特に製したる小框に巢脾を造營せしめ小き運搬箱に入るべし其箱の構造は第六
 十一圖の如く(イ)は運搬用巢框にして普通の巢框と同しく巢箱に入れ蜂をして
 之に巢脾を造營せしむるものにして小框二板を合せて上に長さ一尺二寸六分幅
 八分厚三分の一枚の棧を打ちたるものなり(ろ)は即ち其小框にして高さ八寸一
 分廣さ五寸七分幅八分にして三分板にて造り上棧は倒三角に削りて中に十字形
 に鐵線を張りたるものにて之を運搬箱に入るには上に幅八分厚三分長さ六寸
 九分の棧を打付け運搬箱の内縁に掛くる様にす(は)は運搬箱にして幅六寸九分
 高八寸七分にして長さは其内に入る、巢框の數に應じ六枚若しくは八枚の巢框
 を其間各三分づゝを隔てゝ入るゝに適せしめ前面の下部に巢門を切り込み箱の
 兩側より棧を打付けて内方に框の上棧を掛け得る様にし底板へ齒狀の木片を附
 する等凡て前記の運搬箱の如くすべし蜂群を此箱に移すには先づ運搬用巢框に

巢脾を造營せしめたるものを取りて上椽を去り二枚の小框とし上に更に短き椽を打付け蜂群と共に運搬箱内に入れ框の上椽両端を一々釘付とし蓋及び底とも



釘付とし巢門は金網を張るべし尙更に箱の破損を防ぐ爲め箱の四隅に添板を打付け又巢門の上にも添板を打付け其添板と巢門の金網とは間隙を有せしむ此くするときは甚だ堅固なり殊に日本蜂は巢脾脆弱にして巢脾内に貯蜜多量なれば其重量の爲め巢脾を損し蜂は蜜に塗れて遂に死に至るものなれば其到着すべき日数を計り途中要する蜜量を残し餘は悉く分離器にて振り出すべし又成る可く新らしき巢脾は古き巢脾と交換して入

るれば損傷少し又暑氣に向ひたるときは框の上に金網を被ひ適宜の小さき木片を以て之を押し其上に蓋を爲し蓋と金網とは多少の間隙を有する様に爲すを良しとす

蜂群到着せし時の取扱法

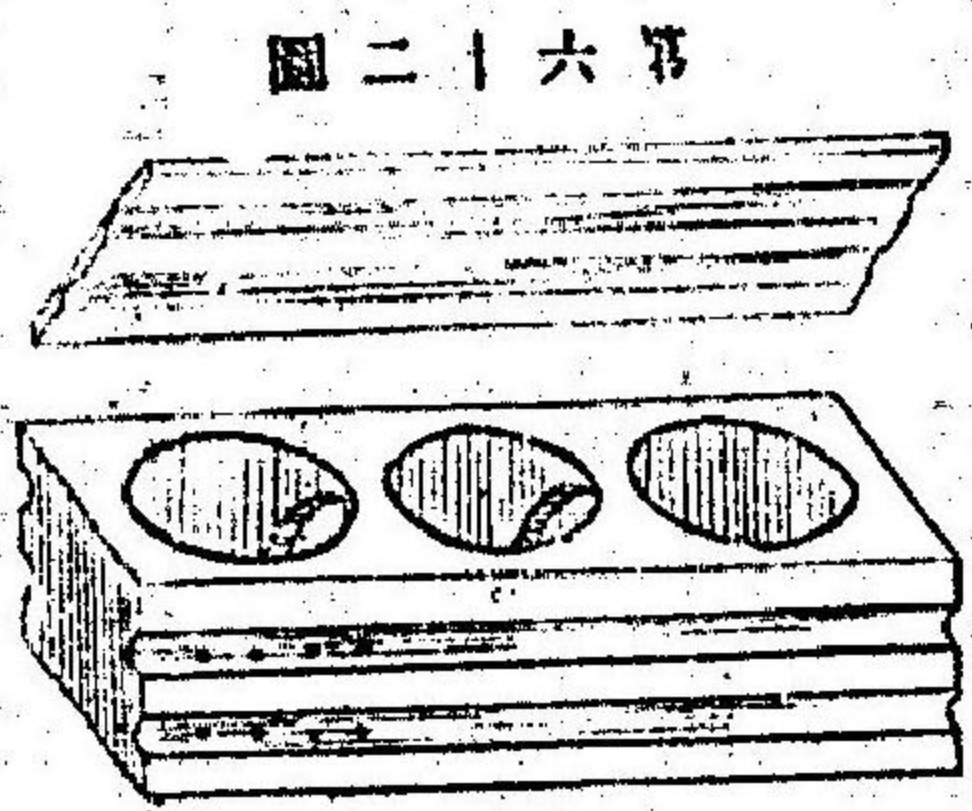
運搬し來れる蜂群の到着せしときは直ちに之を安置せんとする場所に据へ付くべし改良巢箱の蓋及び蓋を釘付としたるものは静かに之を抜き取り夜間巢門を開き翌朝より蜂の出入を自由にすべし而して巢框の両端を釘付しあるものは静かに抜取り何時にても自由に之を取扱ひ得る様にすべく又金網を巢框の上に張りたるものは之を去りて新聞紙等に取り換ゆべし運搬箱に入れたるものは其まゝ之を安置せんとする場所に据へ付け蜂の出入を許し二三日を経て蜂の巢門の位置を知りたる後之を巢箱に移し換ゆべし若し到着の時直ちに巢箱に移さんには夜間之を行ふを良しとす小包郵便にて送り來れる蜂を取扱ふには最も注意を要す先づ蜂の動靜を察し其音の大き蜂の健全なるものは其まゝ夜に入るを待ちて取扱ふべし若し夜間到着

せば一二時間静かに安置し蜂の静まるを待ちて取扱ふを良しとす而して巢門の金網を去り上蓋を取り框の釘を静かに抜き去るべし若し巢脾の墜落したるものならば之を框に附け両側より細き割竹を當て鐵線にて両端を結び巢脾の落ちざる様にして蜂に與へ框の上には新聞紙を被ひ蓋を爲し置き蜂の静まるを待ちて底板を取り箱内の死蜂等を掃除して適宜の場所に据付くべし若し最初箱内の音小にして蜂の弱り蓋を開くも飛立つ能はざるが如きものならば一時も猶豫せず蓋を開き箱内の蜂に十分吹蜜すべし而して蓋を爲し置くとときは數時間の後蜂は勢力を恢復すべし蜂を巢箱に移すには先づ巢脾框を出し蜂を掃ひ去り其上棧を去り二枚を並列して上に一枚の長き棧を打つときは普通巢框と同じき大となるを以て此くして巢箱に入れ蜂を追ひ込めし蜂を巢箱に移すは十數日の後にて可なり運搬箱に巢脾の充滿するまでは運搬箱の空にても可なりと雖も途中激動の爲め巢脾を大破し又多少蜂の蒸れたる氣味ありて箱内一種の臭氣を有するが如きことあらば早く新巢箱に入れ換ゆるを良しとす蜂は數日間巢門を塞がれ且つ激動せられ不安の念を抱き逃去の憂ひなしとせざれば蜂の安全に勞働す

る見込ある迄は巢門に隔王板を張り置くを良しとす又飼養すること必要なり蜂は運搬中蜜を消費し盡し貯蜜なきを以て數日間十分之を飼養すべし然るときは能く勞働を始め忽ち運搬中の損害を償ふを得べし

蜂王の郵送

蜂王は郵便にて之を遠方に送致するを得べし蜂王郵送に用ふる箱は種々あるも第六十二圖の郵送箱を以て便利とす此箱は横一寸二三分長さ三寸七八分高さ一寸位の一個の木片にして之に徑一寸深さ八分位の孔三個を穿つ其孔は下方に於て相共に横孔を通ず又其外側左右に二通の小溝を設け且つ一方の一孔に此小溝中より錐穴數個を通じ以て運搬の途中數個重り合ひ若しくは他物と接するも空氣の流通に差支なからしむ而して之に蓋を附す其蓋にも亦小溝二通を設け空氣の流入に便す錐穴を附せざる一方の孔は食餌を入れるの用に供し其濕潤を防ぐ爲め内部に蠟を塗るべし食餌は貯蜜の蓋したる巢脾の一片を適宜の大に切りて之を入れるも



第六十二圖

良しく又砂糖にて製したる結晶糖に蜂蜜を加へて適宜の軟度を與へたるものを用ふべく或は蜂蜜を熱して之を砂糖に混じ適宜の軟度を得せしむるも可なり其食餌を入れたる孔は巢礎の小片を其上に蓋し更に其全面を金網にて被ひ之に蜂王を入れ十五六の働蜂を附隨せしめ而して蓋を釘付して郵送するなり郵送し來れる蜂王を蜂群に與ふるには其蓋を去り金網のまゝ之を無王蜂群の巢框の上に伏せ置き相近昵せしめし後放入すべし

第四十四章 盗蜂

盗蜂とは一巢箱の蜂が他の巢箱に侵入して蜜を盗み之を己が巢に運び去るものにして甚だ恐るべし被害の蜂は之を防がんとして相争闘し互に死傷し兩群共に衰弱を來すものなり若し被害の蜂が盗蜂を防ぎ能はざるときは盗蜂は自由に侵入して蜜を横奪し遂に餓死せしめ又は逃去せしむるに至るものなり而して其蜜を横奪し盡すときは更に進んで他の蜂巢を侵すものにて大なる損害を蒙らしむるものなり

盗蜂の生ずる時期

盗蜂が蜜を得んとする慾は自然の性質にして其身の危険を冒して他巢に侵入し其慾を逞ふする敢て奇とするに足らざるなり然れども野に花あるに於ては好んで盗蜂となるものに非らざれば盗蜂の生ずるは即ち花蜜の原料欠乏せる時とすべし

盗蜂の多く生ずる時期は早春暖氣を催したるとき及び夏期花少き時若しくは晩秋等とす尙降雨連日なるときは不時に盗蜂を生ずることあり又管理の良しからざる爲め盗蜂を誘出するとあり蜂の一度盗心を生せしときは容易に止むる能はざるものにして或は蜂の出遊に適せざる時と雖も外出するものあり一時の現象に因りて生じたる盗蜂は又一時にして止むとありとするも早春及び夏期に生じたるものは時期の進むに従ひ野に多くの花を開くに至り晩秋に生じたるものは冬期寒冷に及んで蜂の外出する能はざるに至らざれば自然に止むものに非らざるなり

盗蜂を見出す事

盗蜂に侵されたる巢箱の巢門に於ては多くの蜂の争闘するあり且つ其近傍には多くの蜂の闘死せるを見るべし盗蜂の侵入せんとするものは特に其翅音の鋭きものにして其舉動甚だ怪しきものなり先づ巢箱の周圍を飛舞し若しくは巢門に入らんとして守衛の蜂あるときは速かに飛び去り又強て巢箱内に入らんとして其入口を捜し或は巢門の傍に靜止して内の様子を窺ふ等其盗蜂なるを辨知するを得べし然れども是れ盗蜂の初期に屬す甚だしく盗蜂に侵入せらるゝに至れば之を防ぐ蜂なく盗蜂は自由に巢門を出入するを以て之を見別くるに難しと雖も其入るものは腹部縮小に出づるものは腹部膨大にして且つ巢門を出で、飛行するに幼蜂の出遊する時の如く頭を巢門に向け其位置を見定めつゝあるは是れ盗蜂なり盗蜂の起るべき時期には花時の如く蜂の巢門を出入すること頻繁ならざるに獨り他の巢箱に比して其出入甚だ多く又早朝若しくは夕刻他の巢箱の蜂の勞働せざる時に巢門を出入する蜂多きは是れ盗蜂の本城か若しくは盗蜂に侵入せられたる哀れなる蜂群なり

盗蜂の豫防

盗蜂の防禦は甚だ困難なるものなれば養蜂者宜しく其豫防を心掛くべく盗蜂の生ずべき時期來らば十分の注意を以て之を迎へざる可からず盗蜂豫防に就て心得べきこと左の如し

一、蜜を地上に垂れしむること勿れ若し誤りて蜜を地上に垂れしめば必ず土にて之を埋没すべし然らざれば蜂は直ちに來りて之を吸ひ遂に其好餌に慣れて盗心を生ずるものなり又巢脾の破片等も放棄すること勿れ是れ又盗蜂を誘致するものなり

一、蜂王の亡失して喧騒するものは盗蜂を誘致するものにして無王蜂群は盗蜂の侵入し易きものなり其他凡て不完全なる蜂群衰弱したる蜂群等は早く之が所置を爲すべし

一、蜜の分離及び其取扱ひは必ず蜂の來る能はざる室内に於てすべし又早朝若しくは夕刻蜂の出遊なき時或は夜間之を爲すも可なり殊に收蜜期の終りしときに採蜜するは大に注意を要す

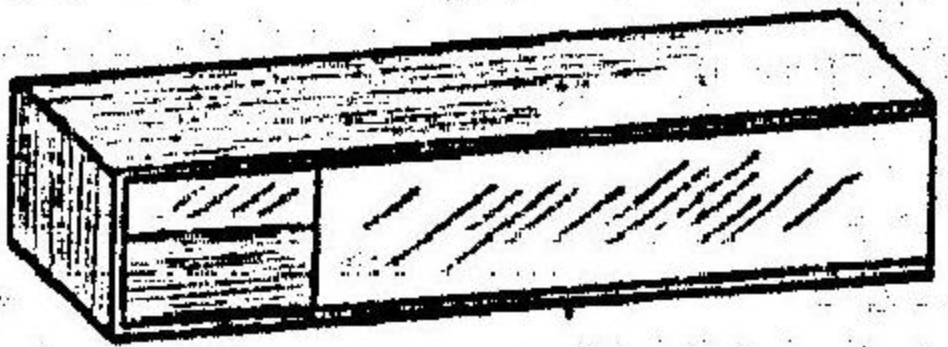
以上の注意を怠らざるのみならず成る可く蜂を喧騒すると勿れ若し日中之を取

扱ふときは巢箱の上に蚊帳を張り其中にて取扱ふも可なり
右は其大要を記せしのみ尙注意すべきもの甚だ多かるべし殊に其際蜂を餌養せんとする等は大に考慮せざる可からざるものあるべし

盗蜂の防禦

盗蜂に侵されんとする状況ある巢箱は其巢門を縮小し以て盗蜂を付ぎ易からしむべく尙其上に少許の草を粗く蔽ふべし然るときは能く盗蜂を防ぐものなり又第六十三圖の盗蜂豫防器を以て巢門に置くべし此器は五分四方長さ二寸五六分位の前後の板なき空洞にして之に前後とも四五分の入口を反対の方に設くる様二枚の鏡を挿入したるものなり此器を巢門に置くときは盗蜂の侵入せんとして先づ其鏡に驚き飛び去り或は躊躇すべく而して其巢門の甚だ屈曲して狭きを以て能く被害の蜂をして防禦の準備を十分ならしむるを得べきなり即ち盗蜂の初期に於て其効を成すものにして盗蜂の劇しきときに至れば毫も其効を見る能はざるなり又盗蜂の勢益々盛んならんとするときは盗蜂となりし巢箱の巢門に

第三十六圖



脱蜂器を嵌め外出の蜂を追ひ込み以て被害の蜂をして防禦の準備せしむるを良しとす

盗蜂の侵入を避けんが爲め被害の蜂群を養蜂場内の各所に數々移轉す可からず是れ盗蜂を導きて各巢箱に侵入するを教ゆるが如し甚しく盗蜂の侵入を蒙りたる蜂群を救助するには其巢門を閉鎖し日暮に至りて之を開き其中にある盗蜂を悉く離去せしめたる後之を檢し貯蜜の大部を盗蜂に横奪せられたるときは之に食餌を與へ勢力を恢復する迄之を十町以上の遠所に移し置くは最も安全なり然らざれば其巢門を金網にて張り四五日間日光を省きたる室内に入れ置き夕刻に出して成る可く他の巢箱を隔りたる場所に据へ付け巢門を開き之を縮小し置き尙注意して保護すべし

被害の巢箱を他に移したる其跡には盗蜂の多く來り集るものにて此等の盗蜂は更に他の巢箱を侵さんとするものなれば其近傍の巢箱は巢門を縮小し置くか或は盗蜂豫防器を用ふべし又其場所には別に空巢箱を置き之に蜜のふらざる空巢脾一二枚を入れ置くときは盗蜂は之に入るも得る所なし而して其箱に盗蜂の多

く集りたるとき二三回冷水を注ぎ掛くれば大に盗心を減ずるものなり

第四十五章 蜜蜂の害敵

蜜蜂には種々の害敵あり蜂群弱小なるときは多く其害を蒙るものなれば蜂群を強盛ならしむるは害敵豫防の最良策なり左に順次之を述べし

トヂ虫

トヂ虫は最も恐るべき蜜蜂の害敵にして蠟及び蜜花粉を以て其生命を保持するものなりトヂ虫には大小二種あり其害を爲す状況等は相似たりと雖も其孵化期及び習性等は多少異れり其化生は完全なる経過を爲し卵より蛆となり蛹に化し而して蛾となり卵を産するものなり其害を爲すは白色の蛆にして卵は蜜蜂の温氣に依り孵化して小蛆となるや直ちに巢脾に蝕ひ入り蜂蛹の房中等に匿れ稍長するときは巢脾の中心に細小の絲を吐きて通路を作る其通路は初めは小なるも蛆の生長するに従ひ漸く大となり或は巢脾より連続して椗及び箱の木質を穿ちて其中に匿れ入るものあり而して自由に巢脾の中心を進退して花粉及び蜜を食

し巢脾を蝕害し又は蜂蛆の食餌を横奪するものなり第六十四圖(イ)は蛆虫にして(ロ)は蛾(ハ)は其通路なり

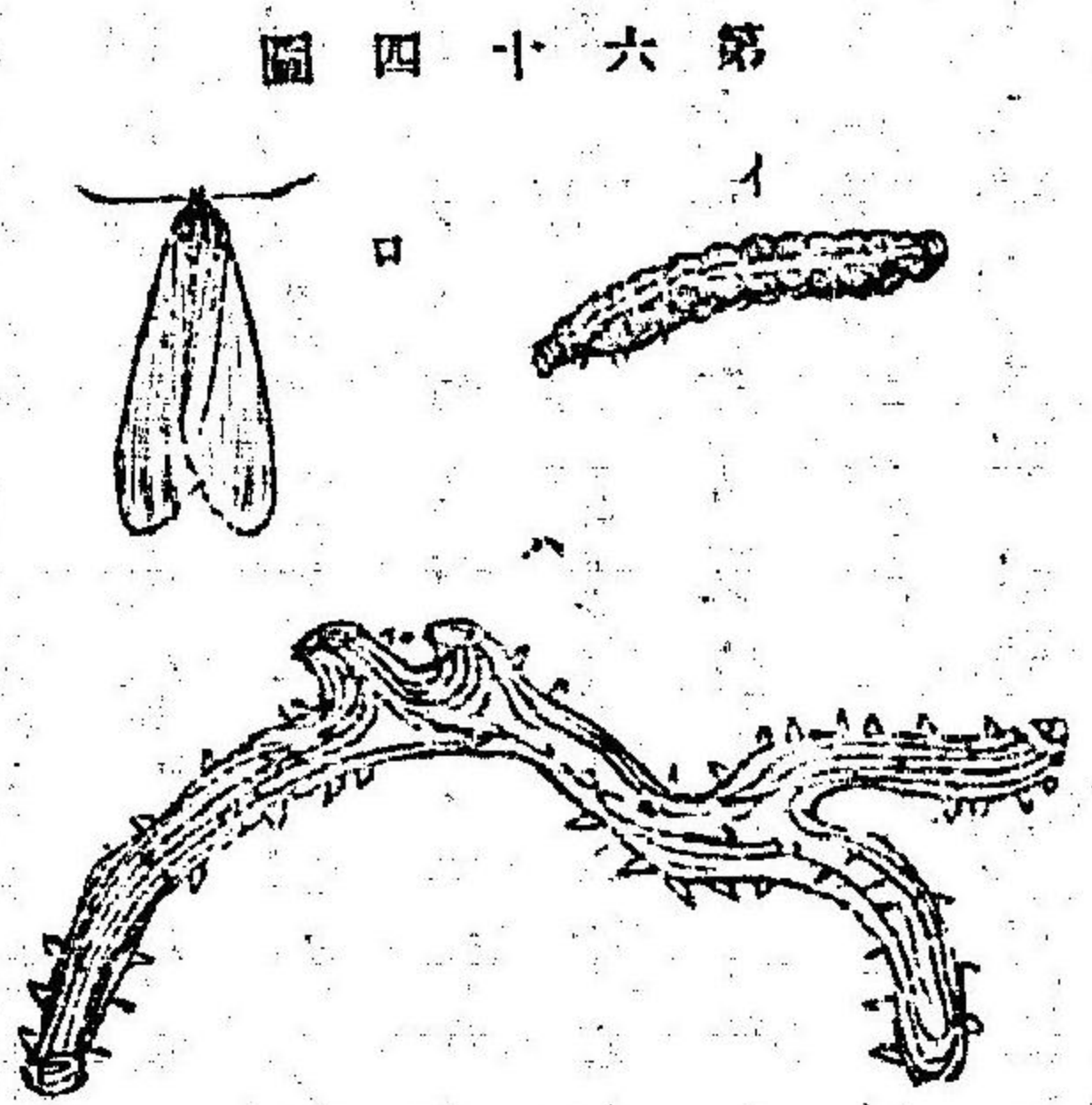
大種のトヂ虫は生長するときは長さ八九分より一寸以上に至るものあり終に巢

椗又は巢箱の木質中に穴を穿ち或は巢箱の片隅等に身を寄せて絲を吐き繭を作り蛹に化するものなり其繭を作るに相集合するの性質を有し數十個の繭重り合ふて一塊を爲すものあり小種のトヂ虫は長五六分に至り巢箱の底板上若しくは其片隅等に繭を作るを常とす

蛹の蛾に化するは一年二回にして通例第一期は大

種四五月小種五六月頃とし第二期は大種七八月小

種八九月頃とす然れどもトヂ虫の發育化生の日數は大に不同なるものにして蜂群の強盛なるものには十分の發育を成す能はざるも其虚の乗すべきあらば忽ち發育し又氣候の温暖なるときは發育化生速かにして寒冷に向ふときは遅緩なれ



第六十四圖

は一定する能はずして右期節外と雖も數々蛾虫を見ること少なからず又晩秋に至りて之を見ることあり其色は鈍灰色にして蛾に依りて多少の濃淡あり大種の蛾は長さ凡六分位にて小種は四分位なり尤も雄蛾は雌蛾に比して暗色を帯び少しく小なるを普通とす其卵は鈍褐色にして甚だ小なり

蛾は晝間は樹幹若しくは巢箱の陰所等に静止し甚だ認め難し日暮或は夜間に至りて巢箱の周圍を飛び廻り巢門に近づき蜜蜂のむらざるを窺ひ竊かに巢箱内に入らんとするものなり既に巢箱内に入れば大抵巢脾の上方に爬行して産卵す是れ上方は貯蜜多く保護する蜂少くして孵化せし小蛆の直ちに巢脾中に蝕入し易きを以てなり又蜂の保護せざる空巣脾を求め或は巢箱の下隅等にも産卵し若しくは巢箱の底板に積りたる汚物中に産卵なるとあり尙巢箱の片隅等に隠れ居り以て産卵すべき時機を窺ふものあり蛾の巢箱内に入る能はざるときは其巢門又は空隙を認めて卵を放下す其卵は或は蜜蜂の脚等に附着して巢箱内に運ばれ或は孵化せし小蛆の爬ひ入るあり蛾の産卵器は其末端長くして尖り伸縮自在にして少しの空隙あるときは産卵器を挿入して能く産卵を遂ぐるものなり

第二期發生の晩きもの又は發育十分ならざるものは蛹はて越冬するものありと雖も大抵卵にて越冬し翌早春發生するもの多し尤も土地氣候の寒暖に依りて差異あるべし

蜜蜂はトヂ虫あるを認むれば巢脾を破りて之を捕へ去らんとを勉むトヂ虫は其捕殺を免れんとして遂に底板上に落ちるあり然るときは巢箱の片隅又は空隙或は堆積せる汚物中に隠れ居り再び巢脾に侵入するの機を窺ふに似たり蜂群の弱小なるもの或は無王の蜂群等にありてはトヂ虫は忽ち繁殖して慘害を逞ふするものにて其害を受くる多きものは悉く巢脾を害して一も産卵貯蜜に適する巢房なきに至る又通路の上にある房中の蜂兒は其腹部の下端をトヂ虫の絲に纏繞せられ出房すること能はずして死するものあり此くの如き蜂群は之を救助せざれば遂に絶滅するか又は逃去するより外途なきに至るべし

トヂ虫のある巢箱には其底板上に暗褐色若しくは黒色の火藥粒の如き糞の落ち居るを以て之に依りて能くトヂ虫の大小多寡を察するを得べし又底板上の汚物中にトヂ虫の伏在し或は巢門外に驅出せられあるは巢脾中にも必ず多くのトヂ

虫あるを知るべし又幼蜂の其腹部下端に白色の絲を纏繞して爬行し出で若しくは白色なる蜂蛹の其頭部等を傷害せられたるもの巢門の前に棄てられ或は巢脾を引き出して之を見るに蜂蛹の蓋せられざるものあるは是れ皆トヂ虫の伏在する多きと知るべし

トヂ虫の害を豫防せんには蜂群を強盛ならしむるを最良策とす強盛なる蜂群は残忍なるトヂ虫も之を如何ともする能はず又常に底板を掃除して堆積する汚物を去るべし尙蛾虫發生の期節には日暮巢箱の近傍を見廻り之を見付けば直ちに捕殺すべし

巢脾中にトヂ虫の多きを知らば之を廢棄して製蠟すべく若しトヂ虫を巢脾より驅除せんとせば其害を蒙ること多くして貯蜜蜂卵蜂蛆なき部分は之を切り去り巢脾框を平に持し木槌等にて軽く其端を叩き積るときはトヂ虫は狼狽し通路を脱して地上に落つるもの多し又巢脾を暫時太陽に曝すときは彼等は光線を避けて下方に出で地上に落つべし尙蜂蛹の蓋なきものは悉くビンセットにて摘み出しトヂ虫の伏在するものあらば捕殺すべし又巢箱の隅等には卵蛆の伏在する

もの多ければ他の巢箱と取り換ゆるを良しとす

日本蜂はトヂ虫の害を受くること殊に多し早春蜂の巢脾を噛み落す多きはトヂ虫の幼蛆發生するに因るもの多し又能く逃去を企つるもの多し伊太利亞蜂ナイブリアン等の蜂種は其害を防ぐこと甚だ強し

蜂虱

蜂虱は蜂群に寄生し其繁殖多きときは蜂群を衰弱せしめ又蜂王に寄生したるときは容易に離れずして遂に衰弱せしむるものなり其色赤銅色にして第六十五圖

の如く縦二厘横三厘許りの龜甲に似たる小虫にして裏面に六足を有

し上部より之を見れば甲下に隠れて現はるゝこと少く其蜂群を歩す

る其だ速かなり此虫は出房せし蜂に寄生するのみならず幼蜂の出房

前已に寄生し居るものあり驅除法は甚だ困難なるも蜂群を強盛なら

しむるときは漸次減少するを以て衰弱せし蜂群は他より働蜂を分ち與へて強盛

ならしめ或は蜜の多量を給して蜂群をして活潑ならしむべし雄蜂の甚だ多きは此害虫の繁殖を助くるものなれば過多の雄蜂を生せしめざるを良しとす又巢内

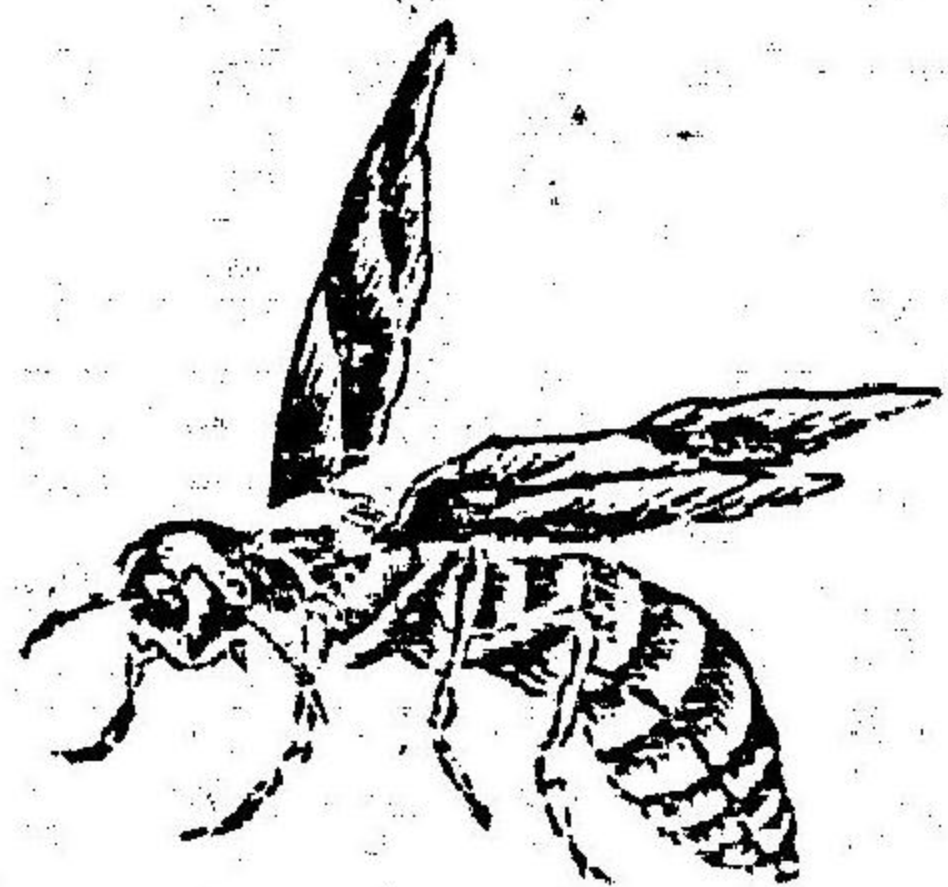


の不潔なるは此害虫を生ずる多ければ常に底板を掃除して清潔にするは即ち豫防の一なり

黄蜂

黄蜂は恐るべき害敵とすべく第六十六圖の如き蜂にして大小數種あり其害を爲すの状況多少異れり黄蜂の來襲するや一二の來るあり

第六十六圖



或は數十同時に來襲するあり而して蜜蜂を噛み殺し幼蛆を食し巢脾を破壊し甚だ慘酷を極む黄蜂の巢門に來るときは伊太利亞蜂の如きは之に向ひて出づるを以て噛み殺さるゝもの多しと雖も日本蜂は多く巢箱内に北げ入るを以て隔王板の小なるもの或は蜜蜂の出入に差支へなき小孔を穿てる鐵葉板を張りて黄蜂の巢門より入るを防ぐを可とす且つ見附け次第之を打ち殺すべし此蜂の來襲するは秋期の中頃なれば其時期は殊に注意すべく一蜂の來るあらば直ちに其同族を誘ひ來るものなれば其初めに於て之を驅殺するを怠る可からず

蟻

蟻は蜜蜂に大害を與ふるものに非らず蜜蜂の防守せる蜜を強て奪掠せんと企つるものに非らず蟻の來るあれば蜜蜂は翅を以て追ひ除くるものなり然れども多く巢箱内に入り來るときは蜜蜂は其煩に堪へざるを以て之を驅逐するに辛勞するものなり又蜜蜂の温度を慕ふて巢箱の蓋下等に巢を營むことあれば注意すべし蟻の侵入を防ぐには巢箱の蓋に脚を附し水を盛りたる器中に置くときは入ると能はず又蜜及び砂糖等を以て之を誘集して殺了するか或は其巢を見出して之に熱湯若しくは石油を灌ぎて殺すべし

其他の害敵

蜘蛛は其網を巢箱の近傍に張り蜜蜂を捕ふるものなれば宜しく之を取り除き又捕殺すべし蟻蛉は日暮巢箱の近傍に來り巢門を出入する蜂を捕食すれば之を見出さば遠く之を棄つるか又は捕殺すべく且つ其多く棲息する地方にては巢箱の脚を高くして地上二三尺ならしむべし蜻蛉及び食虫蛇の類は出遊する蜜蜂を捕食し雀等の小鳥類も亦多く蜂を捕ふるものなれば此等は成るべく捕殺し又追ひ

遠ざくべし殊に蜂王交尾の節等は一層注意すべし鼠も亦時に或は巢箱を侵し巢脾を破壊し蜜及び蜂を食することあり山間の地にては熊の侵害を蒙り巢箱を轉覆して蜜巢脾を食することあり其他尙多少蜜蜂を害するものあれば注意して驅除すべし

第四十六章 蜜蜂の疾病

蜜蜂は他の動物に比して疾病甚だ少きは養蜂家の共に喜ぶべき所なり蜜蜂の疾病中能く發するものは下痢病にして甚だ恐るべきものは蜂蛹腐敗病なり左に之を述べし

下痢病

下痢病は主に冬期又は早春に發する病にして蜂の此病に罹るときは其舉動甚だ不活潑となり蜂群衰弱し蜂數頓に減少し或は死滅することあり
原因 此病の原因は氣候の遽に寒冷なるに遇ふか或は不良なる食物を多く有せしか又は寒冷なるとき蜂を擾がし蜜を多く吸収せしめしか或は濕氣多き等は此

病の因て起る所なり又久しく幽閉し置くときは此病を起すことなり或は巢箱の不完全にして雨水の浸入し又は寒氣甚だしきに時巢箱を開く等は蜂をして此病を起さしむることあれば注意すべし

病狀 蜜蜂の此病に罹りたるときは其糞は黃土色にして惡臭を發し排泄すると甚だ多し而して勉めて巢外に飛遊せんとするものなり其輕症なるものにありては飛揚しつゝ排泄すると雖も稍重きものは他物に止りて汚染す好んで白色なる物質に止るものなり益々重きに至るときは巢門若しくは巢内を問はず汚染し糞色益々泥土の如き色となり臭氣益々多し尙一層重きに至るときは多くの蜂巢門の近傍若しくは地上に爬行し出で其跡は蜜を十分啣みし時の如く腹部膨脹して遂に死するものなり

豫防法 晚秋越冬の準備を爲すの際不良なる食物あらば之を除き去るべし例へば連雨の時採取したる蜜等は稀薄にして酸氣を帯び其中に小氣泡を有するものゝ如きは甚だ不良なりとす此等は巢箱の蓋を開く際一種酸氣の鼻に來るものゝを以て知るとを得べし又晚秋及び冬期に於て飼養するに稀薄なる食餌を與へ

す巢箱は乾燥なる所に置き成る可く寒濕に感せしむべからず又蜜蜂を久しく幽閉すると勿れ天氣漸く温暖なる時に於ては殊に然り冬期及び早春は狼りに巢箱を開きて蜂を寒氣に觸れしめ又蜂を擾亂せしむる勿れ

救治法 蜜蜂の此病に罹りたるものは成る可く巢箱を乾燥し温暖ならしめ又蜂を静肅にして喧がすこと勿れ天氣温暖なる日には巢門を擴げて汚腐の氣を放出し蜂をして外出飛遊せしめ以て身體を清洗せしむ而して夜間又は暴雨の日には巢門を縮小し且つ之を間接ならしめ寒風の入るを防ぐべし若し天氣寒冷にして温和なる日を得る見込みなきときは巢箱を明るき室内に入れ室内の溫度をして華氏五十度以上ならしめ而して一尺四五寸立方以上なる箱の二面若しくは三面を硝子板或は金網にて張りたるものを以て巢門に接し蜜蜂をして自由に其中に入りて飛遊するを得せしむ蜜蜂は十分飛遊の機又は夕刻に至れば皆巢箱に入る此く二三日を経て温暖なる日を得れば元の位置に返して自由に飛遊するを得せしむべし若し又食物の不良なるより起りたるを知らば善良なる食餌を十分に給すべし

蜂蝨腐敗病

蜂蝨腐敗病は一種の傳染病にして蜂蝨の房内にて腐敗するものなり此病の蔓延するときは盛んなる養蜂場の蜂群を空盡せしむるに至ることあり實に恐るべき病なり歐米諸國にては此病の爲めに慘害を蒙るもの多きも我邦にては未だ此病の慘狀を訴ふるものあるを聞かず然れども早晚輸入せらるゝの不幸を見るべく又は已に此病あるも未だ世人の留意せざるに非らざるなきを保せず養蜂家必ずしも此病あるを忘る可からざるなり

原因 此病の原因は一種の微菌にして繁殖甚だ速かに直ちに蔓延するものなり蜂蝨の凍死若しくは其他の死傷等は此病を助成するものにして又巢箱内の汚穢空氣の不良濕氣の多き等は皆此病の誘因なりとす

病狀 此病に罹りたる蜂蝨は全群腐爛して暗褐色を帯びたる粘質物となり甚だしき惡臭を發するものなり其巢房の蓋を見るに健全なる蜂蝨を有するものは黄色にして活氣を帯ぶるものなり死蝨を入れあるものゝ蓋は暗黒色を帯びて少しく開み或は屈み破ぶるゝものあり數週間前に死せしものは其蓋は全く黒色に變じ之を

開くに房底に少許の殘留物を見るのみ而して蜂蛹の此病に非らずして死せしものは其頭及び脚等殆んど完全し居るも此病に罹りたるものは其全身腐爛して俗の如くなるを以て之を見別くるを得べし此微菌は蜂蛹のみに限るに非らず生長せる蜜蜂も亦此病の爲めに其健全を害せらるゝものにして其臟腑中には病原たる暗黒色なる悪臭ある粘質物を含有し居るものなるも蜂蛹の如く其害を現すこと速に直に腐爛せずとするも終には斃るゝものなり故に健壯なる蜜蜂は早く死し蜂蛹は腐爛して蜂兒の生出するものなきを以て忽ち其蜂群を絶滅せしむるものなり

豫防法 一蜂群の此病に罹るものあるときは他群に傳染せざる様注意最も肝要なりとす此病に罹りたるものは蜂群弱小となるを以て他の蜂は其巢箱に入りて蜜を盗み遂に病毒を傳播する等此病毒の傳播を助くべき種々の境遇あるを以て病蜂あるを認めたるときは未だ傳播せざるに先ち速に夜間其蜂の一も外出せしものなきに乗じ之を焼き盡して以て其蔓延を防ぐを良策とす又其巢箱若しくは暫時たりとも此蜂群に關係せる器具は之を石炭酸水にて消毒するか又は硫黄に

て十分蒸蒸したる後に非らざれば他に使用すべからず其他凡て病毒の傳播を防止するに注意すべし

救治法 此病を救治するは甚だ困難にして殆んど能はずとするも可なり然れども其初期に於て救治せば或は全治を見ることあり之を行ふには必ず他群の蜂來りて蜜を横奪するなからしめ且つ其病蜂は一個たりとも他巢に入るを防がざる可からざるを以て病蜂群を養蜂場より二十町以上の遠きに移したる後行ふべし其法は先づ病蜂群の巢箱の蓋を靜に取り純良なる蜜を以て蜂群に吹き掛くべし然るときは蜜蜂は其蜂を汚染したる蜜を他食し病毒に感染したる蜜を吸收すること少し然る時急に蜂群を他の空巢箱に振り落し全く巢脾を取り去るべし而して其蜂群を幽閉し斷食せしめ三四日の後蜂の將に餓死せんとするに及びて健全なる蜂群より得たる病毒なき貯蜜ある巢脾二三枚を他の空巢箱に入れ病群を之に移すべし又石炭酸を五百倍の蜜に混じて之を病蜂に與へ或は五六十倍の水を混じたる石炭酸水を巢箱等に吹き掛くるは病毒を防ぐ効あり又少許の水楊酸液を蜜に混じて與ふるも効ありと云ふ

其他の疾病

養蜂家の注意すべき蜜蜂の疾病は前二者にして其他尚一二の病あり蜂の労働盛んなる時に於て忽然働蜂の巢門を突出し其頭を他物に突き當て苦んで死するものあり之を狂病と云ふ是れ蜜蜂の觸角に異状を生じたるに原因せるものなり又多くの働蜂が巢門の前に腹部膨大して多く死することあり或は蜂蛹の死せしものを働蜂の運び出して巢門の前に多く棄つることあり是れ毒性の花粉花蜜を探取したるに因るものにして此くの如きこと二三日に及ぶものあり此等のものは他に傳染すること少く且つ救治法を講せざるも自ら消滅するもの多し

第四十七章 蜂蜜の用途

蜂蜜は薬用としては咳嗽劑の主薬とし其他種々の薬品として用ひらる而して我邦にては従來之を食用とするもの少し尤も山間の僻地にて農家の自ら蜜蜂を飼養し蜂蜜を採收して食用とするものありとするも一般に食品に供せられず是れ我邦蜂蜜の生産少くして其價貴きのみならず收蜜法不完全にして品質劣悪に普

通販賣するもの、如きは到底食用に適すべきものなきに因るなり然れども近來蜜蜂飼養の方法改良せられ漸く良質の蜂蜜を生産するに及び西洋食品店等にて之を販賣し西洋料理店或は菓子舗等にて多く之を用ふるものあり今後食用として需用益々多きに至るは疑ふべからず養蜂家純良なるものを生産するに於ては決して其販路に困しむとなく需用者は其供給の多きを待つものなり
 歐米人は蜂蜜を以て甘味の原料として食用に供するもの甚だ多くパン若しくはビスケットと共に直接に食料に用ひ日常欠く可からざるものとせり又パン製造者が精良なるものを製するに當りて常に用ふる所なり而して蜂蜜を混用すれば凡て其品質を良くするのみならず之を保存する利益ありと云ふ又コーヒー及び茶に混じて砂糖に代ゆるときは衛生上大効ありとて用ふるもの多く其他菓子を製し料理用として上等の食品は大抵蜂蜜を用ふるもの多し勿論其蜂蜜は純良なるものにして我邦在來の蜂蜜の如き劣悪なるものに非らず殊に巢蜜の如きは最も高尚にしに食卓に上せ之を小刀にて適宜に切り食するものにて無二の珍味とせらるゝものなり抑も砂糖は甘味の主料なるが人の胃中に入りて先づ葡萄糖に變

形したる後始めて同化するものなれば之を過用するときは甚だしく消化器を勞し吾人の健康を害する大なるも蜂蜜は己に葡萄糖に變形したるものにして直ちに消化するを以て之が爲め健康を害することなく甘味の原料として衛生上最良なりとす故に蜂蜜を食用とするものは砂糖食用の爲め起る多くの疾病を豫防し得て最も安全なり且其味の優美高尚にして之を過用するも不快の氣味を感ずるとなし衛生を重んずる人殊に小兒の食料として貴重すべきものなり

蜂蜜精製法

蜂蜜を精製する目的は之を澄明ならしめ冬期にも結晶せざらしむる爲めに薬用としては此精製蜂蜜を用ふること多し然れども食用として販賣せんには採收せしまゝを良しとす日本藥局方に記する精製法は蜂蜜一分に蒸溜水二分を混和し之を熱して沸騰するに至らしめ温に乗じて絨布を以て濾過し更に重湯煎上に蒸發して舍利別様の調度を得るに至り再び濾過して製すべし

蜂蜜良否鑑別

蜂蜜の良否は其色澤と香味と重量とに依りて之を知るべし純良なるものは新鮮

なるときは殆んど澄明にして微黄色を帯び香氣甚だ良く味佳良なり而して冷氣に依りて凝結したるときは白色となる漸く劣等なるに従ひ鈍赤色を帯び甚だしきは暗黒色なるに至り臭氣ありて或は多少の苦味を有するものあり凝結するときは赤黄色となる尤も此の如き蜜を却て好み食する人あり又其重量に依りて濃淡を知るべしとするも其品質を知ること能はず其凝結の遲速は花の種類と蜜の濃淡に依るものにして良質のもの却て劣等のものより凝結遅きことあり又凝結せざるものあり採收法の良しからず採取せしもの、如きは汚濁にして一見其劣等なるを知るべく往々一種厭ふべき臭氣を有するものあり

人工葡萄糖又は飴等を混和して蜂蜜を擬造するものあり一見之を區別すると難し其検査に就て日本藥局方に記する所は本品一分を水四分に和すれば全く或は殆んど澄明に溶解すべし此溶液に硝酸銀並に硝酸波留膜を和するも極めて僅微の濁濁を生ずるに過ぐ可らず糖蜜を混入し又は糖蜜にて擬造したるものは之に依りて沈澱を呈す又本品に同容量の水を和し之に酒精五容量を徐々と混和するも絮狀若しくは舍利別様の沈澱を生ずるとなし葡萄糖又は飴を以て擬造せるも

のは此検査に依りて絮狀或は舍利別様の沈澱を生ず

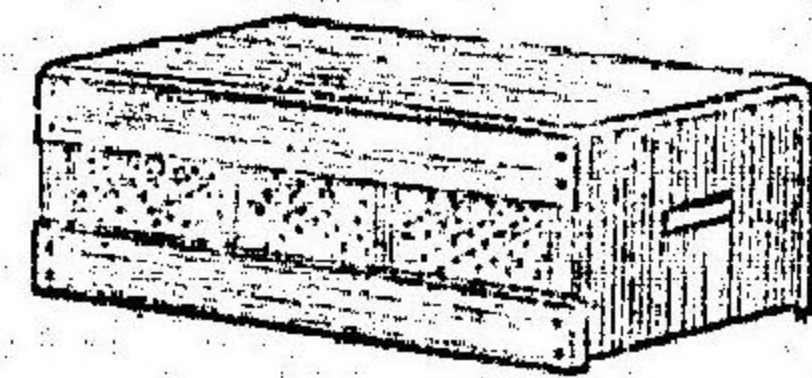
蜂蜜の販賣

從來蜂蜜は主に樽等に入れ貫目を以て販賣せられたり食用として市場に出さんには必ずしも清潔美麗なるを要す純良澄明なる蜜は之を摺詰と爲すを良しとす其摺は餘り大なるは良しからず一斤入乃至二斤入等適當なり且つ其文、食卓に上ること多きを以て外装等を美麗にし其生産所名等を明かにして以て擬造品或

圖七十六第



圖八十六第



は出所不明の粗品と區別すべく其蓋は第六十七圖の如く螺旋狀を爲し使用の際其殘餘は直ちに元の如く蓋し置くを得るときは甚だ便利なり又其形狀は方形圓形長方形等何れにても可なるも遠方へ輸送する場合に箱詰等とするには方形若しくは長方形を良しとす又料理製菓の用に供すべきものは之を十斤入二十斤入等の罐入として販賣すべし而して蜂蜜は其量甚だ重きを以て容器を十分

堅固にすべし

巢蜜は殊に注意して取扱ひ成る可く清潔にすべし之を市場に出すには十二個入二十四個入等の箱詰とすべし第六十八圖は十二個入の箱にして其兩側には硝子板を附し内部の見ゆる様にす之を遠方に送るには最も注意して堅固にすべし又常に成る可く乾燥せる寒暖急變なき場所に置くべし

養蜂全書終

明治三十七年一月十八日印刷
明治三十七年一月二十三日發行

正價金壹圓七十五錢



著者兼
發行所
印

神奈川県足柄下郡湯本村四百四拾地

青柳浩次郎

神奈川県足柄下郡湯本村

發行所 箱根養蜂場

賣捌所 東京 有隣堂 丸善書店 豊岡町種禽場
學農社 東京興農園 早稻田農園
京都利世館 武藏川崎町本農園 豊後旭日村立進堂

故子爵品川彌次郎題辭 青柳浩次郎著

養蜂夜話

全一冊

正價金二十錢

郵送料金二錢

本書は初學者の爲めに記述したるものにして文章談話体に著者が十數年間養蜂に就て實踐したる所を摘記したるものにして養蜂に志あるもの本書を一讀せば其興味甚だ多かるべし

青柳浩次郎著

蜜 蜂

増補 全一冊

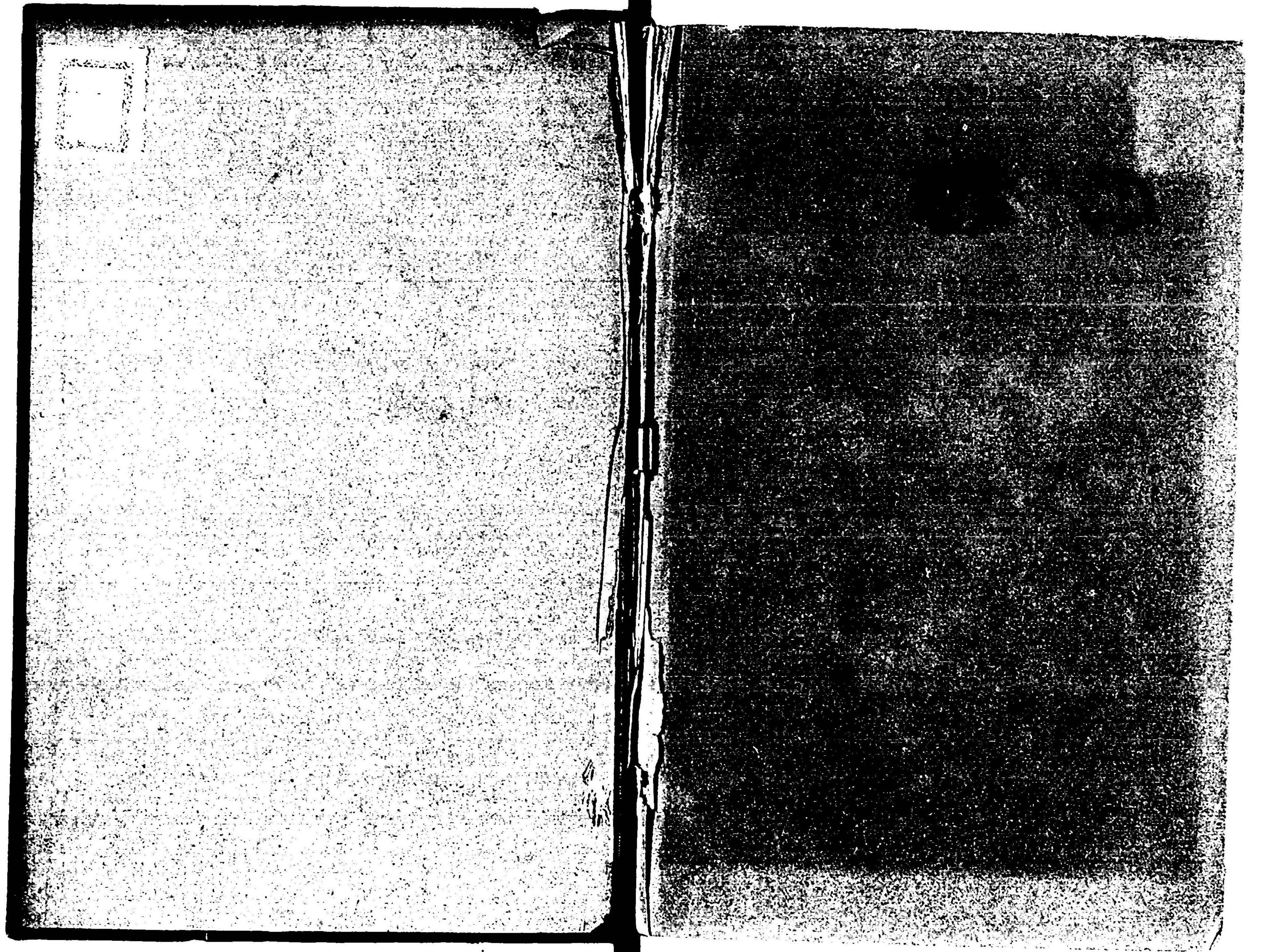
訂正 正價金二十錢

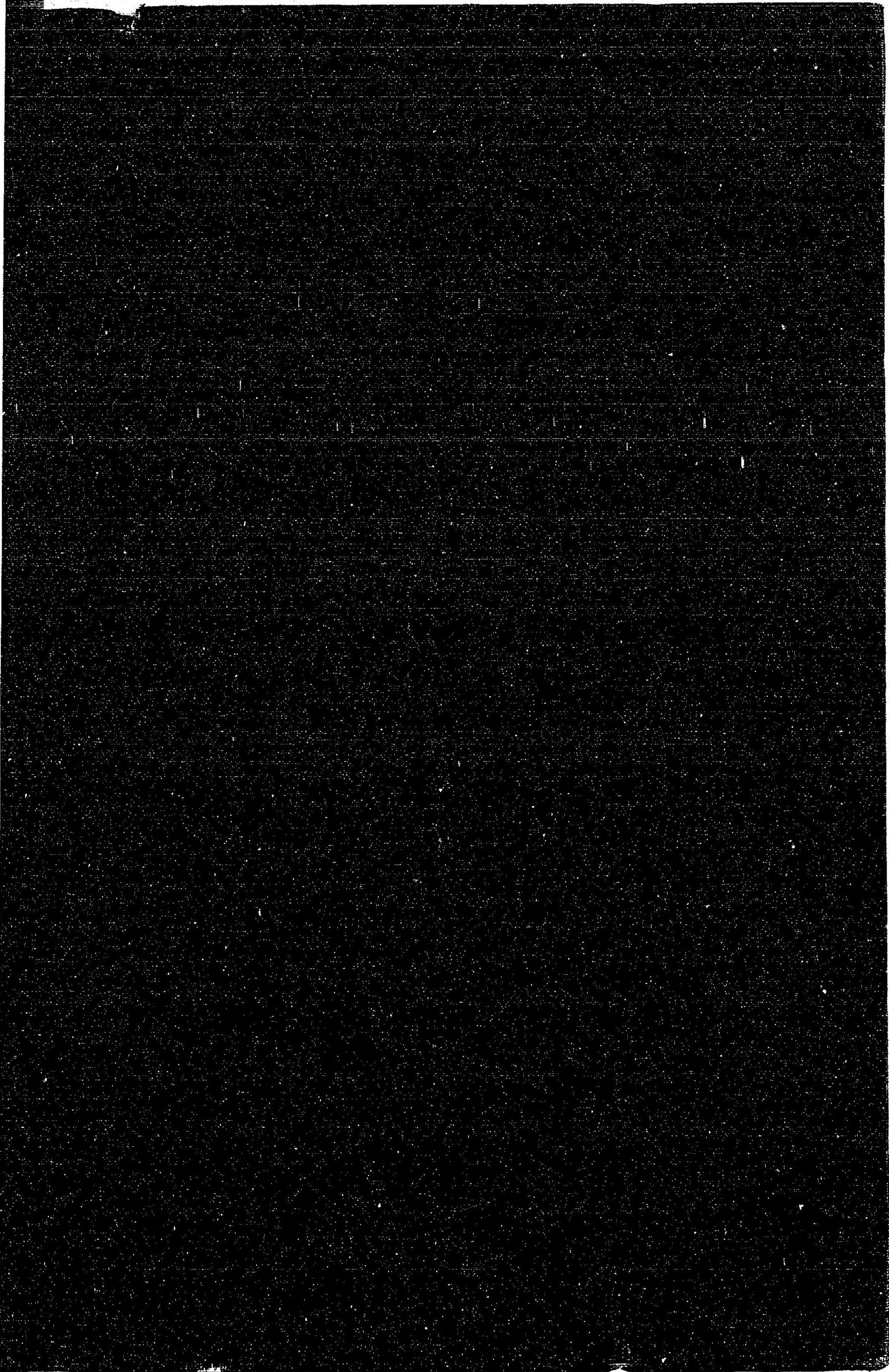
第五版 郵送料金二錢

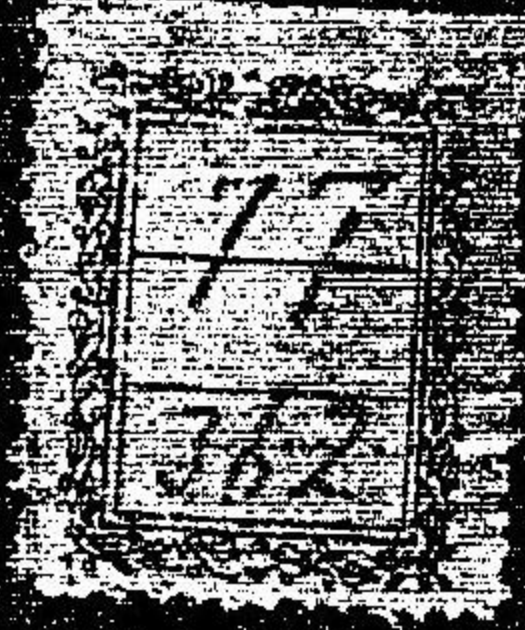
本書は蜜蜂の性質より其管理收蜜製蠟の法を簡明に説きたるものにして始業者の階梯とすべし本書を熟讀して後に養蜂全書を繙かば一讀明解直ちに實地に應用し得べし

發行所

和徳國足柄下郡湯本村 箱根養蜂場







065169-000-0

77-362

養蜂全書

青柳 浩次郎 / 著

M37.1

CCD-0652



